

令和5年度入学者用

# 学 生 便 覧

2023Graduate Student Handbook

—履修と学生生活のてびき—

—Guidance for Studying and Student Life—

山形大学大学院農学研究科

Graduate School of Agricultural Sciences



## 学生便覧目次

I. 農学研究科の紹介	1
1. 目的	1
2. 専攻について	1
3. 農学専攻の教育理念と目標	1
4. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	2
5. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	2
II. 農学研究科における履修方法等	3
1. 指導体制	3
2. 修了までに修得すべき単位数	3
3. 授業について	3
4. 授業科目、単位数および履修方法	6
5. 授業内容紹介等	19
III. 学位(修士)論文	20
1. 山形大学大学院農学研究科修士論文取扱要項	20
2. 修士論文審査および最終試験の判定基準	21
3. 学位審査に係る相談・通報窓口	21
4. 研究領域・担当教員・研究分野・研究内容紹介	22
IV. 学生生活	27
1. 学生心得	27
2. 健康管理	30
3. 注意事項	31
V. 関係規則	32
1. 山形大学大学院規則(抄)	32
2. 山形大学学位規程(抄)	39
3. 山形大学大学院農学研究科履修規程	41
4. 山形大学学生の懲戒に関する規程	43
5. 山形大学学生懲戒処分の実施に関する細則	46

## 参考

鶴岡キャンパス施設案内図	100
鶴岡キャンパス構内図	103

＊日本語版が正本であり，英語訳が日本語と異なる場合には，常に日本語が優先されます。

# Table of contents

## Student Handbook

I. Introduction of the Graduate School of Agricultural Sciences .....	49
1. Objectives .....	49
2. Major .....	49
3. Educational Principles and Objectives of the Agricultural Sciences' Major .....	49
4. Degree-Granting Policy (Diploma Policy) .....	50
5. Curriculum Composition and Implementation Policies (Curriculum Policy) .....	50
II. Courses at the Graduate School of Agricultural Sciences .....	51
1. Structure of the teaching process .....	51
2. Required Credits for Program Completion .....	51
3. Courses .....	51
4. Course Subjects, Credits, and How to Take the Courses .....	54
5. Introduction of Course Contents .....	70
III. Degree (Master's) Thesis .....	71
1. Master's Thesis Management at the Graduate School of Agricultural Sciences, Yamagata University .....	71
2. Criteria for Master's Thesis Evaluation and Final Examinations .....	72
3. Help Desk for Master's Thesis Examination .....	72
4. Introduction of Research Areas, Teaching Staffs, Research Fields, and Research Topics .....	73
IV. Student Life .....	77
1. Student Guidelines .....	77
2. Health Examination .....	80
3. Precautions .....	81
V. Related Regulations .....	82
1. Yamagata University Graduate School Regulations (Excerpt) .....	82
2. Yamagata University Degree Regulations (Excerpt) .....	89
3. Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences Course Regulations .....	91
4. Yamagata University Student Disciplinary Regulations .....	93
5. Detailed Regulations on the Implementation of Yamagata University Student Disciplinary Action .....	96
References	
Tsuruoka Campus Facility Guide Map .....	100
Tsuruoka Campus Map .....	103

\* The Japanese version is original. If the English translation differs from the Japanese, then the Japanese version always takes precedence.



# I. 農学研究科の紹介

## 1. 目的

本研究科では、学術研究の高度化と優れた研究者の養成、高度専門職業人の養成と社会人の再教育及び教育研究を通じた国際交流の推進を目標として、幅広い知識とともに深い専門性を身につけ、創造力を豊かに発揮できる高度な知的能力を持った人材の養成を目的とする。

## 2. 専攻について

本研究科に置かれている専攻とその定員は次の通りである。

専攻名	入学定員	研究領域
農学	38 人	生物生産学
		生物資源学
		生物環境学

## 3. 農学専攻の教育理念と目標

専攻名	内容
農学	<p>農学専攻では、豊かな人間力、食料・生命・環境科学に関わる幅広い知識や深い専門性を身につけ、国際社会や地域社会の課題解決のために創造力を豊かに発揮できる人材の養成を教育理念とする。</p> <p>具体的には、安全な農畜産物の持続的生産やそれを担う農業経営、地域の活性化等の研究領域においてより高度な知識を修めるとともに、実践的な能力を養うためのプログラム、微生物・動物・植物等の生物資源を対象とし、バイオテクノロジー等の先端的手法を駆使した開発・改良と有効利用についての専門的なプログラム、森林科学ならびに水土環境科学に関する専門的な講義、演習を主体とするプログラム、地域および国際的な視点での自然との共生を念頭においたプログラム等を展開し、地域社会や国際社会における諸問題を解決し、人類社会の進歩と福祉に貢献できる独創的な科学技術開発を担う研究者、技術者や創造的な事業に従事できる人材を養成することを目標とする。</p>

## 4. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 農学研究科及び農学専攻のディプロマ・ポリシー

山形大学大学院の修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）のもと、農学研究科及び農学専攻では、以下のような知識と能力を獲得した学生に「修士（農学）」の学位を授与します。

- ① 豊かな人間力
  - （１）食料・生命・環境科学に強い関心を持ち、主体的・自律的に学習を継続できる。
  - （２）専門職従事者としての倫理観と責任感を持ち、コンプライアンス遵守の精神を身につけている。
- ② 深化した専門的知識・技能と文理兼修による幅広い視野
  - （１）各自の専門分野における高度な知識や技術を身につけている。
  - （２）文理を超えた様々な分野の専門的知識を理解し、多様化・複雑化した社会の要請に応じてそれを活用できる能力を有している。
- ③ 多様な文化の理解とその共生に向けて行動できる能力
  - （１）国際社会や地域社会における専門分野に関わる課題を抽出・探求でき、その解決のために研究・開発する行動力を有している。
  - （２）他分野との共同作業ができ、創造的な事業に従事するための実践的な能力を有している。

## 5. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 農学研究科及び農学専攻のカリキュラム・ポリシー

山形大学大学院の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に沿って、農学研究科及び農学専攻では、学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

#### 1 教育課程の編成・実施等

- （１）高度な専門職従事者としての知識と技能を身につけるため、体系的に構成されたカリキュラムを編成する。
- （２）多様で学際的な知識と技能を身につけるため、文理兼修を含む幅広い分野の科目を履修できるカリキュラムを編成する。

#### 2 教育方法

- （１）自ら課題を発見し、その解決に向けて探求した成果を表現する能力を身につけさせるため、授業への学生の主体的な参加を促す。
- （２）他分野の学生との共同作業や討論会を推進する。
- （３）修士論文研究では、複数教員による対面型個別指導制を導入し、研究の内容・結果・解析法等を確認・指導する。

#### 3 教育評価

- （１）不断の教育課程の点検・学生からの評価を組織的に行い、到達度を確認できる明確な成績評価基準を策定した上で、その基準にもとづく評価を行う。
- （２）修士（農学）の学位基準にもとづき、学位論文を評価する。

## Ⅱ．農学研究科における履修方法等

### 1．指導体制

学生は、修士論文研究の遂行や学位論文の作成、進路の選択などにあたり、主指導教員1名の他に副指導教員2名から指導を受けます。副指導教員2名のうち、1名は、P22～P26に記載された主指導教員と同じ研究領域から、もう1名は、それ以外の研究領域から選出され、学修・研究に関する助言を行います。

主指導教員から示された1年間の研究指導の計画に基づき、各年度の初めに「研究計画書」を提出してください。詳細については、ガイダンスにてお知らせします。

### 2．修了までに修得すべき単位数

修了するためには、2年以上在学（休学期間を除く）し、次の表に定める単位を修得する必要があります。

※ダブル・ディグリー・プログラムを履修している本研究科の学生は、本学及び留学先の大学にそれぞれ1年以上在学し、次の表に定める単位のほか、留学先の大学が定める単位を修得する必要があります。

科目区分		単位数	備 考
基盤教育科目		2	必修科目2単位を修得すること。
基礎専門科目		2	選択必修科目2単位以上を修得すること。
高度専門 科 目	研究科共通科目	2	必修科目1単位及び選択必修科目1単位以上を修得すること。
	基 幹 科 目	6	特論5単位またはグローバル食農環境論5単位を含む6単位以上を修得すること。 ダブル・ディグリー・プログラムを履修している本研究科の学生は、必修科目としてグローバル食農環境論5単位及び選択必修科目として特論1単位以上を修得すること。
	研究実践科目	18	必修科目10単位及び選択必修科目8単位を修得すること。
合 計		30	

### 3．授業について

#### （1）学期区分

1年間を前期、後期の2期に分け、前期は4月1日～9月30日、後期は10月1日～3月31日となります。

#### （2）授業時間割

授業時間は次の通りです。

校 時	時 間
1～2	8:50 ～ 10:20
3～4	10:30 ～ 12:00
5～6	13:00 ～ 14:30
7～8	14:40 ～ 16:10
9～10	16:20 ～ 17:50

授業時間割表は、大学院生の掲示版やWebClassにてお知らせしますので、こまめに確認してください。

### （３）授業科目の履修方法

年度初めに主指導教員と相談の上、履修する授業科目を決定すること。主指導教員の承認を得た上で、履修したい授業科目をWeb（山形大学学務情報システム）により登録してください。

履修登録期間は、概ね、前期開始から２週間程度です。ログインには、入学時に配付する個人IDが必要です。詳細については、ガイダンスにてお知らせしますので、必ず期間内に登録してください。

### （４）教育方法の特例について

社会人の受入れにあたり、教育・研究上、特に必要と認められる場合は、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を実施している。

- ① 通常の時間帯（8時50分～17時50分）以外に、特例措置の時間帯（18時00分～19時30分）を設定する。
- ② 必要に応じて土曜日あるいは夏季・冬季休業期間も履修できるものとする。
- ③ 特例の時間帯による履修を希望する者は、当該年度当初に、主指導教員の承認を得た上で、授業担当教員の許可を得ることとする。

### （５）単位の基準

授業科目の単位数は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業の方法に応じ、教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- ① 講義・演習については、１５時間の授業をもって１単位とする。
- ② 実験・実習については、３０時間の授業をもって１単位とする。

上記の基準によって科目を履修し、成績審査に合格した科目に対して単位を与える。

### （６）単位認定・成績評価

#### １）単位認定について

単位の認定は、筆記試験若しくは、口頭試問又は研究報告書により、毎学期末に授業担当教員が行う。

#### ２）成績評価について

成績の評価は、評定記号（S・A・B・C・F・N）で表し、S・A・B・C及びNを合格、Fを不合格とし、その配点基準は次の通りとする。

評価点	成績区分	評価基準
100～90点	S	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている。
89～80点	A	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている。
79～70点	B	到達目標を達成している。
69～60点	C	到達目標を最低限達成している。
59～0点	F	到達目標を達成していない。
	N	認定科目

### 3) 成績評価に対する異議申し立て

成績評価に関して、疑義が生じた場合の問い合わせは、原則、該当する授業科目の成績が発表された日を含む3日以内（土・日曜日及び祝日を除く）に、「成績評価照会票」（様式は山形大学ホームページの「学生生活」タブ内の「授業について」の該当リンクからダウンロードできます。）に必要事項を記入の上、学務担当へ提出すること。なお、詳細については、学務担当に相談すること。

### 4) 他大学院履修科目

大学院規則第14条の定める協定に基づく他の大学院（外国の大学院を含む）において履修した授業科目について修得した単位は、本研究科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

### (7) 欠席届

忌引きや病欠、各種実習、インターンシップ、大会参加、公共交通機関の運休等で授業を欠席する場合、教員に欠席の理由を届け出るため『欠席届』の様式がある。様式については各学部ホームページから取得すること。ただし、この『欠席届』はあくまで欠席の理由を教員に知らせるためのものであり、必ずしも配慮されるものではないので注意すること。

別表

#### 4. 授業科目，単位数および履修方法

##### (1) 一般カリキュラム

授業科目，単位数

授業科目				毎週授業時数				担当 教員	英語 対応	備 考
				1 年		2 年				
科目区分	科 目 名	区分	単位数	前期	後期	前期	後期			
基盤教育科目	地域創生・次世代形成・多文化共生論	必修	2	2				塩野 他	◆	
基礎専門科目	異分野連携論	選必	1		1			他研究科教員		
	異分野実践研修		1	1				他研究科教員		
	キャリア・マネジメント		1	1				他研究科教員		
	研究者としての基礎スキル		1	1				他研究科教員		
	データサイエンス		1		1			他研究科教員		
	A I デザイン演習		1			1		他研究科教員		「データサイエンス」単位修得者のみ履修可
	Academic Skills: Scientific Presentations + Writing		1		1			他研究科教員	◆	
	社会文化創造論		1	1				他研究科教員		
	知財と倫理		1		1			他研究科教員		
	技術経営学概論		1	1				他研究科教員		
	食の未来を考える		1		1			藤科 他		
	Global Materials System Innovation		1	1				他研究科教員	◆	
	先端医科学特論		2		2			他研究科教員		
	高度専門科目		研究科共通科目	必修	1	1				村山（秀）他
農学最前線		選必	1	1				渡邊（一）他		
Intensive Scientific Communication Course in English			1		1			非常勤講師	◆	
畜産学特論			1	1		1		浦川		
家畜生産利用学特論			1	1		1		松山		
果樹園芸学特論			1		1		1	平・池田・渋谷	◆	
野菜園芸学特論			1		1		1	鍋島	◆	
観賞植物学特論			1	1		1		小笠原		
植物病理学特論			1	1		1		長谷・小林（隆）	◆	
動物生態学特論			1		1		1	佐藤	◆	
栽培土壌学特論			1	1		1		角田（憲）	◆	
生産機械学特論			1	1		1		片平		
作物栽培学特論			1	1		1		佐々木	◆	
作物学特論			1	1		1		茄子川		
作物育種学特論			1	1		1		星野		
消費者行動特論			1	1		1		陳		

授業科目				毎週授業時数				担当 教員	英語 対応	備 考
				1 年		2 年				
科目 区分	科 目 名		区分	単位 数	前期	後期	前期	後期		
高 度 専 門 科 目	基 幹 科 目	食農環境政策学特論	選必	1		1		1	藤科	
		農業会計学特論		1	1		1		家串	
		食農環境社会学特論		1	1		1		保木本	◆
		食農環境地理学特論		1	1		1		渡辺（理）	◆
		地域資源循環学特論		1	1		1		中坪	
		家畜管理学特論		1	1		1		堀口	
		食農総合科学特論		1	1		1		五領田	
		動物分子生殖科学特論		1		1		1	木村	
		応用微生物学特論		1		1		1	加来	
		生物資源化学特論		1	1		1		塩野	◆
		食品微生物学特論		1		1		1	小関	
		バイオマス資源学特論		1	1		1		渡辺（昌）	◆
		分子生化学特論		1		1		1	豊増	
		食品創製科学特論		1	1		1		永井	
		植物ゲノム遺伝学特論		1		1		1	笹沼	◆
		農産物生理学特論		1	1		1		村山（秀）	◆
		応用メタボロミクス特論		1	1		1		宮城	◆
		植物遺伝資源学特論		1	1		1		江頭	
		植物栄養学特論		1	1		1		俵谷	◆
		土壌生物資源学特論		1		1		1	程	◆
		生理活性物質化学特論		1	1				村山（哲）	
		生物有機化学特論		1		1		1	網干	◆
		微生物資源利用学特論		1	1		1		服部	
		食品栄養化学特論		1		1		1	小林（翔）	
		食品機能学特論		1		1		1	叶	
		森林化学特論		1	1		1		芦谷	
		資源経済学特論		1	1		1		小川	◆
		森林影響学特論		1		1		1	菊池	◆
		森林保管理学特論		1		1		1	小峰	
		森林動物管理学特論		1	1		1		江成	
		森林雪氷学特論		1	1		1		ロペス	◆
		環境水工学特論		1	1		1		渡邊（一）	◆
		資源環境計画学特論		1	1		1		石川	◆
		水文環境学特論		1		1		1	梶原	
		環境リスク解析学特論		1	1		1		渡部（徹）	◆
		移動現象学特論		1		1		1	花山	
		樹木生理学特論		1	1		1		吉村	
		景観生態学特論		1	1		1		斎藤	
		森林社会学特論		1	1		1		林	
		地域連環学特論		1		1		1	栗原	
		環境システム工学特論		1	1		1		西山	
		樹木組織・構造学特論		1	1		1		相蘇	
		学外実習(インターンシップ－Ⅰ)		1		1		1		
		学外実習(インターンシップ－Ⅱ)		1		1		1		

授業科目				毎週授業時数				担当 教員	英語 対応	備 考	
				1 年		2 年					
科目 区分	科 目 名		区分	単位 数	前期	後期	前期	後期			
高度専門科目	基幹科目	国際理解（海外研修）	選必	1	1		1			◆	
		特別講義Ⅰ		1		1		1	非常勤講師	△	
		特別講義Ⅱ		1		1		1	非常勤講師	△	
		特別講義Ⅲ		1		1		1	非常勤講師	△	
		グローバル食農環境論		5	1		1			◆	
	研究実践科目	修士特別研究	必修	8	○	○	○	○		◆	
		修士特別演習		2	1		1			◆	
		研究インターンシップ	選必	1	1		1			△	
		畜産学専門演習		8	2	2	2	2	浦川・堀口・松山		
		果樹園芸学専門演習		8	2	2	2	2	平・池田・渋谷	◆	
		野菜園芸学専門演習		8	2	2	2	2	鍋島	◆	
		観賞植物学専門演習		8	2	2	2	2	小笠原		
		植物病理学専門演習		8	2	2	2	2	長谷・小林（隆）	◆	
		動物生態学専門演習		8	2	2	2	2	佐藤	◆	
		栽培土壌学専門演習		8	2	2	2	2	角田（憲）・佐々木	◆	
		生産機械学専門演習		8	2	2	2	2	片平		
		作物学専門演習		8	2	2	2	2	茄子川		
		作物育種学専門演習		8	2	2	2	2	星野		
		消費者行動論専門演習		8	2	2	2	2	陳		
		食農環境政策学専門演習		8	2	2	2	2	藤科		
		農業会計学専門演習		8	2	2	2	2	家串		
		食農環境社会学専門演習		8	2	2	2	2	保木本	◆	
		食農環境地理学専門演習		8	2	2	2	2	渡辺（理）		
		地域資源循環学専門演習		8	2	2	2	2	中坪		
		食農総合科学専門演習		8	2	2	2	2	五領田		
		動物分子生殖科学専門演習		8	2	2	2	2	木村	◆	
		応用微生物学専門演習		8	2	2	2	2	加来		
		生物資源化学専門演習		8	2	2	2	2	塩野	◆	
		食品微生物学専門演習		8	2	2	2	2	小関		
		バイオマス資源学専門演習		8	2	2	2	2	渡辺（昌）	◆	
		分子生化学専門演習		8	2	2	2	2	豊増		
		食品創製科学専門演習		8	2	2	2	2	永井		
		植物ゲノム遺伝学専門演習		8	2	2	2	2	笹沼	◆	
		農産物生理学専門演習		8	2	2	2	2	村山（秀）	◆	
		応用メタボロミクス専門演習		8	2	2	2	2	宮城	◆	
		植物遺伝資源学専門演習		8	2	2	2	2	江頭		
		植物栄養学専門演習		8	2	2	2	2	俵谷	◆	
		土壌生物資源学専門演習		8	2	2	2	2	程	◆	
		生物有機化学専門演習		8	2	2	2	2	網干		
		微生物資源利用学専門演習		8	2	2	2	2	服部		
		食品栄養化学専門演習		8	2	2	2	2	小林（翔）		
		食品機能学専門演習		8	2	2	2	2	叶		
		森林化学専門演習		8	2	2	2	2	芦谷		
		資源経済学専門演習		8	2	2	2	2	小川	◆	



授業科目				毎週授業時数				担当 教員	英語 対応	備 考	
				1 年		2 年					
科目 区分		科 目 名	区分	単位 数	前期	後期	前期	後期			
高 度 専 門 科 目	研 究 実 践 科 目	森林影響学専門演習	選 必	8	2	2	2	2	菊池		
		森林保全管理学専門演習		8	2	2	2	2	小峰		
		森林動物管理学専門演習		8	2	2	2	2	江成		
		森林雪氷学専門演習		8	2	2	2	2	ロペス	◆	
		環境水工学専門演習		8	2	2	2	2	渡邊（一）	◆	
		農地環境工学専門演習		8	2	2	2	2	石川	◆	
		水文環境学専門演習		8	2	2	2	2	梶原		
		環境リスク解析学専門演習		8	2	2	2	2	渡部（徹）	◆	
		水田環境科学専門演習		8	2	2	2	2	花山		
		森林生態学専門演習		8	2	2	2	2	吉村		
		景観生態学専門演習		8	2	2	2	2	斎藤		
		森林社会学専門演習		8	2	2	2	2	林	◆	
		地域連環学専門演習		8	2	2	2	2	栞原		
		環境システム工学専門演習		8	2	2	2	2	西山		
		樹木組織・構造学専門演習		8	2	2	2	2	相蘇		

◆：英語を併用した授業が可能な講義科目を示す。

△：英語を併用した授業が可能かどうかは、担当講師や受入先の判断による。

「グローバル食農環境論」の履修については、16ページを確認すること。

## (2) ダブル・ディグリー・プログラムのカリキュラム

＜農学研究科農学専攻（山形大学大学院生用）＞

授業科目、単位数

授業科目				毎週授業時間数		担当 教員	英語 対応	備 考
科目 区分	科 目 名	区分	単 位 数	前 期	後 期			
基盤 教育科目	地域創生・次世代形成・多文化共生論	必修	2	2		塩野 他	◆	
基礎 専門 科目	異分野連携論	選必	1		1	他研究科教員		
	異分野実践研修		1	1		他研究科教員		
	キャリア・マネジメント		1	1		他研究科教員		
	研究者としての基礎スキル		1	1		他研究科教員		
	データサイエンス		1		1	他研究科教員		
	A I デザイン演習		1	1		他研究科教員		「データサイエンス」単位修得者のみ履修可
	Academic Skills: Scientific Presentations + Writing		1		1	他研究科教員	◆	
	社会文化創造論		1	1		他研究科教員		
	知財と倫理		1		1	他研究科教員		
	技術経営学概論		1	1		他研究科教員		
	食の未来を考える		1		1	藤科 他		
	Global Materials System Innovation		1	1		他研究科教員	◆	
	先端医科学特論		2		2	他研究科教員		
高 度 専 門 科 目	研究科共通科目	必修	1	1		村山（秀）	◆	
	環境保全型食農連携実習	選必	1	1		渡邊（一）		
	農学最前線		1	1				
	Intensive Scientific Communication Course in English		1		1	非常勤講師	◆	
	畜産学特論		1	1		浦川		
	家畜生産利用学特論		1	1		松山		
	果樹園芸学特論		1		1	平・池田・渋谷	◆	
	野菜園芸学特論		1		1	鍋島	◆	
	観賞植物学特論		1	1		小笠原		
	植物病理学特論		1	1		長谷・小林（隆）	◆	
	動物生態学特論		1		1	佐藤	◆	
	栽培土壌学特論		1	1		角田（憲）	◆	
	生産機械学特論		1	1		片平		
	作物栽培学特論		1	1		佐々木	◆	
	作物学特論		1	1		茄子川		
	作物育種学特論		1	1		星野		
	消費者行動特論		1	1		陳		
	食農環境政策学特論		1		1	藤科		

授業科目				毎週授業 時間数		担当 教員	英語 対応	備 考
科目 区分	科 目 名	区分	単 位 数	前 期	後 期			
高 度 専 門 科 目	基 幹 科 目	選必	農業会計学特論	1	1	家串		
			食農環境社会学特論	1	1	保木本	◆	
			食農環境地理学特論	1	1	渡辺（理）	◆	
			地域資源循環学特論	1	1	中坪		
			家畜管理学特論	1	1	堀口		
			食農総合科学特論	1	1	五領田		
			動物分子生殖科学特論	1		1	木村	
			応用微生物学特論	1		1	加来	
			生物資源化学特論	1	1		塩野	◆
			食品微生物学特論	1		1	小関	
			バイオマス資源学特論	1	1		渡辺（昌）	◆
			分子生化学特論	1		1	豊増	
			食品創製科学特論	1	1		永井	
			植物ゲノム遺伝学特論	1		1	笹沼	◆
			農産物生理学特論	1	1		村山（秀）	◆
			応用メタボロミクス特論	1	1		宮城	◆
			植物遺伝資源学特論	1	1		江頭	
			植物栄養学特論	1	1		俵谷	◆
			土壌生物資源学特論	1		1	程	◆
			生理活性物質化学特論	1	1		村山（哲）	
			生物有機化学特論	1		1	網干	◆
			微生物資源利用学特論	1	1		服部	
			食品栄養化学特論	1		1	小林（翔）	
			食品機能学特論	1		1	叶	
			森林化学特論	1	1		芦谷	
			資源経済学特論	1	1		小川	◆
			森林影響学特論	1		1	菊池	◆
			森林保全管理学特論	1		1	小峰	
			森林動物管理学特論	1	1		江成	
			森林雪氷学特論	1	1		ロペス	◆
			環境水工学特論	1	1		渡邊（一）	◆
			資源環境計画学特論	1	1		石川	◆
			水文環境学特論	1		1	梶原	
			環境リスク解析学特論	1	1		渡部（徹）	◆
			移動現象学特論	1		1	花山	
			樹木生理学特論	1	1		吉村	
			景観生態学特論	1	1		斎藤	
			森林社会学特論	1	1		林	
			地域連環学特論	1		1	栗原	
			環境システム工学特論	1	1		西山	
			樹木組織・構造学特論	1	1		相蘇	
			学外実習（インターンシップーⅠ）	1	1			
			学外実習（インターンシップーⅡ）	1	1			
			国際理解（海外研修）	1	1		◆	

授業科目				毎週授業 時間数		担当 教員	英語 対応	備 考
科目 区分	科 目 名	区分	単位 数	前 期	後 期			
高 度 専 門 科 目	基幹科目	特別講義Ⅰ	1		1	非常勤講師	△	
		特別講義Ⅱ	1		1	非常勤講師	△	
		特別講義Ⅲ	1		1	非常勤講師	△	
		グローバル食農環境論	5	1			◆	
	研究実践科目	修士特別研究	8	○	○		◆	
		修士特別演習	2	1	1		◆	
		研究インターンシップ	1	1			△	
		畜産学専門演習	8	4	4	浦川・堀口・松山		
		果樹園芸学専門演習	8	4	4	平・池田・渋谷	◆	
		野菜園芸学専門演習	8	4	4	鍋島	◆	
		観賞植物学専門演習	8	4	4	小笠原		
		植物病理学専門演習	8	4	4	長谷・小林（隆）	◆	
		動物生態学専門演習	8	4	4	佐藤	◆	
		栽培土壌学専門演習	8	4	4	角田（憲）・佐々木	◆	
		生産機械学専門演習	8	4	4	片平		
		作物学専門演習	8	4	4	茄子川		
		作物育種学専門演習	8	4	4	星野		
		消費者行動論専門演習	8	4	4	陳		
		食農環境政策学専門演習	8	4	4	藤科		
		農業会計学専門演習	8	4	4	家串		
		食農環境社会学専門演習	8	4	4	保木本	◆	
		食農環境地理学専門演習	8	4	4	渡辺（理）		
		地域資源循環学専門演習	8	4	4	中坪		
		食農総合科学専門演習	8	4	4	五領田		
		動物分子生殖科学専門演習	8	4	4	木村	◆	
		応用微生物学専門演習	8	4	4	加来		
		生物資源化学専門演習	8	4	4	塩野	◆	
		食品微生物学専門演習	8	4	4	小関		
		バイオマス資源学専門演習	8	4	4	渡辺（昌）	◆	
		分子生化学専門演習	8	4	4	豊増		
		食品創製科学専門演習	8	4	4	永井		
		植物ゲノム遺伝学専門演習	8	4	4	笹沼	◆	
		農産物生理学専門演習	8	4	4	村山（秀）	◆	
		応用メタボロミクス専門演習	8	4	4	宮城	◆	
		植物遺伝資源学専門演習	8	4	4	江頭		
		植物栄養学専門演習	8	4	4	俵谷	◆	
		土壌生物資源学専門演習	8	4	4	程	◆	
		生物有機化学専門演習	8	4	4	網干		
		微生物資源利用学専門演習	8	4	4	服部		
		食品栄養化学専門演習	8	4	4	小林（翔）		
		食品機能学専門演習	8	4	4	叶		
		森林化学専門演習	8	4	4	芦谷		

授業科目				毎週授業 時間数		担当 教員	英語 対応	備 考		
科目 区分	科 目 名		区分	単 位 数	前期				後期	
高 度 専 門 科 目	研 究 実 践 科 目	資源経済学専門演習		選 必	8	4	4	小川	◆	
		森林影響学専門演習			8	4	4	菊池		
		森林保全管理学専門演習			8	4	4	小峰		
		森林動物管理学専門演習			8	4	4	江成		
		森林雪氷学専門演習			8	4	4	ロペス	◆	
		環境水工学専門演習			8	4	4	渡邊（一）	◆	
		農地環境工学専門演習			8	4	4	石川	◆	
		水文環境学専門演習			8	4	4	梶原		
		環境リスク解析学専門演習			8	4	4	渡部（徹）	◆	
		水田環境科学専門演習			8	4	4	花山		
		森林生態学専門演習			8	4	4	吉村		
		景観生態学専門演習			8	4	4	斎藤		
		森林社会学専門演習			8	4	4	林	◆	
		地域連環学専門演習			8	4	4	栞原		
		環境システム工学専門演習			8	4	4	西山		
		樹木組織・構造学専門演習			8	4	4	相蘇		

◆：英語を併用した授業が可能な講義科目を示す。

△：英語を併用した授業が可能かどうかは、担当講師や受入先の判断による。

「グローバル食農環境論」の履修については、16ページを確認すること。

<農学研究科農学専攻（ハノーヴァー大学生用）>

1 授業科目，単位数

授業科目			毎週授業 時間数		担当 教員	備 考
科 目 名	区 分	単 位 数	前 期	後 期		
地域創生・次世代形成・多文化共生論	必修	2	2		塩野 他	
Academic Skills: Scientific Presentations + Writing	選必	1		1	他研究科教員	
Global Materials System Innovation		1	1		他研究科教員	
環境保全型食農連携実習	必修	1	1		村山（秀）	
Intensive Scientific Communication Course in English	選必	1		1	非常勤講師	
果樹園芸学特論		1		1	平・池田・渋谷	
野菜園芸学特論		1		1	鍋島	
植物病理学特論		1	1		長谷・小林（隆）	
動物生態学特論		1		1	佐藤	
栽培土壌学特論		1	1		角田（憲）	
作物栽培学特論		1	1		佐々木	
食農環境社会学特論		1	1		保木本	
食農環境地理学特論		1	1		渡辺（理）	
生物資源化学特論		1	1		塩野	
バイオマス資源学特論		1	1		渡辺（昌）	
植物ゲノム遺伝学特論		1		1	笹沼	
農産物生理学特論		1	1		村山（秀）	
応用メタボロミクス特論		1	1		宮城	
植物栄養学特論		1	1		俵谷	
土壌生物資源学特論		1		1	程	
生物有機化学特論		1		1	網干	
資源経済学特論		1	1		小川	
森林影響学特論		1		1	菊池	
森林雪氷学特論		1	1		ロペス	
環境水工学特論		1	1		渡邊（一）	
資源環境計画学特論		1	1		石川	
環境リスク解析学特論		1	1		渡部（徹）	
国際理解（海外研修）		1	1			
修士特別演習	必修	2	1	1		
果樹園芸学専門演習	選必	8	4	4	平・池田・渋谷	
野菜園芸学専門演習		8	4	4	鍋島	
植物病理学専門演習		8	4	4	長谷・小林（隆）	
動物生態学専門演習		8	4	4	佐藤	
栽培土壌学専門演習		8	4	4	角田（憲）・佐々木	
食農環境社会学専門演習		8	4	4	保木本	
動物分子生殖科学専門演習		8	4	4	木村	
生物資源化学専門演習		8	4	4	塩野	
バイオマス資源学専門演習		8	4	4	渡辺（昌）	
植物ゲノム遺伝学専門演習		8	4	4	笹沼	
農産物生理学専門演習		8	4	4	村山（秀）	

授業科目			毎週授業 時間数		担当 教員	備 考
科 目 名	区 分	単 位 数	前 期	後 期		
応用メタボロミクス専門演習	選必	8	4	4	宮城	
植物栄養学専門演習		8	4	4	俵谷	
土壌生物資源学専門演習		8	4	4	程	
資源経済学専門演習		8	4	4	小川	
森林雪氷学専門演習		8	4	4	ロペス	
環境水工学専門演習		8	4	4	渡邊（一）	
農地環境工学専門演習		8	4	4	石川	
環境リスク解析学専門演習		8	4	4	渡部（徹）	
森林社会学専門演習		8	4	4	林	

＊ダブル・ディグリー・プログラムでは、単位を次のとおり扱うこととする。

「山形大学1単位＝2ECTS（European Credit Transfer System）」

## 2 履修方法

(1) 必修科目・選択必修科目から合わせて30単位以上修得すること。

### (3) グローバル食農環境論の履修について

本科目は、英語で授業可能な既存の特論を元に構成されており、農学研究科が提供する次の要素から履修した5要素（5単位）を申請により、「グローバル食農環境論」として単位を付与する。

※ ○○学特論 → グローバル○○学

例：動物生態学特論 → グローバル動物生態学

#### 1 要素

要素	既存の科目名	担当教員
グローバル動物生態学	動物生態学特論	佐藤 智
グローバル栽培土壌学	栽培土壌学特論	角田 憲一
グローバル作物栽培学	作物栽培学特論	佐々木 由佳
グローバル食農環境社会学	食農環境社会学特論	保木本 利行
グローバル生物資源化学	生物資源化学特論	塩野 義人
グローバルバイオマス資源学	バイオマス資源学特論	渡辺 昌規
グローバル農産物生理学	農産物生理学特論	村山 秀樹
グローバル応用メタボロミクス	応用メタボロミクス特論	宮城 敦子
グローバル植物栄養学	植物栄養学特論	俵谷 圭太郎
グローバル土壌生物資源学	土壌生物資源学特論	程 為国
グローバル生物有機化学	生物有機化学特論	網干 貴子
グローバル森林影響学	森林影響学特論	菊池 俊一
グローバル森林雪氷学	森林雪氷学特論	ロペス・ラリー
グローバル環境水工学	環境水工学特論	渡邊 一哉
グローバル資源環境計画学	資源環境計画学特論	石川 雅也
グローバル環境リスク解析学	環境リスク解析学特論	渡部 徹

#### 2 履修方法

2年以内で5要素（5単位）を履修する。

#### 3 単位認定

履修した5要素の評価点の平均値を成績点とし、5単位一括で評価する。



## (4) 修士課程の途中からのダブル・ディグリー・プログラムへの参加について

### 1 制度概要

山形大学大学院農学研究科とドイツ・ハノーヴァー大学自然科学部ランドスケープ科学専攻の双方に在籍し、所定の要件を満たすことで、両大学から学位（山形大学から修士（農学）、ハノーヴァー大学から修士（理学））が授与される制度である。

両大学に最低1年ずつ在籍することがプログラム修了の一つの要件であり、ドイツへの留学が必須となる。なお、修士課程の途中から参加する場合には、それ以前の在籍期間はプログラム在籍期間には含まれない。

### 2 参加申請資格

- ・山形大学大学院農学研究科に在籍していること
- ・CEFR B2 以上、TOEIC700 点以上、またはこれと同程度の英語力を有すること

### 3 申請方法

指導教員と事前に相談した上で、申請書類を学生センター学務課国際室へ提出する。申請書類の詳細については、学生センター学務課国際室に問い合わせること。

### 4 提出期限

- ・4月からの参加を希望する場合には、前年12月の最終営業日
- ・10月からの参加を希望する場合には、同年6月の最終営業日

### 5 審査方法

書面審査及び面接試験

### 6 判定について

上記審査の結果とプログラムにすでに在籍する学生数（山形大学とハノーヴァー大学の協定により上限が定められている）をもとに参加の諾否を判定する。判定結果は書面により申請者に通知する。

## (5) 入学から修了までのスケジュールについて

### 【4月入学者用】

月	1 年次	2 年次
4 月	入学式 新入生ガイダンス 授業開始 主指導教員・副指導教員の決定 山形大学学務情報システムにより履修科目登録 (前期開始から2週間程度) 研究倫理教育プログラムの受講	授業開始 山形大学学務情報システムにより履修科目登録 (前期開始から2週間程度)
5 月	研究計画書提出	研究計画書提出
6 月	修士学位論文研究の研究計画発表 (修士特別演習)	修士学位論文研究の研究中間報告 (修士特別演習)
7 月		
8 月	授業終了	授業終了
9 月		
10 月	授業開始	授業開始
11 月		
12 月		
1 月		修士学位論文等の提出 (1月21日締め切り)
2 月	授業終了 修士学位論文発表会 (2年次対象) への参加	授業終了 修士学位論文発表会 修士学位論文等審査・最終試験
3 月		学位授与式

### 【10月入学者用】

月	1 年次	2 年次
10 月	新入生ガイダンス 授業開始 主指導教員・副指導教員の決定 履修科目登録 (後期開始から2週間程度) 研究倫理教育プログラムの受講	授業開始
11 月	研究計画書提出	研究計画書提出
12 月		
1 月		
2 月	授業終了 修士学位論文発表会 (2年次対象) への参加	授業終了
3 月		
4 月	授業開始 山形大学学務情報システムにより履修科目登録 (前期開始から2週間程度)	授業開始 山形大学学務情報システムにより履修科目登録 (前期開始から2週間程度)
5 月	修士学位論文研究の研究計画発表 (修士特別演習)	修士学位論文研究の研究中間報告 (修士特別演習)
6 月		修士学位論文等の提出 (7月21日締め切り)
7 月		
8 月	授業終了	授業終了 修士学位論文発表会 修士学位論文等審査・最終試験
9 月		学位授与式

## 5. 授業内容紹介等

○山形大学シラバス

《日本語》

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/lesson/syllabus/>

《英語》

<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/en/programs.html>

《日本語》



《英語》



○専攻の案内、各教員の研究内容及び在学生の皆さんへの情報は、以下の山形大学農学部／山形大学農学研究科のホームページ内「在学生の皆様へ」を御覧ください。

《日本語》

<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/students.html>

《英語》

<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/en/index.html>

《日本語》



《英語》



### Ⅲ. 学位（修士）論文

#### 1. 山形大学大学院農学研究科修士論文取扱要項

修士論文の取り扱いについて、大学院関係規則等に定めるもののほか、この要項により行う。

（学位論文の提出及び受理）

- 1 学位論文の審査を受けるには、1月21日（当日が土曜日又は日曜日に当たるときは、休業日の翌日）までに次に掲げる書類を指導教員を経て研究科長に提出するものとする。ただし、9月に修了する場合は7月21日（当日が土曜日、日曜日又は休日にあたる場合は、休業日の翌日）までに提出するものとする。

（1）学位論文審査願（別紙様式第1号） 1部

（2）学位論文（一般プログラムを履修する者は和文又は英文、ダブル・ディグリー・プログラムを履修する者は英文とし、A4版で作成すること。） 3部

（3）学位論文概要（別紙様式第2号）（和文1,200字又は英文1,000語程度） 1部

- 2 ダブル・ディグリー・プログラムを履修する者は、本学に提出するものと同じの学位論文を連携大学にも提出すること。提出の方法については、連携大学が定める方法に従うこと。

（学位論文の審査）

- 3 研究科長は、各領域が選出した論文審査委員を論文提出後すみやかに委嘱する。

- 4 論文審査委員は、論文の審査結果を研究科長に報告（別紙様式第3号）するものとする。

（学位論文の公開）

- 5 学位論文提出者は、その研究内容について、領域ごとに公開口頭発表を行う。

（最終試験）

- 6 最終試験は、所定単位を修得した者について、領域ごとに行い、審査委員はその結果を研究科長に報告（別紙様式第3号）するものとする。

（課程修了の認定）

- 7 研究科長は、修得単位、論文審査及び最終試験の結果に基づき修士の学位を授与すべきか否かについて研究科委員会から意見聴取を行う。

- 8 研究科長は、前条の意見聴取の結果について、学長に報告する。

（論文及び概要の保管）

- 9 学位論文概要及び学位論文は、それぞれ製本し、農学部図書館に保管する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、令和3年7月6日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

- 2 改正後の山形大学大学院農学研究科修士論文取扱要項は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前入学者については、なお従前の例による。

## 2. 修士論文審査および最終試験の判定基準

### 《修士論文審査基準》

以下のすべての基準を満たす論文を合格とする

1. 広義の農学の発展に寄与する目的あるいは意義を有する。
2. 論文題目が適切である。
3. 論文として適切な形式となっている。
4. 論理的な論文構成になっている。
5. 新知見やオリジナリティー等の面から、研究内容の質が十分である。

### 《最終試験判定基準》

以下のすべての基準を満たす場合を合格とする。

1. わかりやすく論理的に発表する能力がある。
2. 質疑に対する的確に応答する能力がある。

## 3. 学位審査に係る相談・通報窓口

山形大学では、本学が授与する学位の審査における透明性及び客観性を確保するため「学位審査に係る相談・通報窓口」を設置しています。学位の審査や取得に関して疑義が生じた場合は、エンロールメント・マネジメント部教育課にご相談等してください。

(電話：023-628-4841, メールアドレス：yu-kyoiku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

なお、相談等された方が、そのことを理由に不利益な取扱いを受けることはありませんので、ご安心ください。

#### 4. 研究領域・担当教員・研究分野・研究内容紹介

研究領域	担当教員	研究分野	研究内容
生物生産学	茄子川 恒	作物学	主にイネを対象として、持続可能な生産技術と環境変動に適応する技術について研究を行っています。
	星野 友紀	作物育種学	作物がもつ重要形質の遺伝機構と多様性の解明及び分子マーカーの開発による作物育種への利用に関する研究を行っています。
	鍋島 朋之	野菜園芸学	野菜類における環境応答性や病虫害防除に関する研究を行っています。
	平 智 池田 和生 渋谷 知暉	果樹園芸学	山形県特産のオウトウ、セイヨウナシをはじめ、リンゴ、カキなどの果樹を対象に、良品質多収生産のための基礎理論と栽培管理技術の高度な研究を行っています。
	小笠原宣好	観賞植物学	主として多年生花卉の生育と環境要因、在来花卉の保全と利用、組織培養による増殖に関する教育と研究を行っています。
	長谷 修 小林 隆	植物病理学	持続可能な作物の病害防除を目指して、作物に備わる病害誘導抵抗性の機構解明と生物防除や電解水による防除などの応用研究を行っています。また、ドローンまたはAIによる病害発生評価と農業ICTによる病害発生予察に関する研究を行っています。
	佐藤 智	農業生態学	身近な生物や生態系の機能を人間のくらしに活用する手法を研究しています。テントウムシやタニシと環境保全型農業、アメリカミズアブと食品廃棄物処理や動物性たんぱく質としての利用など、様々な生物や用途が研究対象です。調査フィールドも熱帯の山奥から鶴岡の農村まで幅広いのが特徴です。
	角田 憲一 佐々木 由佳	栽培土壌学	栽培土壌学の主要な目的は、作物と土壌の関係を理解することです。環境負荷のない適切な土壌管理によって作物の生産性を改善することを目標として研究を行っています。
	浦川 修司 堀口 健一 松山 裕城	畜産学	地域の生産現場と連携した実践的な研究に重点を置き、飼料作物の栽培・調製、家畜の飼養・管理、畜産物の評価などに関する研究を行っています。
	片平 光彦	生産機械学	農産物のポストハーベスト工学、水田や露地野菜の省力的な農作業技術について研究しています。
	中坪あゆみ	地域環境循環学	地域内資源を利活用し、農と食の地域内循環による持続的な農業生産に関する研究を行っています。
	渡辺 昌規	バイオマス資源学	農産・食品廃棄物を主体とした未利用バイオマスからの有用物質およびエネルギー生産を促進する新規リファイナリー技術の開発を行います。さらに微生物を用いたバイオマス変換の安定性評価に対する微生物群集構造解析の利用について研究します。

研究領域	担当教員	研究分野	研究内容
生物生産学	陳 奥飛	消費者行動論	消費者意思決定のプロセス，メカニズムに関する基礎知識論をベースとして，食をめぐる消費者問題，消費者行動，それに対応する企業のマーケティング活動の現状，展開方向について教育研究を行っています。
	藤科 智海	食農環境政策学	食料・農業政策に関する基礎的な知識をベースとして，現在の食料・農業政策の背景，現状，展開方向について教育・研究を行っています。
	家串 哲生	食農環境会計学	低炭素社会に対応した農業経営の戦略に関して，農業会計の観点から分析・考察する力を養う教育研究を行っています。
	保木本 利行	食農環境・歴史社会学	地域社会がこれまでに経験してきたさまざまな社会“問題”をその歴史的展開の経緯に即しながら分析し，眼前の諸社会問題の発生の原因を歴史的・経済的・社会的視座から複眼的に総合・考察する教育研究を行っています。
	渡辺 理絵	食農環境地理学	日本および海外における地域の暮らしや産業が，その自然・歴史・文化・社会・経済などどのように関係して存立しているのかを学びます。とくに，空間的側面に着目する地理学的な見地からそれらの存立基盤を明らかにしていくとともに，他地域への応用を探ります。
	五領田 小百合	食農総合科学	食料生産，食品加工，販売（ソーシャル・マーケティング），食行動分野に関わる研究に興味を持っています。
生物資源学	加来 伸夫	応用微生物学	各種環境下に生息する嫌気性微生物の生理生態と多様性の解析，新規嫌気性微生物の分離と形態学的，生理生化学的および分子系統学的解析，ならびに微生物機能を利用した環境保全・浄化技術や資源・エネルギー循環型技術の開発に関する教育を行っています。
	永井 毅	食品創製科学	食材や未利用・低利用資源から新規な食品開発につなげるための技術開発について取り扱います。
	木村 直子	動物機能調節学	高等動物における 1) 配偶子形成/発育，受精，胚発生の分子機構とその制御，2) 生殖工学技術の開発，3) 生殖諸機能に及ぼす環境因子の影響
	小関 卓也	食品微生物学	麹菌の産生する産業用酵素に注目し，生化学的・分子生物学的手法を用いて，酵素学的特性や構造解析，さらにそれらの有効な利用法について教育・研究を行っています。
	塩野 義人	生物資源化学	糸状菌の生産する二次代謝産物や生理活性物質について，培養方法や単離精製，一連の化学構造解析手法，ならびに有効な利用方法などを生物有機化学的手法で研究を行っています。
	豊増 知伸	分子細胞生化学	主に高等植物を材料に用い，胚の成熟・発芽，成長現象の制御機構を植物ホルモンの生合成とその作用機作の側面から分子細胞生化学的な手法で研究します。

研究領域	担当教員	研究分野	研究内容
生物資源学	小林 翔	食 品 栄 養 科 学	活性酸素種に対する抗酸化防御機構について、生化学・分子生物学的手法を用いて、抗酸化酵素の遺伝子発現制御や抗酸化物質の代謝に関する研究を行っています。
	叶 奈緒美	食 品 機 能 学	食品中の非栄養性成分およびその代謝産物の健康維持・増進に関連した生物学的特性（抗炎症作用、抗がん作用など）に関する研究を行っています。
	笹沼 恒男	植物遺伝・育種学	栽培作物がもつ重要形質の遺伝機構と多様性の解明及びそれらを利用した改良品種・育種母本の作成、分子マーカーの開発などの育種への利用と、栽培作物とその近縁野生種を中心とする植物の進化を研究します。
	江頭 宏昌	植物遺伝資源学	地域在来の野生植物または作物資源の保全を目的として、それらの来歴、特性、伝統的な農法や利用の文化などについて、文献・現地調査と分析的手法を組み合わせた研究を行います。
	俵谷 圭太郎 程 為国	植物栄養学・土壌学	土壌酸性や栄養ストレスへの植物の耐性機構の解析、アーバスキュラー菌根共生系の機能解析とその利用、植物土壌生態系における炭素・窒素循環と地球環境の関わりに関する研究を行っています。
	村山 哲也 網干 貴子	生 物 有 機 化 学	自生生物に含まれる有用生理活性物質の構造と利用研究、植物と昆虫の化学的な相互作用の解明に取り組んでいます。
	村山 秀樹 宮城 敦子	農 産 物 生 理 化 学	農産物の収穫後の品質変化にかかわるメカニズムについて、生理学的及び代謝科学的な観点から解析するとともに、それらの成果を基礎として、それぞれの農産物に適した収穫後の管理方法などを確立するための研究を行っています。
生物環境学	服部 聡	微生物資源利用学	分子生態学的手法による微生物多様性評価、各種環境に生息する未利用微生物資源（真正細菌・古細菌）の探索取得および微生物代謝能解析に関する研究を行っています。
	ロペス・ラリー	ス マ ー ト 林 業 学	森林は広大で複雑な生態系であるため、調査地が限られる野外調査や、樹木の詳細な特徴を観察するには十分でない解像度の衛星画像のみでは理解することは難しい。よってこの研究室では、無人航空機（UAV）、高解像度画像（数 cm ピクセル）の画像解析、深層学習、および現地調査を行います。これらの複数のアプローチを統合し、森林の生物地球化学的循環と健康状態を自動的に評価することができるモデルを設計することを目指します。
	小川 三四郎	林 政 学	森林・林業、山村、住宅、環境問題などに関する歴史・現在・将来について、経済学、政策学、運動論による社会科学的観点から、文献研究と地域調査による実態把握にもとづいて、実証的・理論的に研究を行っています。
	林 雅秀	森 林 制 度 分 析	新制度学派社会科学の立場から、森林のよりよいガバナンス形態を解明するための研究を行います。経済学や社会学をはじめとする社会科学の近年の著しい発展をふまえて、森林のガバナンス形態についての学問を再構築すべく、調査・研究に取り組めます。



研究領域	担当教員	研究分野	研究内容
生物環境学	江成 広斗	森林動物管理学	森林は多様な野生動物の生息地でもあります。本科目では、野生動物と森林、さらには人の生活・生業との相互作用の解明を通して、持続可能な野生動物管理の創出を目指した研究を行っています。
	菊池 俊一	森林影響学	森林は公益的で多面的な機能を有するグリーンインフラです。その保全・再生のため、植物群集と立地環境間の動的な相互関連について研究を行っています。
	芦谷 竜矢 相蘇 春菜	森林資源利用学	森林資源の高度利用を目的として、樹木組織の解析、培養生産、機能成分の検索等、化学・生物学的手法による森林資源の解析と高付加価値産物への変換などの研究を行っています。
	吉村 謙一	森林生態学	樹木は温度・被陰・乾燥・病害など様々なストレスに耐えながら生育しています。樹木はこのようなストレスに耐えながら生育するメカニズムを明らかにし、環境変動や偶発的な攪乱に対する森林動態の変化を主に樹木個体生理学の観点から解明します。教育・研究を行っています。
	斎藤 昌幸	景観生態学	空間的な視点から生態系を捉えようとする観点から研究を行っています。
	小峰 浩隆	保全生態学	主に、人間社会と野生生物との関わりについて、保全生態学、進化生態学、生態疫学的観点から教育・研究を行っています。
	渡部 徹	水環境工学	水環境の汚染とそれに関わる物理化学・生物学のプロセス、水や食品の汚染による健康リスクの評価、そして、持続可能な農業のための下水道資源利用に関する研究を行っています。
	栗原 良樹	地域連環学	地域連環学では、農山村地域の活性化や持続的な地域資源管理・利用に向けた、地域資源と地域社会との連環関係に関する研究を行っています。
	花山 奨	農地物理学	持続的な食糧生産を可能とする環境調和型農地の整備・利用をめざし、農地における水・物質・エネルギーの流れの解明とその制御に関する教育研究を行っています。
	石川 雅也	農村計画学	『植物生産を効率的に行い得る生産環境の創造』に加えて『持続可能な農業・農村環境の創造』について、土地科学からの接近を試みます。具体的には、最適土地利用計画のための手法に基づき、農業的土地利用がもたらす環境ストレス（水質汚染・地球温暖化・土壌劣化）を低減するために新たに開発された農業基盤創成技術の事業計画を立案・検討する研究を行っています。
		農地環境工学	持続的な食料生産の向上を可能とする環境調和型農地の実現を目的とした、農地すなわち「土壌・植物・大気」系における水・物質循環の科学を基礎とする新たな整備と管理について研究を行っています。

研究領域	担当教員	研究分野	研究内容
生物環境学	渡邊 一哉 梶原 晶彦	河川環境工学 水文環境学	農業を中心とした持続可能な水利用, 周辺環境や生物との関係性の探求と, よりよい共生の実現を目指しています。 具体的には, 農業水利学, 河川環境学, 水圏生態学, 水質水文学, 環境水理学などの専門知識の修得と, 附属演習林, 農場, 庄内地域に限らず様々なフィールドでの現地調査を通して考察していく研究を行っています。
	西山 正晃	環境衛生工学	生物にとって必要不可欠である「水」から創出される環境を対象として, 微生物や化学物質による汚染を分子生物学的手法や遺伝子解析を用いて実態を解明し, その対策を講じるための教育・研究を行います。


(研究領域別・順不同)

## IV. 学生生活

### 1. 学生心得

#### (1) 掲示板について

学生に対する連絡は全て掲示により行いますので、次の掲示板及び「WebClass」を毎日の登下校時には、必ず確認してください。

種 別	掲示板の設置箇所 (p. 104参照)
大学院生関係	1 号館 1 階
学生の呼び出し	電子掲示板
就職関係	1 号館 1 階
保健室からのお知らせ	鶴岡キャンパス学生センター
奨学金募集関係	鶴岡キャンパス学生センター
一般用の掲示関係	1 号館 1 階、農学部会館 1 階(入口付近)
WebClass	<a href="https://ecsylms1.kj.yamagata-u.ac.jp/webclass/login.php">https://ecsylms1.kj.yamagata-u.ac.jp/webclass/login.php</a> 

(注) 掲示の見落としは、取り返しのつかない事態になることもあります。

#### (2) 事務窓口について

学生に直接関係のある事務は、学務担当で行います。

学 務 担 当 鶴岡キャンパス学生センター

電 話 番 号 0235-28-2809

受 付 時 間 8時30分～17時00分（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く。）

#### (3) 証明書の発行等について

##### 1) 証明書自動発行機

証明書自動発行機 多目的ルーム

利 用 時 間 8時30分～17時00分（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く。）

証明書自動発行機により、次の証明書を発行できます。

○在学証明書

○成績証明書

※ 厳封する必要がある場合は、証明書自動発行機で発行後、学生センター内にある封筒を使用し、各自厳封してください。

○修了見込証明書（大学院2年次）

○学割証（原則年間10枚、1回4枚まで）

※ 不正に使用することのないよう十分に注意のこと。

○健康診断証明書（健康診断項目を全て受検、再検査等不要の学生）

## 2) その他の証明書

上記以外の証明書については、学務担当に申し込んでください。交付までは、通常3日程度かかります。また、証明書の種類によっては、3日以上かかる場合がありますので、時間的な余裕をもって早めに申し込むようにしてください。

## (4) 諸願出、届出について

学務担当では、次の願出等を受け付けています。詳細については、学務担当までお問い合わせください。

種 別	備 考	種 別	備 考
休学		海外渡航届出書・海外渡航行程表	
復学		サークル結成	
退学		サークル継続	
通学定期乗車券		サークル解散	
授業料免除願書		サークル役員変更	
授業料徴収猶予		体育施設使用	
入寮（退寮）		課外活動共用施設使用	
奨学金願書		農学部会館使用	
連絡先変更届		集会届	
保証人変更届		掲示願	
学生証再交付		用具の使用	
進路調査票		事故状況報告	
		駐車許可証	

## 1) 休学・復学・退学について

休学、復学、退学の事由が発生した場合は、直ちに学務担当に連絡し、所定の用紙に必要事項を記入し、保証人連署の上、指導教員の許可を得て提出してください。特に奨学生である者に前述の事由が発生した場合は、別途手続きが必要なため注意してください。休学期間は通算して、2年（修士課程）を超えることはできません。休学期間は在学期間に算入しません。なお、休学している者が休学期間を満了した場合には、復学しなければなりません。

補足①：学期開始の月の末日（前期は4月30日、後期は10月31日）までに休学を許可された場合は、月割計算によって休学する翌月から復学する前月までの授業料は免除されます。したがって、学期開始の月の末日後に休学が許可された者は、該当する学期の授業料を全額納付しなければなりません。

補足②：退学する場合には、その学期に属する授業料は納付しなければなりません。また、退学する者は学生証を返納しなければなりません。

## 2) 除籍について

次のいずれかに該当すると、除籍となる場合があります。

- (1) 在学期間が修業年限（修士課程は2年）の2倍を超えた場合。
- (2) 病気その他の理由で、成業の見込みがない場合。
- (3) 入学料の免除もしくは徴収猶予を申請し、不許可、半額免除許可、徴収猶予許可のいずれかとなった者が、所定の期日までに入学料を納付しない場合。
- (4) 授業料の納付を怠り、督促を受けてもなお納付しない場合。

### 3) 住所、保証人等の変更

住所、保証人、保証人住所、氏名等に変更が生じたときは、速やかに学務情報システムにて変更、または学務担当にご連絡ください。

### 4) 海外渡航について

私事渡航を含め、海外渡航を予定している学生は学務担当に連絡し、所定の用紙に必要事項を記入の上、必ず渡航前に学務担当まで提出してください。

### (5) 奨学金及び授業料免除について

日本学生支援機構、地方公共団体及び民間企業等の奨学事業について、山形大学ホームページ及び鶴岡キャンパス学生センター前掲示版にて案内していますので、希望者は確認の上、申請してください。

また、経済的理由又は学資負担者の死亡、災害等の理由により授業料の納付が困難であり、学業成績優秀と認められる者に対し、選考の上、その期の授業料の全額又は半額を免除する制度があります。掲示版にて案内しますので、授業料免除を受けようとする者は、事前に願書の交付を受け、指定された期間内に学務担当に出願してください。

### (6) アルバイトの紹介について

アルバイトについては、山形大学生生活協同組合にて紹介しています。詳しくは山形大学生生活協同組合ホームページ <http://www.yamagata.u-coop.or.jp> を参照ください。

### (7) 就職について

就職を希望する学生には、小白川キャンパスキャリアサポートセンター（学生センター内）及び、鶴岡キャンパス就職情報室（1号館1階）にて、進路相談を含め就職のサポートを行っています。

### (8) 学生寮について

鶴岡キャンパスには、学生寮として啓明寮があります。掲示板にて募集の案内を行いますので、入寮希望者は確認の上、申し込みしてください。

なお、申し込み後に入寮者の選考を行います。入寮の時期は、4月、7月、10月、1月です。

## 2. 健康管理

### (1) 鶴岡キャンパス保健室

#### 1) 健康相談、学生相談等について

鶴岡キャンパス保健室では、学校医（専門医）等による次の健康相談、学生相談等に応じています。

相談日程は、鶴岡キャンパス学生センター前の掲示版にてお知らせします。

種 別	内 容	担当者
健康相談	内科相談・歯科相談（各毎月1回）・精神科医相談	学校医
学生相談	勉学，対人関係，進路等の心理面の相談（毎週4回）	カウンセラー
その他	救急処置，健康相談，保健指導，医療機関の紹介，諸検査（尿検査，心電図検査，血圧測定，聴力・資料検査，その他）	看護師

#### 2) 保健室窓口について

鶴岡キャンパス保健室 農学部会館1階

電 話 番 号 0235-28-2817

受 付 時 間 8時30分～17時00分（土曜日，日曜日，祝日及び年末年始を除く。）

#### 3) 定期健康診断

学校保健安全法で定められている定期健康診断を，毎年4月に実施しています。学生生活を送る上で支障をきたす疾患を早期に発見することを目的としているので，必ず受検してください。

月 別	対 象	内 容
4 月	1 年生	胸部X線間接撮影，内科検診，歯科検診，眼科検診，耳鼻科検診，計測，血圧測定，視力測定，聴力検査，尿検査
	2 年生	計測，視力測定，尿検査

#### 4) その他

上記以外に，次のような業務を行っています。

○スポーツ関係者健康診断 対象：体育クラブ所属学生，対外試合出場学生

内容：心電図検査，尿検査，血圧測定，診察，その他

### (2) 学生のための保険

保健室にて，次の保険の加入申込・保険請求を受け付けています。

○学生教育研究災害傷害保険

○学研災付帯賠償責任保険

○学研災付帯学生生活総合保険

### 3. 注意事項

#### (1) 交通規制

鶴岡キャンパスでは、教育・研究上必要な環境を保持することを目的に駐車規制や交通安全等に関し必要な事項を定めています。

自動車による通学は、駐車許可証がないとできませんので注意してください。駐車許可証の発行条件については、学務担当に確認してください。

また、構内は徐行（制限速度10km）を厳守し、事故防止に注意するとともに、研究や授業の妨げにならないように静かに運行してください。

バイク、自転車についても指定の場所に置いてください。

#### (2) キャンパス・ハラスメント（本学ホームページ「学生生活」参照）

キャンパス・ハラスメントとは、セクシャル・ハラスメント及びアカデミック・ハラスメントなどのハラスメントのことです。個人の人権を侵害するものであり、いかなる場合でも許されません。

鶴岡キャンパスでは、安全で適切な教育を受ける環境を阻害することのないよう、その防止に努めていますが、万一問題が発生した場合は、保健室においても常時対応していますので相談員に相談するようにしてください。

なお、相談を申し出た本人のプライバシーはもちろんのこと、当事者双方の人権の保護に十分配慮しながら対応することとなっています。

#### (3) 薬品の取扱い

実験や実習で使用する薬品の中には、人体に有害なものが数多く含まれています。これらは、ちょっとした不注意によって、学生自身はもとより社会的にも重大な被害を及ぼすことがあります。薬品による事故を防止するため、薬品を使用する実験や実習を行うときは、山形大学毒物及び劇物取扱規定に基づき事故の防止に努めてください。

また、「農学部安全衛生教育テキスト」が農学部ホームページ「キャンパスライフ」内に掲載されていますので参照してください。

#### (4) 懲戒について

試験等における不正行為など、本学の学生として不適切な行為等が認められた場合には、巻末の規程（P43～P47参照）に従って懲戒を受けることになります。



## V. 関係規則

### 1. 山形大学大学院規則（抄）

（昭和 39 年 4 月 1 日）

#### 第1章 総則

##### （趣旨）

第1条 この規則は、国立大学法人山形大学及び山形大学基本組織規則第25条第3項の規定に基づき、山形大学大学院（以下「本大学院」という。）における教育の実施について必要な事項を定めるものとする。

##### （目的）

第1条の2 本大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

2 各研究科の目的、課程・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

研究科	目 的	課程・専攻	入学定員	収容定員
農学研究科	学術研究の高度化と優れた研究者の養成、高度専門職業人の養成と社会人の再教育及び教育研究を通じた国際交流の推進を目標として、幅広い知識とともに深い専門性を身につけ、創造力を豊かに発揮できる高度な知的能力を持った人材の養成を目的とする。	修士課程		
		農学専攻	38	76
		計	38	76

#### 第2章 標準修業年限

##### （標準修業年限）

第2条 修士課程及び専門職学位課程の標準修業年限は、2年とする。

2 医学系研究科看護学専攻及び先進的医科学専攻、理工学研究科並びに有機材料システム研究科の博士課程の標準修業年限は、5年とし、博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程の標準修業年限は、3年とする。

3 医学系研究科医学専攻博士課程の標準修業年限は、4年とする。

4 在学期間は、標準修業年限の2倍の年数を超えることができない。

##### （在学期間の短縮）

第2条の2 第15条の規定により入学する前に修得した単位（学校教育法第102条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。）を本大学院において修得したものとみなす場合であって、当該単位の修得により修士課程及び博士前期課程又は博士課程（医学系研究科医学専攻に限る。以下同じ。）の教育課程の一部を履修したと認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して1年を超えない範囲で在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、修士課程及び博士前期課程又は博士課程については、当該課程に少なくとも1年以上在学するものとする。

##### （長期履修学生）

第3条 学生が、職業を有している等の事情により前条に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する場合は、研究科長が許可する。

2 長期にわたる教育課程の履修に関し必要な事項は、別に定める。



### 第3章 入学、進学、休学、退学等

#### (入学等)

第4条 入学、進学、休学、退学等は、国立大学法人山形大学及び山形大学基本組織規則第26条に規定する研究科委員会（以下「委員会」という。）の意見を聴いた上で、学長が許可する。

#### (入学の時期)

第5条 入学の時期は、毎年4月とする。

2 学年の途中においても、学期の区分に従い、入学させることがある。

#### (修士課程、博士前期課程及び専門職学位課程の入学資格)

第6条 修士課程及び博士前期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者
  - (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
  - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
  - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
  - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
  - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
  - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
  - (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
  - (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
  - (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
  - (11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
  - (12) 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 専門職学位課程に入学することのできる者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める免許状を有し、かつ、前項各号のいずれかに該当する者とする。

(博士後期課程の入学資格)

第7条 (略)

(医学系研究科医学専攻博士課程の入学資格)

第8条 (略)

(入学者選抜)

第9条 入学志願者については、選抜を行う。

2 入学者の選抜については、別に定めるところによる。

(博士後期課程への進学)

第9条の2 (略)

(休学)

第10条 休学期間は通算して、修士課程、博士前期課程及び専門職学位課程にあつては2年を、博士後期課程にあつては3年を、医学系研究科医学専攻博士課程にあつては4年を超えることはできない。

(留学)

第11条 本大学院と協定を締結している外国の大学院又はこれに相当する教育研究機関に留学しようとする者は、願い出なければならない。

2 留学期間は、在学期間に算入する。

3 第1項に規定する外国の大学院又はこれに相当する教育研究機関との交流協定に基づく留学生の派遣に関する必要な事項は、別に定める。

#### 第4章 教育方法等

(教育課程)

第11条の2 本大学院(専門職学位課程を除く。次項並びに第12条及び第12条の2において同じ。)は、当該大学院、研究科及び専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)の計画を策定し、体系的に教育課程を編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、本大学院は、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮しなければならない。

3 専門職学位課程は、その教育上の目的を達成するために専攻分野に応じ必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

4 専門職学位課程は、専攻に係る職業を取り巻く状況を踏まえて必要な授業科目を開発し、当該職業の動向に即した教育課程の編成を行うとともに、当該状況の変化に対応し、授業科目の内容、教育課程の構成等について、不断の見直しを行うものとする。

(教育方法)

第12条 本大学院(専門職学位課程を除く。)における教育は、授業科目の授業及び研究指導により行う。

2 専門職学位課程における教育は、授業科目の授業により行う。この場合において、専門職学位課程は、その目的を達成し得る実践的な教育を行うよう専攻分野に応じ事例研究、現地調査又は双方向若しくは多方向に行われる討論若しくは質疑応答その他の適切な方法により授業を行うなど適切に配慮するものとする。

(成績評価基準等の明示等)

第12条の2 本大学院においては、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本大学院においては、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性

及び厳格性を確保するために、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

3 専門職学位課程においては、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

4 専門職学位課程においては、学修の成果に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(履修方法等)

第13条 各研究科における授業科目の内容及び単位数、履修方法等については、当該研究科において定める。

(博士課程5年一貫教育プログラム)

第13条の2 優秀な学生を高度な基盤力をもった博士リーダー人材へと導くため、博士前期課程から博士後期課程までの一貫した教育を行う特別な教育プログラムとして、博士課程5年一貫教育プログラムを履修させることができる。

2 博士課程5年一貫教育プログラムにおける授業科目の内容及び単位数、履修方法等については、大学院基盤教育機構において定める。

(成績の評価)

第13条の3 一の授業科目を履修し、成績の審査に合格した者には、所定の単位を与える。

2 前項の成績の評価は、試験、報告書、論文、平常の成績等によって行う。

3 各授業科目の成績は、100点を満点として次の評価点、成績区分及び評価基準をもって表し、S、A、B及びCを合格、Fを不合格とする。

評価点	成績区分	評価基準
100～90点	S	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている。
89～80点	A	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている。
79～70点	B	到達目標を達成している。
69～60点	C	到達目標を最低限達成している。
59～0点	F	到達目標を達成していない。

(他の大学院における履修等)

第14条 教育上有益と認めるとき、研究科長は、他の大学院との協定に基づき、学生が当該大学院において履修した授業科目について修得した単位を、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、第11条に規定する留学の場合に準用する。

3 前2項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、合わせて15単位を超えないものとする。

4 前項の規定にかかわらず、専門職学位課程にあっては、第22条第1項に規定する修了要件として定める単位数の2分の1を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第15条 教育上有益と認めるとき、研究科長は、学生が本大学院に入学する前に本大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本大学院に入学した後の本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、転入学及び再入学の場合を除き、本大学院において修得した単位以外のものについては、15単位を超えないものとする。

3 前項の規定にかかわらず、専門職学位課程にあっては、転入学及び再入学の場合を除き、本大学院において修得した単位以外のものについては、前条の規定により本大学院において修得したものとみなす単位数及び第22条第2項の規定により免除する単位数と合わせて、第22条第1項に規定する修了要件として定める単位数の2分の1を超えないものとする。

第15条の2 本大学院において前2条により修得したものとみなすことができる単位数は、合わせて20単位を超えないものとする。

(他の大学院等における研究指導)

第16条 教育上有益と認めるとき、研究科長は、他の大学院又は研究所等とあらかじめ協議の上、学生が当該大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程及び博士前期課程の学生について認める場合には、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

2 前項の研究指導を受けようとする者は、研究科長の許可を得なければならない。

3 第1項の規定による研究指導は、課程の修了の要件となる研究指導として認定することができる。

(教育方法の特例)

第17条 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

## 第5章 教育職員免許（略）

## 第6章 課程修了の要件及び学位の授与

(修士課程及び博士前期課程の修了要件)

第19条 修士課程及び博士前期課程の修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、研究科が当該課程の目的に応じ適当と認めるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

3 博士前期課程の修了の要件は、当該博士課程の目的を達成するために必要と認められる場合には、前2項に規定する研究科の行う修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することに代えて、研究科が行う次に掲げる試験及び審査に合格することとすることができる。

(1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期課程において修得し、又は涵養すべきものについての試験

(2) 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期課程において修得すべきものについての審査

(博士後期課程の修了要件)

第20条 (略)

(医学系研究科医学専攻博士課程の修了要件)

第21条 (略)

(専門職学位課程の修了要件)

第22条 (略)

(学位の授与)

第23条 第19条から前条までの規定により課程修了の要件を満たした者に、当該研究科委員会の意見を聴いた上で、山形大学学位規程に定めるところにより、学位を与える。

2 学位に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第7章 科目等履修生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生及び外国人留学生 (科目等履修生)

第24条 本大学院の学生以外の者で、本大学院が開設する一又は複数の授業科目を履修しようとする者があるときは、授業及び研究に妨げのない限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

#### (研究生)

第25条 本大学院において、専門事項について更に攻究しようとする者があるときは、授業及び研究の妨げのない限り、選考の上、研究生として入学を許可する。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

#### (特別聴講学生)

第26条 本大学院との協定による他の大学院の学生で、本大学院の特定の授業科目を履修しようとする者があるときは、委員会の意見を聴いた上で、学長が特別聴講学生として許可する。

2 特別聴講学生については、山形大学（以下「本学」という。）の諸規則中、学生に関する規定を準用する。

3 第1項に規定する外国の大学院との交流協定に基づく留学生受入れに関する必要な事項は、別に定める。

#### (特別研究学生)

第27条 他の大学院の学生で、本大学院において研究指導を受けようとする者があるときは、あらかじめ他大学院との協議の上、研究科長が特別研究学生として許可する。

2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

#### (外国人留学生)

第28条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本大学院に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可する。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第8章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料 (検定料等の額)

第29条 検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額は、国立大学法人山形大学における授業料その他の費用に関する規程の定めるところによる。

2 前項の規定にかかわらず、科目等履修生及び研究生については検定料、入学料及び授業料を、特別聴講学生及び特別研究学生については授業料を、協定の定めるところにより、徴収しないことができる。

#### 第9章 岩手大学大学院連合農学研究科における教育研究の実施 (連合大学院)

第30条 岩手大学大学院に設置される連合農学研究科の教育研究の実施に当たっては、本学は、弘前大学及び岩手大学とともに協力するものとする。

2 前項の連合農学研究科に置かれる連合講座は、弘前大学農学生命科学研究科及び地域共創科学研究科並びに岩手大学総合科学研究科の教員とともに、山形大学学術研究院規程第8条第1項に基づく



主担当教員として本学農学部配置された教員がこれを担当するものとする。

#### 第10章 雑則

##### (学部規則の準用)

第31条 この規則に定められていない事項については、山形大学学部規則を準用する。この場合において、「学部教授会」とあるのは「研究科委員会」と、「学部長」とあるのは「研究科長」と読み替えるものとする。

##### 附 則

1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。

(略)

## 2. 山形大学学位規程（抄）

（昭和54年4月21日全部改正）

### 第1章 総則

#### （趣旨）

第1条 この規程は、学位規則（昭和28年文部省令第9号。以下「省令」という。）第13条第1項、山形大学学部規則（以下「学部規則」という。）第39条第2項及び山形大学大学院規則（以下「大学院規則」という。）第23条第2項の規定に基づき、山形大学（以下「本学」という。）が授与する学位について必要な事項を定めるものとする。

#### （学位の種類）

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士、博士及び教職修士（専門職）とする。

#### （専攻分野の名称）

第3条 学位に付記する専攻分野の名称は、別表のとおりとする。

#### （学位の名称）

第4条 本学の学位を授与された者が学位の名称を用いるときは、「山形大学」と付記するものとする。

### 第2章 学士の学位授与（略）

### 第3章 修士の学位授与

#### （修士の学位授与の要件）

第7条 修士の学位は、本学大学院修士課程又は博士前期課程（以下「修士課程」という。）を修了した者に授与する。

#### （修士に係る学位論文の提出）

第8条 修士の学位論文（大学院規則第19条第2項に規定する特定の課題についての研究の成果を含む。以下同じ。）は、当該学位論文の提出者が所属する研究科の研究科長に提出するものとする。

2 前項の提出する学位論文は、1編とする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

3 審査のため必要があるときは、学位論文の提出者に対して当該論文の訳本、模型又は標本等の資料を提出させることができる。

#### （学位論文の返付）

第9条 前条の規定により受理した学位論文は、いかなる事情があっても返付しない。

#### 第10条 削除

#### （審査委員）

第11条 研究科長は、第8条の規定による学位論文を受理したとき又は大学院規則第19条第3項に規定する試験及び審査（以下「特定審査」という。）を行うときは、学位論文内容又は特定審査に関連する科目の教授の中から3人以上の審査委員を選出し、学位論文の審査及び最終試験又は特定審査を行うものとする。ただし、必要があるときは、山形大学学術研究院規程第8条第1項に基づく主担当教員として当該研究科に配置された教授以外の教員を審査委員に選ぶことができる。

2 研究科長は、学位論文の審査及び最終試験又は特定審査に当たって必要があるときは、山形大学学術研究院規程第8条第1項に基づく主担当教員として本学大学院の他の研究科に配置された教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。

#### （最終試験）

第12条 修士の学位論文の提出者に課す最終試験は、学位論文の審査が終了後、当該学位論文を中心として、これに関連のある事項について口頭又は筆答により行う。

#### （特定審査）

第12条の2 特定審査は、博士前期課程において修得し、又は涵養すべき専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養について筆記等による試験を行うとともに、博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力について研究報告の提出及

び口頭試問等による審査を行うものとする。

(審査委員の報告)

第13条 審査委員は、学位論文の審査及び最終試験又は特定審査を終了したときは、直ちにその結果を文書をもって研究科長に報告しなければならない。

(研究科委員会の意見聴取)

第14条 研究科長は、大学院規則第19条の規定に基づき、修士の学位を授与すべきか否かについて、研究科委員会から意見を聴取するものとする。

(学長への報告)

第15条 研究科長は、前条の意見聴取の結果について、学長に報告しなければならない。

2 学長は、前項の報告に疑義があるときは、理由を付して研究科長に再審査を求めることができる。

この場合において、当該研究科委員会は、再審査を行い、その結果を研究科長は遅滞なく学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第16条 学長は、前条の報告に基づき、学位を授与すべきか否かを決定し、学位を授与すべき者には、所定の学位記を交付して修士の学位を授与する。

#### 第4章 博士の学位授与（略）

#### 第5章 教職修士（専門職）の学位授与（略）

#### 第6章 雑則

(学位授与の取消)

第46条 本学において学位を授与された者が、その名誉を汚す行為があったとき又は不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、当該教授会又は当該研究科委員会の意見を聴いた上で学位の授与を取り消し、学位記を返付させ、かつ、その旨を公表するものとする。

(学位記等の様式)

第47条 学位記の様式は、別記様式2のとおりとする。

(その他)

第48条 この規程に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、当該学部長又は当該研究科長が学長の承認を得て定める。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

別表

#### 修士の学位

研究科	専攻	課程	学位の種類及び専攻分野の名称
農学研究科	農学専攻	修士課程	修士（農学）



### 3. 山形大学大学院農学研究科履修規程

(趣 旨)

第1条 山形大学大学院規則第13条の規定に基づき、山形大学大学院農学研究科における授業科目、単位数、履修方法、成績評価等について必要な事項を定めるものとする。

(授業科目等)

第2条 授業科目及び単位数は、別表による。

(研究指導教員)

第3条 学生に対する研究及び論文指導のため、研究指導教員として主指導教員1名及び副指導教員2名以上をおく。

2 副指導教員のうち1人は、主指導教員とは異なる領域の教員とするものとする。

(履修方法)

第4条 学生は、主指導教員の指示に従って、別表に掲げる専攻課程の授業科目について、同表の履修方法により30単位以上を修得しなければならない。

(教育方法の特例)

第5条 研究科における授業及び研究指導は、研究科委員会が教育上必要と認める場合に限り、夜間その他特定の時間又は時期に行う等の適切な方法により行うことができる。

(研究計画書)

第6条 学生は、別記様式により研究計画書を所定の期間内に、主指導教員を経て研究科長に提出しなければならない。

(単位修得の認定)

第7条 単位修得の認定は、筆記試験若しくは、口頭試問又は研究報告書により、毎学期末に授業担当教員が行う。

2 履修した授業科目の成績は、S、A、B、C、F及びNの評語で表し、S、A、B、C及びNを合格とし、その基準は次のとおりとする。

評価点	成績区分	評価基準
100点～90点	S	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている。
89点～80点	A	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている。
79点～70点	B	到達目標を達成している。
69点～60点	C	到達目標を最低限達成している。
59点～0点	F	到達目標を達成していない。
認定科目	N	

(修士論文の提出)

第8条 修士論文は、所定の期間内に主指導教員の承認を経て、研究科長に提出しなければならない。

2 修士論文の作成、提出等については、別に定める。

3 修士論文の審査基準は、別に定める。

(修士論文の審査)

第9条 研究科長は、各領域が選出した論文審査委員を論文提出後すみやかに委嘱する。

2 論文審査委員は、論文の審査結果を研究科長に報告するものとする。

(最終試験)

第10条 最終試験は、領域ごとに行う。

2 領域の教育ディレクターは、最終試験の実施、審査に関する業務を行うための委員会（以下「審査委員会」という。）を置く。

3 論文審査委員は、最終試験の結果を研究科長に報告するものとする。

4 最終試験の判定基準は、別に定める。

(課程修了の認定)

第11条 研究科長は、修士の学位を授与すべきか否かについて、修士論文の審査結果及び審査委員会の最終試験結果の報告に基づき、研究科委員会から意見聴取を行う。

2 研究科長は、山形大学学位規程第15条の規定に基づき、前項の意見聴取の結果について、学長に報告する。

(学部の授業科目の履修)

第12条 学生は、主指導教員及び授業担当教員の許可を得て、農学部の授業科目を履修することができる。ただし、この場合修得した単位は、課程修了の単位とはならない。

2 前項の授業科目を履修する場合は、所定の期日まで「科目等履修生」の手続を行う。

(長期履修学生)

第13条 長期履修学生の取扱いについては、別に定める。

(雑 則)

第14条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、研究科委員会の議を経て研究科長が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

2 改正後の山形大学大学院農学研究科履修規程は、平成26年度入学者から適用し、平成25年度以前入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成27年6月25日から施行する。

2 改定後の山形大学大学院農学研究科履修規程は、平成26年度入学者から適用し、平成25年度以前入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2 改定後の山形大学大学院農学研究科履修規程は、平成31年度入学者から適用し、平成30年度以前入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

2 改定後の山形大学大学院農学研究科履修規程は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、令和3年7月6日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

2 改定後の山形大学大学院農学研究科履修規程は、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、令和3年12月17日から施行し、令和3年度入学者から適用する。

## 4. 山形大学学生の懲戒に関する規程

(平成 25 年 3 月 19 日)

(趣旨)

第1条 この規程は、山形大学学部規則第65条及び山形大学大学院規則第31条に規定する学生の懲戒について、適正かつ公正な運用を図るため、必要な事項を定めるものとする。

(懲戒の対象行為)

第2条 学長は、次の各号の一に該当する行為を行った学生(以下「当該学生」という。)に対して懲戒を行う。

- (1) 犯罪行為及びその他の違法行為
- (2) ハラスメント等の人権を侵害する行為
- (3) 試験等における不正行為及び論文等の作成における学問的倫理に反する行為
- (4) 情報倫理に反する行為
- (5) 学部規則その他本学の諸規則に違反する行為
- (6) 本学の名誉又は信用を著しく傷つける行為
- (7) その他学生としての本分に反する行為

(懲戒の内容)

第3条 懲戒の内容は、次のとおりとする。

- (1) 戒告 学生の行った非違行為を戒めて事後の反省を求め、将来にわたってそのようなことのないよう文書又は口頭により注意する。
  - (2) 停学 一定の期間、学生の教育課程の履修及び課外活動を禁止する。ただし、ボランティア活動等の奉仕活動についてはこの限りではない。
  - (3) 退学 学生としての身分を失わせる。この場合、再入学は認めない。
- 2 停学の期間は無期又は有期とし、無期の停学とは、期限を付さずに命じる停学をいい、有期の停学とは、3月以内の期限を付して命じる停学をいう。
- 3 停学の期間は、在学期間に含め、修業年限に含めないものとする。ただし、3月を超えない場合には、修業年限に含めることができる。

(その他の教育的措置)

第4条 学部長又は研究科長(以下「学部長等」という。)は、前条に規定する懲戒のほか、教育的措置として口頭又は文書による厳重注意を行うことができる。

2 学部長等は、前項に定める厳重注意を行ったときは、別記様式1により、速やかにその旨を学長に報告しなければならない。

(懲戒の量定)

第5条 懲戒処分の量定は、次に掲げる事項を基礎に、行為者の状態等並びに行為の悪質性、重大性を総合的に判断して行う。

- (1) 非違行為の動機、態様及び結果
- (2) 故意又は過失の別及びその程度
- (3) 過去の非違行為の有無
- (4) 日常における生活態度及び非違行為後の対応

2 懲戒処分の量定に当たっては、個々の事案の事情に即し、処分を加重軽減することがある。

(事案の報告)

第6条 学生による事件事故が発生した場合、当該学生が所属する学部長等は、その内容を速やかに学長に報告しなければならない。

(自宅謹慎・自宅待機)

第7条 学部長等は、当該事案が第3条第1項第2号に定める停学又は同項第3号に定める退学に該当することが明白であると認めるときは、懲戒処分決定前に、当該学生に対して自宅謹慎を命ずることができる。

2 学部長等は、被害者保護を目的とする一時的な自宅待機を当該学生に命ずることができる。

(1) 自宅待機は、被害者からの申し出があり、かつ、当該学生が待機期間及び待機理由を承諾した場合に限る。

(2) 待機期間は1週間以内とし、教育を受ける権利への十分な配慮と速やかな事実調査を行わなければならない。

3 自宅謹慎及び自宅待機の期間は、停学の期間に算入できるものとする。

(事実の調査等)

第8条 学部長等は、学生による事件事故が学生の懲戒に当たる行為と思慮するとき又は学長の指示を受けたときは、慎重かつ速やかに当該事案にかかる事実調査を行わなければならない。

2 学部長等は、前項に定める事実調査を行うため調査委員会を設置しなければならない。なお、この調査委員会は、既存の委員会をもって代えることができるものとする。

3 前項に定める調査委員会は、調査を進めるに当たっては、原則として、当該学生に対して調査する旨を告知し、弁明の機会を与えなければならない。

4 調査委員会は、当該学生及び関係者から事情及び意見を聴取し、必要と認められる場合は、資料の提出を求めることができる。

5 調査委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め意見を聴くことができる。

6 調査委員会は、調査終了後、調査内容等を明記した報告書を作成し、学部長等に提出しなければならない。

7 学部長等は、前項の報告書を受理したときは、懲戒の可否等について判断するため、教授会又は研究科委員会(以下「教授会等」という。)の意見を聴くものとする。

8 学部長等は、別記様式2による報告書を作成し、前項の規定による判断の結果を学長に報告しなければならない。なお、報告書には処分の内容を付すことができるものとする。

(懲戒処分の決定)

第9条 学長は、前条第8項の報告書に基づいて、懲戒の可否及び処分の内容を決定する。

2 学長は、報告書の内容に疑義があるときは、当該学部長等に説明を求め、更に再調査を行うことを指示することができる。

(懲戒処分の通知)

第10条 懲戒処分は、学長が、懲戒処分を受ける学生に対して、懲戒処分書(別記様式3)を交付して行う。

2 学長は、懲戒処分を行ったときは、懲戒処分を受ける学生の保証人に、その旨を通知する。

3 懲戒処分を受ける学生の所在を知ることができないとき又は当該学生が懲戒処分書の交付を受けることを拒否するときは、その内容を民法(明治29年法律第89号)第98条第2項に定める方法により公示するものとする。この場合において、公示された日から2週間経過したときに、懲戒処分書が交付されたものとみなす。

(懲戒処分の効力)

第11条 懲戒処分の効力は、懲戒処分書を交付したときから発生するものとする。

(懲戒処分の期間)

第12条 懲戒処分の期間は、処分の効力が発生した日の翌日から起算し、暦日計算による。

(再審査請求)

第13条 懲戒処分を受けた学生は、事実誤認、新事実の発見その他の正当な理由があるときは、その証拠となる資料を添えて、懲戒処分書を交付された日から起算して10日以内に、学長に対して、再審査請求書(別記様式4)により再審査を請求することができる。

2 学長は、再審査の必要があると認めたときは、当該学部長等に対し再調査を指示する。

3 学長は、再審査の必要がないと認めたときは、速やかにその旨を文書により当該学生に通知する。

4 学長は、再審査の結果について、速やかに文書により当該学生に通知する。

5 学長は、再審査の結果により、第9条第1項による懲戒処分の決定内容と異なる決定をした場合は、再度、第10条に定める手続を行う。

6 再審査の請求により、懲戒処分の効力は妨げられないものとする。ただし、再審査請求により懲戒処分の内容を変更したときは、既に行った懲戒処分を取り消す等必要な措置を講じなければならない。

(停学期間の短縮及び解除)

第14条 学部長等は、当該学生の反省の度合い等を勘案し、教授会等の意見を聴いた上で、学長に無期の停学の解除又は有期の停学の期間の短縮を申し出ることができる。

2 学長は、学部長等からの申し出に基づき、当該停学の解除の時期又は期間の短縮を決定することができる。ただし、無期の停学の解除の時期は、当該停学の開始の日から起算して3月未満の日とすることはできない。

(懲戒処分に関する記録)

第15条 懲戒処分を行ったときは、その内容を累加記録簿の賞罰欄に記録する。ただし、本学が発行する証明書等にはその内容を記載しないものとする。

(学籍の異動)

第16条 懲戒に関し、事実調査を行っている学生から、懲戒処分の決定前に、退学又は休学の申し出があったときは、この申し出を受理しない。

2 休学中の学生が停学処分となったときは、当該学生の停学期間中の休学を認めない。

(教務上の措置)

第17条 中間試験又は期末試験等、単位認定に係る試験における不正行為により、停学処分を受けた学生の教務上の措置は、不正行為を行った科目は不合格(0点)とし、それ以外の当該学期の履修登録科目は、全て履修取消とする。ただし、当該学期を超えて履修取消の効果が及ぶ科目については、履修取消の対象としない。

(履修手続)

第18条 停学期間終了又は終了見込みである学生は、停学期間終了後の授業等に関する履修手続を、当該学部等の定める期間に行うことができる。

(停学期間中の指導)

第19条 学部長等は、停学期間中の学生に対して定期的に面談及び指導を行わなければならない。

(事務)

第20条 学生の懲戒に関する事務は、関係部局等の協力を得て、エンロールメント・マネジメント部において遂行する。

(その他)

第21条 この規程に定めるもののほか、学生の懲戒に関し必要な事項は、別に定めることができる。

## 5. 山形大学学生懲戒処分の実施に関する細則

(平成 31 年 2 月 19 日)

(趣旨)

第1条 この細則は、山形大学学生の懲戒に関する規程第21条に基づき、懲戒の量定に関する標準的な例(以下「標準例」という。), 悪質性及び重大性並びに加重軽減について必要な事項を定めるものとする。

(懲戒の量定に関する標準例)

第2条 標準例は別表のとおりとする。ただし、標準例に掲げられていない非違行為については、標準例に照らして判断し、相当の懲戒処分を行う。

(悪質性及び重大性の判断)

第3条 悪質性及び重大性の判断は、次のとおりとする。

(1) 悪質性については、当該学生の主観的態様、当該非違行為の性質、当該非違行為に至る動機及び過去の処分歴等により判断する。

(2) 重大性については、当該非違行為により被害を受けた者の精神的被害を含めた被害の程度、当該非違行為が社会に及ぼした影響等により判断する。

(加重軽減の措置)

第4条 量定の加重軽減については、次のとおりとする。

(1) 懲戒処分は教育的措置であることから、動機、行為後の態様及び個々の事情等から総合的に判断し、加重軽減の措置を講ずることができる。

(2) 動機及び行為後の態様等により、標準例の量定によらず処分の量定を加重軽減することができる。

(3) 学部等の教育理念、教育目標等に反する非違行為である場合には、処分の量定を加重することができる。

(4) 非違行為が過失・誤認等に起因するものであり、今後の教育的指導により十分な更生が見込まれる場合には、処分の量定を軽減することができる。

(その他)

第5条 この細則の改正は、学生支援関係業務を担当する副学長の意見を聞き、学長が行う。



別表(標準例)

区分	行為の内容	懲戒の標準
犯罪行為	殺人、強盗、強制性交等の凶悪な犯罪行為又はその犯罪未遂行	退学
	傷害行為	退学又は停学
	薬物犯罪行為	退学又は停学
	窃盗、詐欺、他人を傷害するに至らない暴力行為等の犯罪行為	退学、停学又は戒告
	痴漢行為(覗き見、盗撮行為その他の迷惑行為を含む。)	退学、停学又は戒告
	ストーカー行為	退学、停学又は戒告
	コンピュータ又はネットワークの不正使用で悪質な場合	退学又は停学
	コンピュータ又はネットワークの不正使用	停学又は戒告
交通事故等	死亡又は高度な後遺症を残す人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が無免許運転、飲酒運転、暴走運転等の悪質な場合(幫助を含む)	退学
	人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が無免許運転、飲酒運転、暴走運転等の悪質な場合(幫助を含む)	退学又は停学
	無免許運転、飲酒運転、暴走運転等の悪質な交通法規違反(幫助を含む)	停学又は戒告
	死亡又は高度な後遺症を残す人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が前方不注意等の過失の場合	停学
	人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が前方不注意等の過失の場合	停学又は戒告
試験等	本学が実施する試験等における不正行為で身代わり受験等の悪質な場合	退学又は停学
	本学が実施する試験等におけるカンニング等の不正行為	停学
	本学が実施する試験等において、監督者の注意又は指示に従わなかった場合	戒告
	山形大学の研究活動における行動規範に関する規程第5条第1項に定める不正行為	退学、停学又は戒告
非違行為	本学の教育研究又は管理運営に対する業務妨害を目的とした暴力的行為	退学、停学又は戒告
	本学が管理する建造物への不法侵入又はその不正使用若しくは占拠による本学への業務妨害行為	退学又は停学
	本学が管理する建造物又は器物の破壊、汚損、不法改築等による本学への業務妨害行為	停学
	本学に対する風説の流布等による威力業務妨害又は偽計業務妨害行為	退学、停学又は戒告
	本学構成員に対する暴力行為、威嚇、拘禁、拘束等	退学、停学又は戒告
	キャンパス・ハラスメントに当たる行為	退学、停学又は戒告
	飲酒を強要し、死に至らしめる等重大な事態を生じさせた場合	退学又は停学
	飲酒を強要し、急性アルコール中毒等の被害を生じさせた場合	停学又は戒告
	未成年者と知りながら飲酒を強要した場合	停学又は戒告
	本学が実施する情報セキュリティ対策に違反し、本学の教育研究又は管理運営に重大な支障を生じさせた場合	停学又は戒告





## I . Introduction of the Graduate School of Agricultural Sciences

### 1. Objectives

The objectives of this graduate school are to advance academic research, nurture outstanding researchers, and promote international exchange by training high-level professionals, retraining working adults, and fostering education and research. With these objectives in mind, we aim to foster students with great intellect, specialized skills, and vast knowledge, capable of demonstrating a wealth of creativity.

### 2. Major

The research areas and student intake capacity of the Graduate School are as follows.

Major	Student intake capacity	Research areas
Agricultural Sciences	38	Bioproduction Science
		Bioresource Science
		Bioenvironmental Science

### 3. Educational Principles and Objectives of the Agricultural Sciences' Major

Major	Educational principles and objectives
Agricultural Sciences	<p>The Agricultural Sciences' Major aims at developing talent capable of using the benefits of creativity to solve problems in international and local communities by nurturing them with humanity, knowledge, and expertise regarding food/life/environmental sciences.</p> <p>Specifically, students are expected to acquire in-depth knowledge of research areas including sustainable production of safe agricultural and livestock products and supportive agricultural management as well as the revitalization of local communities. Furthermore, the major offers the following: programs to develop practical skills; specialized programs on development/improvement and efficient use of bioresources, including microorganisms, animals, and plants benefitting from advanced technology including biotechnology; specialized lectures on forestry science and water/soil/environmental sciences; programs based on seminars and programs that facilitate the symbiosis of humans and nature. The primary aim is to enable researchers, engineers, and experts to create projects that solve problems in local and international communities. Finally, the course aims to support unique scientific/technological development contributing to the progress and well-being of society.</p>

#### **4. Degree-Granting Policy (Diploma Policy)**

##### **Diploma policy at the Graduate School of Agricultural Sciences and Agricultural Sciences' Major**

Based on the completion certification and degree-granting policy (diploma policy) of Yamagata University's Graduate Schools, the Graduate School of Agricultural Sciences grants Master's (Agriculture) degrees to students who have acquired the following knowledge and skills.

##### **1. Humanity**

- (1) To maintain a strong interest in food/life/environmental sciences and continue active/independent learning
- (2) To acquire ethics and a sense of responsibility as a professional as well as the spirit of observing compliance

##### **2. In-depth specialized knowledge/skills and a wide perspective based on arts and sciences**

- (1) To acquire specialized knowledge and skills
- (2) To be able to comprehend specialized knowledge in various fields from arts and sciences and use this knowledge to address diverse and complex social needs

##### **3. The capacity to understand diverse cultures and act for attaining their symbiosis**

- (1) To be able to extract/identify challenges in one's field of specialization in international and local communities and engage in research/development to solve these challenges
- (2) To be able to collaborate with other research fields and acquire practical skills to engage in creative projects

#### **5. Curriculum Composition and Implementation Policies (Curriculum Policy)**

##### **Curriculum Policy at the Graduate School of Agricultural Sciences and Agricultural Sciences Major**

In line with the curriculum composition and implementation policies (curriculum policy) at Yamagata University's Graduate Schools, the Graduate School of Agricultural Sciences and the Major of Agricultural Sciences has created a curriculum that allows students to systematically and independently learn in accordance with the following policies.

##### **1. Curriculum composition and implementation**

- (1) We develop a systematic curriculum for students to acquire knowledge and skills as highly trained professionals.
- (2) We develop a curriculum that allows students to take up wide-ranging subjects in arts and sciences to acquire diverse and interdisciplinary knowledge and skills.

##### **2. Teaching methods**

- (1) We encourage students to actively participate in the class so that they develop skills to independently identify the challenges and present sound solutions.
- (2) We promote collaboration and discussions with students from other disciplines.
- (3) Regarding the master's thesis, face-to-face and individualized teaching sessions are provided by several teaching staff to confirm/teach research content /analytical methods/outcomes.

##### **3. Assessment**

- (1) We conduct a systematic review of the curriculum with student feedback, and assess it based on clearly-stated criteria, which are developed to evaluate the level of achievement.
- (2) The master's thesis is evaluated based on the master's (agriculture) degree evaluation criteria.

## II. Courses at the Graduate School of Agricultural Sciences

### 1. Structure of the teaching process

Students are advised by the main faculty advisor as well as two assistant faculty advisors in carrying out research for the master's thesis, writing it out, and choosing a future career. One of the two assistant advisors is selected from the same research area (see page 73~76) of the main faculty advisor, and the other one is selected from other areas. Both provide advice on learning and research. Students are required to submit a "Research Plan" at the beginning of each academic year based on the one-year research guidance plan presented by their main advisor. Details will be provided during guidance at the beginning of the semester.

### 2. Required Credits for Program Completion

In order to complete the program, students must be enrolled in the program for at least two years (excluding periods of leave of absence) and earn the credits specified in the table below.

\* Students enrolled in the Double Degree Program must be enrolled for at least one year at the home and the host institution, and must earn credits as specified by the host institution in addition to the credits specified in the table below.

Courses Classification		Credits	Notes
Basic Education Courses		2	Students must take 2 credits from Basic Education Courses.
Basic Specialized Courses		2	Students must take 2 or more credits as elective compulsory from Basic Specialized Courses.
Highly Specialized Courses	Shared Graduate School Courses	2	Students must take 2 or more credits (1 credit from the compulsory Courses and 1 or more credits from elective compulsory courses) from Shared Graduate School Courses.
	Basic Courses	6	Students must take 5 credits as elective compulsory courses or 6 or more credits, including 5 credits from "Global Food, Agriculture, and Environment". Students in the Double Degree Program must earn at least 6 credits in total, including 5 credits in Global Food, Agriculture, and Environment as required courses and at least 1 credit in Advanced Studies as an elective.
	Practical Courses	18	Students must take 18 or more credits from Practical Courses (10 credits from compulsory courses and 8 or more credits from elective compulsory courses).
Total		30	

### 3. Courses

#### (1) Semesters

The academic year is divided into two semesters: the summer semester runs from April 1 to September 30, and the winter semester runs from October 1 to March 31.

## **(2) Class timetable**

Class timetable is as follows.

School period	Time
1–2	8:50–10:20
3–4	10:30–12:00
5–6	13:00–14:30
7–8	14:40–16:10
9–10	16:20–17:50

The class timetable will be posted on the graduate student bulletin board or WebClass. Students are responsible for regularly checking the bulletin board and WebClass.

## **(3) The procedure for taking courses**

Students will decide on enrolling in courses after a discussion with their academic advisors at the beginning of each academic year. After securing approval from the advisors, the students must complete the online registration (the Yamagata University Academic Information System) process to enroll in their preferred courses.

Course registration generally takes place within two weeks following the start of the summer semester. To log in, you will need your personal ID, which is given upon admission to the university. Details will be announced at the guidance session. Ensure that you register within the registration period.

## **(4) Exceptions in teaching**

In accommodating working students, the Article 14, Yamagata University Graduate School Regulations stipulate the following exceptions in teaching, if they are recognized as vital to education/research.

1. In addition to normal teaching hours (from 8:50 to 17:50), exceptional teaching hours (18:00–19:30) are set.
2. Students can learn on Saturdays as well as during summer/winter breaks as required.
3. Those who wish to apply for exceptional teaching hours should seek permission from the relevant teaching staff upon obtaining approval from the main supervisor at the beginning of the academic year.

## **(5) Credit standards**

Course credits are based on course content construction equivalent to 45 hours of study for each credit. Depending on the class method, credits are calculated based on the following criteria, considering educational results and necessary studying outside of class hours.

1. For lectures and seminars, 1 credit equates to 15 hours of class time.
2. For experiments and practical training, 1 credit equates to 30 hours of class time.

Students take courses based on the above standards, and credits are given for courses wherein the students have passed the grading examination.

## **(6) Credit approval and grade assessment**

### **1) Credit approval**

The lead class faculty members will conduct credit approval at the end of each semester, based on written examinations, oral examinations, or research reports.

## 2) Grade assessment

Grade assessments are expressed using rating codes (S, A, B, C, F, N), in which S, A, B, C, and N represent passing grades, and F represents failure. The rating code standards are as follows.

Score	Grade	Criteria
90–100	S	Achieved the goals with excellent results
80–89	A	Achieved the goals with good results
70–79	B	Achieved the goals with moderate results
60–69	C	Achieved the goals with minimal results
0–59	F	Failed to achieve the goals
	N	Achieved the goals in subjects unsuitable for the above grading

## 3) Appeal about grading

If you have any questions regarding your grades, please contact the university within three days (except Saturdays, Sundays, and national holidays) of the date on which the grades for the class in question were announced using the “Grade Evaluation Inquiry Form” (downloadable from the “About Classes” link in the “Student Life” tab on the Yamagata University website). The form can be downloaded from the appropriate link under “Classes” under the “Student Life” tab on the Yamagata University website and should be submitted to the Office of Student Affairs. For further details, please consult with the Academic Affairs Office.

## 4) Subjects taken in other graduate schools

Credits for subjects taken in other graduate schools (including graduate schools abroad), which are in accordance with Article 14, Yamagata University Graduate School Regulations, can be transferred to our graduate school.

## (7) Notice of Absence

The form titled “Notice of Absence” can be used to report the reason for absence to a professor in case of absence from a class due to cancellation of public transportation, participation in a tournament, internship, field seminar, sickness, bereavement, and so on. The form can be downloaded from each Faculty’s homepage. However, this “Notice of Absence” only reports the reason for absence to the corresponding professor; thus, it should be remembered that the notice does not guarantee full consideration.

#### 4. Course Subjects, Credits, and How to Take the Courses

##### (1) General curriculum

##### 1. Courses and credits

Courses and credits				Weekly hours				Name	Language*1	Notes
				1st year		2nd year				
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter	Summer	Winter			
Basic Education Courses	Advanced Regional Revitalization, Fostering of Responsible Researchers & Innovation of Future Generations, Promotion of Multicultural Coexistence	●	2	2				SHIONO etc.	◆	
Basic Specialized Courses	Interdisciplinary Communications and Collaboration	◎	1		1			Faculty members from other graduate schools		
	Practice for Interdisciplinary Research		1	1				Faculty members from other graduate schools		
	Career Management		1	1				Faculty members from other graduate schools		
	Fundamental Skills for Researchers		1	1				Faculty members from other graduate schools		
	Data Science		1		1			Faculty members from other graduate schools		
	Artificial Intelligence Design Practice		1			1		Faculty members from other graduate schools		To be taken after Data Science.
	Academic Skills: Scientific Presentations + Writing		1		1			Faculty members from other graduate schools	◆	
	Social and Cultural Innovation		1	1				Faculty members from other graduate schools		
	Intellectual Property and Research Ethics		1		1			Faculty members from other graduate schools		
	Introduction to Management of Technology		1	1				Faculty members from other graduate schools		
	Overview: The Future of Food		1		1			FUJISHINA etc.		
	Global Materials System Innovations		1	1				Faculty members from other graduate schools	◆	
	The Special Lecture of the Up-dated Medical Science		2		2			Faculty members from other graduate schools		
	Highly Specialized Courses	Shared Graduate School Courses	Seminar on Environmental Conservation in Agriculture	●	1	1			H. MURAYAMA etc.	◆
Frontiers in Agricultural Science			◎	1	1			K. WATANABE etc.		
Intensive Scientific Communication Course in English				1		1		Adjunct Professor	◆	

Courses and credits				Weekly hours					Language*1	Notes
				1st year		2nd year				
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter	Summer	Winter	Name		
Highly Specialized Courses	Basic Courses	◎	1	1		1		URAKAWA		
			1	1		1		MATSUYAMA		
			1		1		1	TAIRA,IKEDA, SHIBUYA	◆	
			1		1		1	NABESHIMA	◆	
			1	1		1		OGASAWARA		
			1	1		1		HASE, T. KOBAYASHI	◆	
			1		1		1	SATO	◆	
			1	1		1		KAKUDA	◆	
			1	1		1		KATAHIRA		
			1	1		1		SASAKI	◆	
			1	1		1		NASUKAWA		
			1	1		1		HOSHINO		
			1	1		1		CHEN		
			1		1		1	FUJISHINA		
			1	1		1		IEKUSHI		
			1	1		1		HOKIMOTO	◆	
			1	1		1		R. WATANABE	◆	
			1	1		1		NAKATSUBO		
			1	1		1		HORIGUCHI		
			1	1		1		GORYODA		
			1		1		1	KIMURA		
			1		1		1	KAKU		
			1	1		1		SHIONO	◆	
			1		1		1	KOSEKI		
			1	1		1		M.WATANABE	◆	
			1		1		1	TOYOMASU		
			1	1		1		NAGAI		
			1		1		1	SASANUMA	◆	
			1	1		1		H. MURAYAMA	◆	
			1	1		1		MIYAGI	◆	
			1	1		1		EGASHIRA		

Courses and credits				Weekly hours					Language*1	Notes		
				1st year		2nd year						
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter	Summer	Winter	Name				
Highly Specialized Courses	Basic Courses	◎	1	1		1		TAWARAYA	◆			
			1		1		1	CHENG	◆			
			1	1				T. MURAYAMA				
			1		1		1	ABOSHI	◆			
			1	1		1		HATTORI				
			1		1		1	S. KOBAYASHI				
			1		1		1	KANOH				
			1	1		1		ASHITANI				
			1	1		1		OGAWA	◆			
			1		1		1	KIKUCHI	◆			
			1		1		1	KOMINE				
			1	1		1		ENARI				
			1	1		1		LOPEZ	◆			
			1	1		1		K. WATANABE	◆			
			1	1		1		ISHIKAWA	◆			
			1		1		1	KAJIHARA				
			1	1		1		T. WATANABE	◆			
			1		1		1	HANAYAMA				
			1	1		1		YOSHIMURA				
			1	1		1		SAITO				
			1	1		1		HAYASHI				
			1		1		1	KUWABARA				
			1	1		1		NISHIYAMA				
			1	1		1		AISO				
			1		1		1					
			1		1		1					
			1		1		1			◆		
			1			1		1	Adjunct Professor	*4		
			1			1		1	Adjunct Professor	*4		
			1			1		1	Adjunct Professor	*4		
				Lectures on Global Food, Agriculture and Environment *2		5	1		1		◆	



Courses and credits				Weekly hours					Language*1	Notes	
				1st year		2nd year					
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter	Summer	Winter	Name			
Highly Specialized Courses	Practical Courses	Research Work for Master Thesis	●	8	○	○	○		◆		
		Special Seminar for Master Thesis	●	2	1		1		◆		
		Internship for Advanced Research	◎	1	1		1			*4	
		Seminar on Animal Science and Technology		8	2	2	2	2	URAKAWA, HORIGUCHI, MATSUYAMA		
		Seminar on Advanced Pomology		8	2	2	2	2	TAIRA,IKEDA, SHIBUYA	◆	
		Seminar on Vegetable Science		8	2	2	2	2	NABESHIMA	◆	
		Seminar on Ornamental Horticulture		8	2	2	2	2	OGASAWARA		
		Seminar on Plant Pathology		8	2	2	2	2	HASE, T. KOBAYASHI	◆	
		Seminar on Animal Ecology		8	2	2	2	2	SATO	◆	
		Seminar on Edaphology		8	2	2	2	2	KAKUDA, SASAKI	◆	
		Seminar on Agricultural Machinery		8	2	2	2	2	KATAHIRA		
		Seminar on Crop Science		8	2	2	2	2	NASUKAWA		
		Seminar on Crop Breeding		8	2	2	2	2	HOSHINO		
		Seminar on Consumer Behavior		8	2	2	2	2	CHEN		
		Seminar on Policy of Food, Agriculture and Environment		8	2	2	2	2	FUJISHINA		
		Seminar on Farm Accounting		8	2	2	2	2	IEKUSHI		
		Seminar on Sociology of Food, Agriculture, and Environment		8	2	2	2	2	HOKIMOTO	◆	
		Seminar on Environmental Geography		8	2	2	2	2	R. WATANABE		
		Seminar on Sustainable Agricultural		8	2	2	2	2	NAKATSUBO		
		Seminar on Integrated Food and Agriculture Science		8	2	2	2	2	GORYODA		
		Seminar on Molecular Animal Reproduction and Development		8	2	2	2	2	KIMURA	◆	
		Seminar on Advanced Applied Microbiology		8	2	2	2	2	KAKU		
		Seminar on Bioresources Chemistry		8	2	2	2	2	SHIONO	◆	
		Seminar on Food Microbiology		8	2	2	2	2	KOSEKI		

Courses and credits				Weekly hours						
				1st year		2nd year				
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter	Summer	Winter	Name	Language*1	Notes
Highly Specialized Courses	Practical Courses	◎	8	2	2	2	2	M.WATANABE	◆	
			8	2	2	2	2	TOYOMASU		
			8	2	2	2	2	NAGAI		
			8	2	2	2	2	SASANUMA	◆	
			8	2	2	2	2	H. MURAYAMA	◆	
			8	2	2	2	2	MIYAGI	◆	
			8	2	2	2	2	EGASHIRA		
			8	2	2	2	2	TAWARAYA	◆	
			8	2	2	2	2	CHENG	◆	
			8	2	2	2	2	ABOSHI		
			8	2	2	2	2	HATTORI		
			8	2	2	2	2	S. KOBAYASHI		
			8	2	2	2	2	KANOH		
			8	2	2	2	2	ASHITANI		
			8	2	2	2	2	OGAWA	◆	
			8	2	2	2	2	KIKUCHI		
			8	2	2	2	2	KOMINE		
			8	2	2	2	2	ENARI		
			8	2	2	2	2	LOPEZ	◆	
			8	2	2	2	2	K. WATANABE	◆	
			8	2	2	2	2	ISHIKAWA	◆	
			8	2	2	2	2	KAJIHARA		
			8	2	2	2	2	T. WATANABE	◆	
			8	2	2	2	2	HANAYAMA		
			8	2	2	2	2	YOSHIMURA		
			8	2	2	2	2	SAITO		

Courses and credits				Weekly hours				Name	Language*1	Notes
				1st year		2nd year				
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter	Summer	Winter			
Highly Specialized Courses	Practical Courses	Seminar on Forest and Sociology	◎	8	2	2	2	HAYASHI	◆	
		Seminar on Community Links		8	2	2	2	KUWABARA		
		Seminar on Environmental Systems		8	2	2	2	NISHIYAMA		
		Seminar on Anatomy and Structure of Wood		8	2	2	2	AISO		

\*1 ◆: Denoting subjects in which classes can also be delivered in English.

\*2 To take “Global Food, Agriculture, and Environment,” please see page 67.

\*3 ●: Compulsory Course, ◎: Compulsory Elective Course

\*4 English support will depend on the supervising lecturer.

## (2) Double degree program curriculum

<Agricultural Sciences Major, Graduate School of Agricultural Sciences (for Yamagata University students)>

### Courses and credits

Courses and credits				Weekly hours		Name	Language*1	Notes
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter			
Basic Education Courses	Advanced Regional Revitalization, Fostering of Responsible Researchers & Innovation of Future Generations, Promotion of Multicultural Coexistence	●	2	2		SHIONO etc.	◆	
Basic Specialized Courses	Interdisciplinary Communications and Collaboration	◎	1		1	Faculty members from other graduate schools		
	Practice for Interdisciplinary Research		1	1		Faculty members from other graduate schools		
	Career Management		1	1		Faculty members from other graduate schools		
	Fundamental Skills for Researchers		1	1		Faculty members from other graduate schools		
	Data Science		1		1	Faculty members from other graduate schools		
	Artificial Intelligence Design Practice		1	1		Faculty members from other graduate schools		To be taken after Data Science.
	Academic Skills: Scientific Presentations + Writing		1		1	Faculty members from other graduate schools	◆	
	Social and Cultural Innovation		1	1		Faculty members from other graduate schools		
	Intellectual Property and Research Ethics		1		1	Faculty members from other graduate schools		
	Introduction to Management of Technology		1	1		Faculty members from other graduate schools		
	Overview: the Future of Food		1		1	FUJISHINA etc.		
	Global Materials System Innovations		1	1		Faculty members from other graduate schools	◆	
	The Special Lecture of the Up-dated Medical Science		2		2	Faculty members from other graduate schools		
Highly Specialized Courses	Seminar on Environmental Conservation in Agriculture	●	1	1		H. MURAYAMA etc.	◆	
	Frontiers in Agricultural Science	◎	1	1		K. WATANABE etc.		
	Intensive Scientific Communication Course in English		1		1	Adjunct Professor	◆	

Courses and credits				Weekly hours		Name	Language*1	Notes
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter			
Highly Specialized Courses	Basic Courses	◎	1	1		URAKAWA		
			1	1		MATSUYAMA		
			1		1	TAIRA,IKEDA, SHIBUYA	◆	
			1		1	NABESHIMA	◆	
			1	1		OGASAWARA		
			1	1		HASE, T.KOBAYASHI	◆	
			1		1	SATO	◆	
			1	1		KAKUDA	◆	
			1	1		KATAHIRA		
			1	1		SASAKI	◆	
			1	1		NASUKAWA		
			1	1		HOSHINO		
			1	1		CHEN		
			1		1	FUJISHINA		
			1	1		IEKUSHI		
			1	1		HOKIMOTO	◆	
			1	1		R. WATANABE	◆	
			1	1		NAKATSUBO		
			1	1		HORIGUCHI		
			1	1		GORYODA		
			1		1	KIMURA		
			1		1	KAKU		
			1	1		SHIONO	◆	
			1		1	KOSEKI		
			1	1		M.WATANABE	◆	
			1		1	TOYOMASU		
			1	1		NAGAI		
			1		1	SASANUMA	◆	
			1	1		H. MURAYAMA	◆	
			1	1		MIYAGI	◆	
			1	1		EGASHIRA		
			1	1		TAWARAYA	◆	
			1		1	CHENG	◆	
			1	1		T. MURAYAMA		
			1		1	ABOSHI	◆	
			1	1		HATTORI		

Courses and credits				Weekly hours		Name	Language*1	Notes
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter			
Highly Specialized Courses	Basic Courses	◎	Nutrition Biochemistry	1	1	S. KOBAYASHI		
			Functional Food Science	1	1	KANO		
			Advanced Forest Chemistry	1	1	ASHITANI		
			Resource Economics	1	1	OGAWA	◆	
			Forest Disturbances and Conservation	1	1	KIKUCHI	◆	
			Forest Conservation and Management	1	1	KOMINE		
			Forest wildlife Management	1	1	ENARI		
			Forest Snow and Ice Science	1	1	LOPEZ	◆	
			Environmental Hydraulic Engineering	1	1	K. WATANABE	◆	
			Land Resource Sciences	1	1	ISHIKAWA	◆	
			Environmental Hydrology	1	1	KAJIHARA		
			Environmental Risk Analysis	1	1	T. WATANABE	◆	
			Mass Transfer Phenomenon	1	1	HANAYAMA		
			Physiology of Trees	1	1	YOSHIMURA		
			Landscape Ecology	1	1	SAITO		
			Forest and Sociology	1	1	HAYASHI		
			Community Links	1	1	KUWABARA		
			Advanced Environmental Systems Engineering	1	1	NISHIYAMA		
			Anatomy and Structure of Wood	1	1	AISO		
			Internship I	1	1			
			Internship II	1	1			
			International Understanding (Foreign Seminar)	1	1		◆	
			Special Lecture I	1	1	Adjunct Professor	*4	
			Special Lecture II	1	1	Adjunct Professor	*4	
			Special Lecture III	1	1	Adjunct Professor	*4	
		●	Lectures on Global Food, Agriculture and Environment *2	5	1		◆	
Highly Specialized Courses	Practical Courses	●	Research Work for Master Thesis	8	○	○	◆	
		●	Special Seminar for Master Thesis	2	1	1	◆	
		◎	Internship for Advanced Research	1	1		*4	
			Seminar on Animal Science and Technology	8	4	4	URAKAWA, HORIGUCHI, MATSUYAMA	
			Seminar on Advanced Pomology	8	4	4	TAIRA, IKEDA, SHIBUYA	◆
			Seminar on Vegetable Science	8	4	4	NABESHIMA	◆
			Seminar on Ornamental Horticulture	8	4	4	OGASAWARA	

Courses and credits				Weekly hours		Name	Language*1	Notes
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter			
Highly Specialized Courses	Practical Courses	◎	8	4	4	HASE, T. KOBAYASHI	◆	
			8	4	4	SATO	◆	
			8	4	4	KAKUDA, SASAKI	◆	
			8	4	4	KATAHIRA		
			8	4	4	NASUKAWA		
			8	4	4	HOSHINO		
			8	4	4	CHEN		
			8	4	4	FUJISHINA		
			8	4	4	IEKUSHI		
			8	4	4	HOKIMOTO	◆	
			8	4	4	R. WATANABE		
			8	4	4	NAKATSUBO		
			8	4	4	GORYODA		
			8	4	4	KIMURA	◆	
			8	4	4	KAKU		
			8	4	4	SHIONO	◆	
			8	4	4	KOSEKI		
			8	4	4	M.WATANABE	◆	
			8	4	4	TOYOMASU		
			8	4	4	NAGAI		
			8	4	4	SASANUMA	◆	
			8	4	4	H. MURAYAMA	◆	
			8	4	4	MIYAGI	◆	
			8	4	4	EGASHIRA		
			8	4	4	TAWARAYA	◆	
			8	4	4	CHENG	◆	
			8	4	4	ABOSHI		
			8	4	4	HATTORI		
			8	4	4	S. KOBAYASHI		
			8	4	4	KANOH		

Courses and credits				Weekly hours		Name	Language*1	Notes
Courses Classification	Courses	Compulsory/ Elective*3	Credits	Summer	Winter			
Highly Specialized Courses	Practical Courses	◎	8	4	4	ASHITANI		
			8	4	4	OGAWA	◆	
			8	4	4	KIKUCHI		
			8	4	4	KOMINE		
			8	4	4	ENARI		
			8	4	4	LOPEZ	◆	
			8	4	4	K. WATANABE	◆	
			8	4	4	ISHIKAWA	◆	
			8	4	4	KAJIHARA		
			8	4	4	T. WATANABE	◆	
			8	4	4	HANAYAMA		
			8	4	4	YOSHIMURA		
			8	4	4	SAITO		
			8	4	4	HAYASHI	◆	
			8	4	4	KUWABARA		
			8	4	4	NISHIYAMA		
			8	4	4	AISO		

\*1 ◆: Denoting subjects in which classes can also be delivered in English.

\*2 To take “Global food, agriculture, and environment,” please see page 67.

\*3 ●: Compulsory Course, ◎: Compulsory Elective Course



<Agricultural Sciences Major, Graduate School of Agricultural Sciences (for Hannover University students)>

1. Courses and credits

Courses and credits			Weekly hours		Name	Notes
Courses	Compulsory / Elective*1	Credits	Summer	Winter		
Advanced Regional Revitalization, Fostering of Responsible Researchers & Innovator of Future Generations, Promotion of Multicultural Coexistence	●	2	2		SHIONO etc.	
Academic Skills: Scientific Presentations + Writing	◎	1		1	Faculty members from other graduate schools	
Global Materials System Innovations		1	1		Faculty members from other graduate schools	
Seminar on Environmental Conservation in Agriculture	●	1	1		H. MURAYAMA etc.	
Intensive Scientific Communication Course in English	◎	1		1	Adjunct Professor	
Advanced Pomology		1		1	TAIRA, IKEDA, SHIBUYA	
Vegetable Science		1		1	NABESHIMA	
Advanced Plant Pathology		1	1		HASE, T. KOBAYASHI	
Animal Ecology		1		1	SATO	
Edaphology		1	1		KAKUDA	
Agronomy		1	1		SASAKI	
Sociology of Food, Agriculture, and Environment		1	1		HOKIMOTO	
Environment Geography		1	1		R. WATANABE	
Bioresources Chemistry		1	1		SHIONO	
Biomass Resources Science		1	1		M.WATANABE	
Plant Genetics and Genomics		1		1	SASANUMA	
Postharvest Physiology		1	1		H. MURAYAMA	
Applied Metabolomics		1	1		MIYAGI	
Plant Nutrition		1	1		TAWARAYA	
Soil Bioresource Science		1		1	CHENG	
Bioorganic Chemistry		1		1	ABOSHI	
Resource Economics		1	1		OGAWA	
Forest Disturbances and Conservation		1		1	KIKUCHI	
Forest Snow and Ice Science		1	1		LOPEZ	
Environmental Hydraulic Engineering		1	1		K. WATANABE	
Land Resource Sciences		1	1		ISHIKAWA	
Environmental Risk Analysis		1	1		T. WATANABE	
International Understanding (Foreign Seminar)		1	1			
Special Seminar for Master Thesis	●	2	1	1		
Seminar on Advanced Pomology	◎	8	4	4	TAIRA, IKEDA, SHIBUYA	
Seminar on Vegetable Science		8	4	4	NABESHIMA	

Courses and credits			Weekly hours		Name	Notes
Courses	Compulsory / Elective*1	Credits	Summer	Winter		
Seminar on Plant Pathology	◎	8	4	4	HASE, T. KOBAYASHI	
Seminar on Animal Ecology		8	4	4	SATO	
Seminar on Edaphology		8	4	4	KAKUDA SASAKI	
Seminar on Sociology of Food, Agriculture, and Environment		8	4	4	HOKIMOTO	
Seminar on Molecular Animal Reproduction and Development		8	4	4	KIMURA	
Seminar on Bioresources Chemistry		8	4	4	SHIONO	
Seminar on Biomass Resources Science		8	4	4	M.WATANABE	
Seminar on Plant Genetics and Genomics		8	4	4	SASANUMA	
Seminar on Postharvest Physiology		8	4	4	H. MURAYAMA	
Seminar on Applied Metabolomics		8	4	4	MIYAGI	
Seminar on Plant Nutrition		8	4	4	TAWARAYA	
Seminar on Soil Bioresource Science		8	4	4	CHENG	
Seminar on Resource Economics		8	4	4	OGAWA	
Seminar on Forest Snow and Ice Science		8	4	4	LOPEZ	
Seminar on Environmental Hydraulic Engineering		8	4	4	K. WATANABE	
Seminar on Land Resource Sciences		8	4	4	ISHIKAWA	
Seminar on Environmental Risk Analysis		8	4	4	T. WATANABE	
Seminar on Forest and Sociology		8	4	4	HAYASHI	

- In the double degree program, the following is applied: “1 credit at YU = 2 ECTS (European Credit Transfer System)”

\*1 ●: Compulsory Course, ◎: Compulsory Elective Course

## 2. Requirements

- (1) Students must take 5 credits from Compulsory Courses (equivalent to 10 ECTS)
- (2) Students must take 25 (50ECTS) or more credits from Compulsory Elective Courses).

### (3) Global Food, Agriculture and Environment Module

This Program consists of courses that are delivered in English. 5 credits are awarded for “Global Food, Agriculture and Environment” when students apply for accreditation upon completing 5 courses from the following list offered by the Graduate School of Agricultural Sciences.

- XXX → Global XXX

Example: Animal Ecology → Global Animal Ecology

#### 1. Courses

Courses	Currents Courses titles	Teaching staff
Global Animal Ecology	Animal Ecology	SATO Satoru
Global Edaphology	Edaphology	KAKUDA Ken-ichi
Global Agronomy	Agronomy	SASAKI Yuka
Global Sociology of Food, Agriculture and Environment	Sociology of Food, Agriculture, and Environment	HOKIMOTO Toshiyuki
Global Bioresources Chemistry	Bioresource Chemistry	SHIONO Yoshihito
Global Biomass Resources Science	Biomass Resources Science	WATANABE Masanori
Global Postharvest Physiology	Postharvest Physiology	MUARAYAMA Hideki
Global Applied Metabolomics	Applied Metabolomics	MIYAGI Atsuko
Global Plant Nutrition	Plant Nutrition	TAWARAYA Keitaro
Global Soil Bioresource Science	Soil Bioresource Science	CHENG Weiguo
Global Bioorganic Chemistry	Bioorganic Chemistry	ABOSHI Takako
Global Forest Disturbances and Conservation	Forest Disturbances and Conservation	KIKUCHI Shun-ichi
Global Forest Snow and Ice Science	Forest Snow and Ice Science	LOPEZ Larry
Global Environmental Hydraulic Engineering	Environmental Hydraulic Engineering	WATANABE Kazuya
Global Land Resource Science	Land Resource Science	ISHIKAWA Masaya
Global Environmental Risk Analysis	Environmental Risk Analysis	WATANABE Toru

#### 2. Requirements

Students must take 5 courses (5 credits) to complete the Module within two years.

#### 3. Accreditation

The average grade of five completed courses is regarded as a grade for the Module “Global Food, Agriculture and Environment”, and consequently 5 credits are awarded.

#### **(4) Participating in Double Degree Program in the middle of Master Course**

##### **1.Outline**

The Double Degree (DD) Program gives students in Yamagata University (YU) a chance to receive two master degrees from YU and Leibniz Universität Hannover (LUH) simultaneously, if you have successfully completed the curriculum provided by each university for at least two years.

In the DD Program, you have to be enrolled in each university for at least one year. You can join the DD Master Program in the middle of General Master Program (G.M.P) if you are allowed through the following application process.

The term you have spent in YU in the G.M.P is not counted in the DD Program.

##### **2.Eligible applicants**

Students are enrolled in the Graduate School of Agricultural Sciences in YU.

Students with sufficient knowledge of English proved by CEFR (B2 or higher), TOEIC (700 or higher) or an equivalent test.

##### **3.Application process**

Students can apply after consultation with his/her supervisor of this program.

Students can to inquire at the Student Center for the required documents.

##### **4.Deadline of application**

- The last business day of the previous year December for those who would like to start in April.

- The last business day of June for those who would like to start in October.

##### **5.Qualification**

Applicants are qualified based on the submitted documents and an interview.

##### **6.Admission decision**

Decision of admission is made on the basis of the results of the above examination and the capacity of students for the DD Program.

All the applicants are notified of the decision in writing.

## (5)Schedule from Enrollment to Completion

### 【For April Enrollment】

Month	1st Year	2nd Year
April	Entrance Ceremony New Students Orientation First Day of Classes Primary and Secondary Advisers Assigned Course Registration (Within the first 2 weeks) Research Ethic Education	First Day of Classes Course Registration (Within the first 2 weeks)
May	Research Plan Submission	Research Plan Submission
June	Presentation of Master's Thesis Research Plan (Special Seminar)	Interim Report of Master's Thesis Research (Special Seminar)
July		
Aug	Last Day of Classes	Last Day of Classes
Sept		
Oct	First Day of Classes	First Day of Classes
Nov		
Dec		
Jan		Submission of Master's Thesis (Deadline: January 21)
Feb	Last Day of Classes	Last Day of Classes Master's Thesis Presentation Master's Thesis and Final Examination
Mar		Degree Awarding

### 【For October Enrollment】

Month	1st Year	2nd Year
Oct	New Students Orientation First Day of Classes Primary and Secondary Advisers Assigned Course Registration (Within the first 2 weeks) Research Ethic Education	First Day of Classes
Nov	Research Plan Submission	Research Plan Submission
Dec		
Jan		
Feb	Last Day of Classes Master's Thesis Presentation (for the 2nd year students)	Last Day of Classes
Mar		
Apr	First Day of Classes Course Registration (Within the first 2 weeks)	First Day of Classes Course Registration (Within the first 2 weeks)
May	Presentation of Master's Thesis Research Plan (Special Seminar)	Interim Report of Master's Thesis Research (Special Seminar)
June		Submission of Master's Thesis (Deadline: July 21)
July		
Aug	Last Day of Classes	Last Day of Classes Master's Thesis Presentation Master's Thesis and Final Examination
Sept		Degree Awarding

## 5. Introduction of Course Contents

○Yamagata University Syllabus

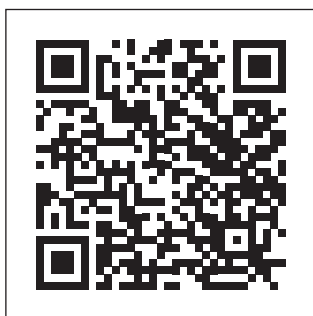
[Japanese]

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/lesson/syllabus/>

[English]

<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/en/programs.html>

[Japanese]



[English]



○See the webpage “For Current Students” on the following Yamagata Faculty of Agricultural Sciences/Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences website for a guide to each major, research details from each professor, and information for current students.

[Japanese]

<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/students.html>

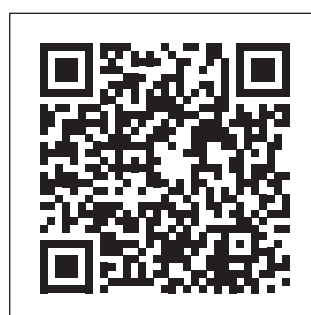
[English]

<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/en/index.html>

[Japanese]



[English]



### **III. Degree (Master's) Thesis**

#### **1. Master's Thesis Management at the Graduate School of Agricultural Sciences, Yamagata University**

Regarding the handling of the master's thesis, in addition to the items stipulated by the regulations related to the Graduate School, the following points will be followed.

(Thesis submission and acceptance)

1. Submit the following documents to the Dean through your advisor by January 21 (if the date falls on a Saturday, Sunday or holiday, submit them on the following day), in order to have your thesis examined. Students completing their degrees in September will submit these documents by July 21 (if the date falls on a Saturday, Sunday or holiday, submit them on the following day).

(1) Thesis examination request (separate form No. 1): 1 copy

(2) Thesis (Students who register in the general program can submit the required documents in Japanese or English and students who register for the Double Degree Program can submit the required documents only in English. In both cases, A4-size paper should be used.): 3 copies

(3) Thesis outline (separate form No. 2) (approximately 1,200 characters in Japanese or 1,000 words in English): 1 copy

2. In case of students who register in the Double Degree Program, the graduation thesis that is submitted to this university will be the same graduation thesis to be submitted to the partner university. With respect to the submission rules, they will agree with the rules of the partner university.

(Thesis examination)

3. After receiving the theses, the Dean will quickly entrust these to the thesis review board members selected by each research areas.

4. The thesis review board members will then report the examination results to the Dean (separate form No. 3).

(Thesis presentation)

5. Students from each research areas, who have submitted theses, will give an oral presentation on their research content.

(Final examination)

6. Final examinations will be held by each research areas for students who have acquired the specified number of credits, and the review board members will report the results of these examinations to the Dean (separate form No. 3).

(Approval of program completion)

7. The Dean holds a hearing with the graduate course committee on whether to award a master's degree based on credits acquired, thesis examination, and final examination results.

8. The Dean of the Graduate School shall report to the President on the results of the hearing set forth in the preceding Article.

(Storage of theses and outlines)

9. Thesis outlines and full theses are published and stored in the library of Faculty of Agriculture.

Additional clause

These points are put into effect starting April 1, 2011.

Additional clause

These points are put into effect starting on April 1, 2015.

Additional clause

These points are put into effect starting on April 1, 2019.

Additional clause

1. These points are put into effect starting on April 1, 2021

2. The revised Master's Thesis Management at Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences is applied to students whose enrolment begins in 2021; students enrolled starting in 2020 and earlier will abide by the previous regulations.

Additional clause (December 17, 2021)

These points are put into effect starting on April 1, 2021.

## **2. Criteria for Master's Thesis Evaluation and Final Examinations**

Master's Thesis Examination Criteria

Theses that satisfies the following criteria will qualify:

1. Possess a goal or purpose that contributes to the development of agricultural sciences
2. Have an appropriate thesis title
3. Be constructed following appropriate academic forms
4. Be logically composed
5. Have sufficient quality of research contents in terms of new findings and originality

Final Examination Criteria

The student will qualify if the following criteria are met:

1. The student can create a logical and comprehensive presentation
2. The student can respond accurately to questions

## **3. Help Desk for Master's Thesis Examination**

Yamagata University has set up the "help desk for Master's thesis examination" to secure transparency and objectivity of the degree examination conferred by the University. If there is any doubt about the degree examination or granting of a degree, please contact the Educational Affairs Section, Enrolment Management Department (Tel: 023-628-4841, e-mail: [yu-kyoiku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-kyoiku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)).

Please rest assured that those who consult the help desk will not be affected for this reason.



#### 4. Introduction to Research Areas, Teaching Staffs, Research Fields, and Research Topics

Research Areas	Name	Research field	Research topics
Bioproduction Science	NASUKAWA, Hisashi	Crop Science	Specializes in the conduct of education and research on sustainable production technologies and environmental adaptation technologies, mainly in the aspect of rice cultivation.
	HOSHINO, Tomoki	Crop Breeding	Our research focuses on the genetic mechanism and diversity of important traits in crops and on the development of molecular markers for use in crop breeding.
	NABESHIMA, Tomoyuki	Vegetable Science	I am engaged in research on crop protection.
	TAIRA, Satoshi IKEDA, Kazuo SHIBUYA, Tomoki	Pomology	We are engaged in high-level research/education in basic theories and cultivation technology to achieve high quality and high yield focusing on fruits, including apples, kaki fruits, as well as cherries and pears, which Yamagata is well-known for.
	OGASAWARA, Nobuyoshi	Ornamental Horticulture	I focus on education and research into the growth and environmental factors of perennial ornamental plants, the conservation and use of endemic ornamental plants, and propagation by tissue culture.
	HASE, Shu KOBAYASHI, Takashi	Plant Pathology	Aiming for sustainable pest control for crops, we are engaged in applied research into the mechanism to induce disease resistance in crops, biocontrol, and pest control using electrolyzed water. Additionally, we study disease evaluation by drone and AI and disease forecast by agricultural ICT.
	SATO, Satoru	Agricultural Ecology	Function of animals and ecosystem are and its use in human our society, such as "Ladybird beetles" and "Mud snails" in the environmental friendly agriculture, "Black soldier flies" in the food waste managements and its utilization as the animal protein, are recent topics of our study. Studies fields greatly varies from mountain villages in the tropic countries such as Indonesia to the local village in Tsuruoka.
	KAKUDA Ken-ichi SASAKI Yuka	Edaphology	Main objectives of Edaphology are to understand the relationship between crop and soil. Research goal is to increase crop productivity by proper management of soil without environmental loading.
	URAKAWA, Shuji HORIGUCHI, Ken-ichi MATSUYAMA, Hiroki	Animal Husbandry	We focus on practical research in collaboration with local production sites, such as cultivation and preparation of forage crops, livestock feeding and management, and evaluation of livestock products.
	KATAHIRA, Mitsuhiro	Agricultural Machinery	We engage in research on postharvest engineering of agricultural produce and labor-saving agricultural technology in paddy fields and outdoors fields.
	NAKATSUBO, Ayumi	Sustainable Agricultural	We are researching on sustainable agricultural production through the circulation of agriculture and food within the region, utilizing local resources.
	WATANABE, Masanori	Biomass Resource Science	I am developing a new refinery technology promoting the production of useful materials and energy from unused biomass consisting of agricultural and food waste. I am further researching on analyzing of microorganisms group structure to evaluate biomass conversion stability using microorganisms.

Research Areas	Name	Research field	Research topics
Bioproduction Science	Chen, Aofei	Consumer Behavior	Building on knowledge about the process and mechanism of decision making by the consumer, I am engaged in education and research on consumer problems about food, consumer behavior, the current situation of firms' marketing activity in response to it, and how it would develop.
	FUJISHINA, Tomoumi	Policies on Food, Agriculture, and Environment	Building on knowledge regarding food and agricultural policies, I am engaged in education and research into the background, the current situation, and future direction of food and agricultural policies.
	IEKUSHI, Tetsuo	Environmental Accounting for Food and Agriculture	I am engaged in education and research to develop capacities to analyze and discuss strategies for farm management in response to a low carbon society from the viewpoint of farm accounting.
	HOKIMOTO, Toshiyuki	Sociology of Food, Agriculture, and Environment	I am engaged in education and research to develop the capacity to discuss the causes of various ongoing social problems from historical, economic, and sociological perspectives by learning about various social "problems" that the local community has experienced, with reference to their historical development.
	WATANABE, Rie	Geography of Food, Agriculture, and Environment	In my subject, you will learn what kind of relationships between people's life(industry) and the natural environment, history, culture, society, and economy in the community area. Particularly, we use the geographical perspective focusing on the spatial aspect.
	GORYODA, Sayuri	Integrated Food and Agriculture Science	We are interested in research involving the areas of food production, food processing, social marketing, and eating behavior.
Bioresource Science	KAKU, Nobuo	Applied Microbiology	I am engaged in teaching the analysis of physiological ecology and diversity of anaerobic microorganisms in various environments, the isolation and morphological, physiological biochemical and molecular phylogenetic analyses of novel anaerobic microorganisms, and the development of technologies for environmental conservation and remediation and resource/energy circularization using microbial functions.
	NAGAI, Takeshi	Science for Food Design	We examine the development of technology to develop new food products from ingredients and unused/low-use resources.
	KIMURA, Naoko	Animal Reproductive Biology	I am engaged in research on 1) the mechanism of development/differentiation of germ cells and embryos; 2) the development/application of reproductive engineering technology; 3) influences on reproductive functions of various environmental factors in mammals and poultry.
	KOSEKI, Takuya	Food Microbiology	Focusing on an industrial enzyme produced by <i>Aspergillus oryzae</i> , I am study on its enzymic characteristics, structural analysis, and its effective use through biochemical and molecular biological methods.
	SHIONO, Yoshihito	Bioresource Chemistry	I conduct bioorganic chemical research on a secondary metabolite and physiologically active substance produced by filamentous fungus. Further, I research on how to cultivate it and its isolated purification, methods to analyze a series of chemical structures, and the effective use of natural products.
	TOYOMASU, Tomonobu	Molecular and Cellular Biochemistry	We use molecular and cellular biochemical methods to study the control mechanism of the maturation/generation of embryos of higher plants with reference to the biosynthesis of plant hormones and their mechanism of action.

Research Areas	Name	Research field	Research topics
Bioresource Science	KOBAYASHI, Sho	Food and Nutritional Science	I am engaged in research on the analysis of the regulation of gene expression of antioxidant enzymes and the metabolism of antioxidants regarding antioxidant defense systems against reactive oxygen species using biochemical and molecular biological techniques.
	KANO, Naomi	Functional Food Science	I am engaged in research on the biological properties related to the maintenance and improvement of human health (e.g., anti-inflammatory and anti-cancer effect) of the non-nutritive compounds in food and their metabolites
	SASANUMA, Tsuneo	Plant Genetics and Breeding	I am researching on the genetic mechanism and diversity of the key traits of cultivated crops, the application of findings to breeding the development of improved species/breeding parent and molecular markers, and evolution in plants focusing on cultivated crops and related wild species.
	EGASHIRA, Hiroaki	Plant Genetic Resource Science	Aiming at the conservation of endemic wild plants and crop resources, I am conducting research on their history, characteristics, traditional farming methods, and uses by combining literature survey/fieldwork and analytical methods.
	TAWARAYA, Keitaro CHENG, Weiguo	Plant Nutrition/Soil Science	We are studying plant tolerance to soil acidity and nutrient stress, functional analysis of arbuscular mycorrhizal symbiosis and its utilization, and C & N cycling in various plant-soil ecosystems with global warming and environmental problems.
	MURAYAMA, Tetsuya ABOSHI, Takako	Bioorganic Chemistry	We investigate the structure and use of valuable biologically active substances in wild plants, the chemical interactions between plants and insects.
	MURAYAMA, Hideki MIYAGI, Atsuko	Postharvest Physiology	We analyze the mechanism of change in the quality of postharvest agricultural produce, with reference to physiology and metabolic sciences, and we attempt to establish postharvest management methods for each agricultural produce based on findings.
	HATTORI, Satoshi	Microbial Resources	I am engaged in research on the evaluation of microbial diversity by means of molecular ecological techniques, the exploration and acquisition of uncultured microbial resources (Bacteria and Archaea) in various environments, and the analysis of the microbial metabolism.
Bioenvironmental Science	LOPEZ, Larry	Smart Forest	Forest are large and complex ecosystems that are difficult to understand with only traditional field surveys because of the limited area that can be covered or by satellite images because of the limited resolution to observe detailed characteristics of individual trees. Thus, in this laboratory we integrate multiple approaches by using Unmanned Aerial Vehicles (UAVs), image analysis of very high-resolution images (few cm pixels), Deep Learning and field surveys in order to design models that can automatically evaluate forest biogeochemical cycles and health conditions.
	OGAWA, Sanshiro	Forest Policies	I am engaged in the empirical/theoretical education/research on history/the current situation/future of forest/forestry, mountain communities, housing and environmental problems from social and scientific perspectives including economics, public policy, and social movement based on literature survey and fieldwork.
	HAYASHI, Masahide	Forest System Analysis	We are also engaged in research on a better governance structure for forests from the perspective of new institutional social sciences. Finally, we conduct investigation/research to restructure the study of forestry governance, building on the recent remarkable development in social sciences, including economics and sociology.

Research Areas	Name	Research field	Research topics
Bioenvironmental Science	ENARI, Hiroto	Forest Wildlife Management	Diverse wild mammals live in forests. This subject investigates interactions between wildlife and forest ecosystem including human activities to create sustainable wildlife management.
	KIKUCHI, Shun-ichi	Forest Influences	Forest is defined as the green infrastructure (GI) provides various public benefits. To conserve and restore GI, forest science research is conducted, especially focusing on the dynamic interactions between forest plant community and their habitat.
	ASHITANI, Tatsuya AISO, Haruna	Forest Products	Our laboratory conducts research on the analysis and utilization of forest resources using chemical and biological methods such as wood anatomy and chemical analysis.
	YOSHIMURA, Kenichi	Forest Ecology	Trees survive under the environmental stresses such as high/low temperature, shade, drought and disease. We reveal the mechanism of survival for trees, and explain the vegetation changes induced by environmental changes and disturbance.
	SAITO, Masayuki	Landscape Ecology	To understand ecology from the spatial perspective.
	KOMINE, Hiroataka	Conservation Ecology	I'm mainly interested in interactions between human society and wildlife, especially conservation, evolution and eco-epidemiology.
	WATANABE, Toru	Water Environmental Engineering	Pollution of water environment and its physico- chemical and biological processes, evaluation of health risks caused by water/food pollution, and use of resources from wastewater and its treatment for sustainable agriculture.
	KUWABARA, Yoshiki	Community Links	Community links deal with the link between community resources and local communities with a view to the revitalization of rural and mountainous communities and sustainable community resource management/use.
	HANAYAMA, Susumu	Farmland Physics	I am engaged in education/research on the flow of water/materials/energy in farmland and its control to develop/use environmentally harmonious farmland enabling sustainable food production.
	ISHIKAWA, Masaya	Rural Planning	I approach “the creation of sustainable farming and rural environment” from the perspective of land science in addition to “the creation of production environment enabling efficient plant production.” Specifically, based on the methods for optimal land use planning, I will study projects for agricultural infrastructure generation technology developed to reduce environmental stress (water pollution/global warming/soil degradation) introduced by agricultural land use.
	ISHIKAWA, Masaya	Agricultural Environment Geoengineering	I have investigated the realization of environmentally harmonious farmland enabling sustainable growth in food production. I will study the mechanism of a new consolidated and managed farmland based on science of water/materials circulation in the farmland, in other words, the “soil/plants/air” system.
	WATANABE, Kazuya KAJIHARA, Akihiko	River Environment Engineering Hydro-environment	We aim to explore sustainable water use mainly in farming and the relationship with the surrounding environment and living organisms to realize better symbiosis. More concretely, students are expected to acquire specialized knowledge of irrigation and drainage, river environment, aquatic ecology, water quality, and environmental hydraulics, and engage in fieldwork in the University's research forest, farms, and places beyond Shonai Region.
	NISHIYAMA, Masateru	Environmental and Sanitary Engineering	I am engaged in education/research on water environment, particularly, water quality which is indispensable for living things. To evaluate them, I am investigating contamination of microorganisms and chemical substance using molecular biological method and genetic analysis for bacteria, and taking measures to safe of human life.


(By the research area, not in particular order)

## IV. Student Life

### 1. Student Guidelines

#### (1) Bulletin Boards

All communications to students will be posted as bulletins, please make sure to check the following bulletin boards and "WebClass" regularly.

Type	Bulletin Board Location (p.104)	
Graduate student information	Building 1 Floor 1	
Calls for students	Electronic bulletin board system	
Employment information	Building 1 Floor 1	
Notices from the infirmary	Tsuruoka Campus Student Center	
Scholarship application information	Tsuruoka Campus Student Center	
General bulletin information	Building 1 Floor 1, Meeting Hall Floor 1	
WebClass	<a href="https://ecsylms1.kj.yamagata-u.ac.jp/webclass/login.php">https://ecsylms1.kj.yamagata-u.ac.jp/webclass/login.php</a>	

Note: Failure to see the bulletins may cause you to miss critical information.

#### (2) Administrative Contacts

Academic and Student Services handles administrative affairs directly related to students.

Location: Tsuruoka Campus Student Services Center

Telephone: 0235-28-2809

Hours: 8:30-17:00 (except Saturdays, Sundays, and national holidays)

#### (3) Issuing of Certificates

##### 1) Automatic certificate issuing machine

Location: Multipurpose Room

Hours: 8:30-17:00 (except Saturdays, Sundays, and national holidays)

The following certificates can be printed using the automatic certificate issuing machine.

- Certificate of enrollment

- Academic transcript

- \* If you need to seal the envelope strictly, please use the envelope available in the Student Center after issuing the certificate from the automatic certificate machine and seal it strictly by yourself.

- Certificate of expected completion (second-year graduate students)

- Student discount certificate (in principle, up to 10 per year, 4 at one time)

- \*Take caution not to use them fraudulently.

- Physical examination certificate (for students who have completed all items in the physical examination and do not need any re-examinations)

##### 2) Other certificates

For certificates other than those listed above, please ask the Office of Academic and Student Services.

Issuance usually takes about three days. Depending on the type of certificate, issuance may take longer than three days. Please plan accordingly and leave enough time for your request to be processed.

#### (4) Requests and Reports

The Office of Academic and Student Services accepts the following requests and other forms. Ask the Office for further details.

Type	Comment	Type	Comment
Temporary absence		Overseas travel report/itinerary	
Return to university		Clubs formation	
Withdrawal		Clubs continuation	
School commuter pass		Clubs dissolution	
Tuition and fees exemption request		Clubs officer change	
Tuition and fees payment extension		Use of PE facilities	
Enter (leave) a dormitory		Use of shared extracurricular activity facilities	
Scholarship request		Use of Faculty of Agriculture Meeting Hall	
Contact information change report		Meeting report	
Guarantor change report		Bulletin request	
Student card reissuance		Use of equipment	
Future path questionnaire		Accident situation report	

##### 1) Temporary absence, returning to university, and withdrawal

If a cause arises for you to take a temporary absence, return to the university, or withdraw, contact the Office of Academic and Student Services immediately. Fill out the necessary documents in the designated form and submit it after obtaining the signature of your guarantor and permission from your advisor. Scholarship students need to be particularly aware, if such a situation arises, that they will need to complete other procedures as well. The total period of temporary absence may not exceed two years (first-term doctoral curriculum). The period of temporary absence will not include the period of enrollment. When the student's period of temporary absence is over, they must return to the university.

Note 1: If a leave of absence is approved by the last day of the month in which the semester begins (April 30 for the first semester, October 31 for the second semester), the tuition for the month following the leave of absence up to the previous month of return will be waived based on a monthly prorated calculation. On the other hand, those whose leave of absence is approved after the last day of the month in which the semester begins must pay the full amount of tuition for the relevant semester.

Note 2: In the case of withdrawal, the tuition for the semester must be paid. In addition, those who withdraw from the university must return their student ID card.

##### 2) Expulsion

A student may be expelled if any of the following items apply.

- (1) The period of enrollment exceeds double the length of the course of study (two years for Master's degree)
- (2) Completion of the degree is not expected owing to illness or other reasons
- (3) Payment of the enrollment fee is not made by the designated date, for any student who has applied for and not been authorized for an exemption or extension, who has been authorized to pay half the fee, or who has been authorized for an extension
- (4) Negligence to pay tuition and fees, and not paying even after reminders

3) Change of address, guarantor, registered address, etc.

Please notify the Office of Academic and Student Services immediately if there has been any change in your address, guarantor, guarantor's address, your registered domicile (prefecture name only), or your name.

4) Overseas Travel

Students planning to travel overseas, including for personal reasons, should contact the Office of Academic and Student Services, fill out the necessary documents on the designated form, and submit them to the Office before they travel.

**(5) Scholarships and Tuition Fee Exemptions**

Scholarship programs offered by the Japan Student Services Organization (JASSO), local governments, private companies, etc. are posted on the Yamagata University website and on the bulletin board in front of the Student Center on the Tsuruoka Campus.

If you have difficulty paying tuition fees owing to economic reasons, the death of the person responsible for your school expenses, or a disaster, there is a system that may exempt you from all or half of your tuition and fees for that term, after being screened as a person recognized as having a superior school record. This information is posted on the bulletin board. Those who would like to apply for a tuition fee exemption should receive a written request form in advance and submit it to the Office of Academic and Student Services within the designated period.

**(6) Part-Time Job Listings**

Part-time jobs are listed by the Yamagata University Cooperative. Please see the Yamagata University Cooperative website for details: <http://www.yamagata.u-coop.or.jp>.

**(7) Full-Time Employment**

For students who wish to find a job, the Career Support Center (located in the Student Center) on the Kojirakawa Campus and the Job Placement Information Room (1st floor of Building 1) on the Tsuruoka Campus provide support for job hunting, including career counseling.

**(8) Student Dormitories**

The Campus has the student dormitory Keimei Dormitory. Application information is posted on the bulletin board. Students interested in applying to enter the dormitory should apply after checking this information.

Students will be selected to live in the dormitory after applications are submitted. The official period to enter the dormitory starts in April, July, October and January.



## 2. Health Examination

### (1) Health Administration Office, the Faculty of Agriculture

#### 1) Health consultations and student consultations

Health Administration Office, the Faculty of Agriculture handles health consultations and student consultations with a school physician (medical specialist).

The consultation schedule is posted on the bulletin board (Building 1 Floor 1).

Type	Details	Contact
Health Consultation	Internal medicine dental consultations (once per month respectively), and psychiatric consultation	School physician
Student Consultation	Psychological consultations on studies, personal relations, career path, etc. (four times per week)	Counselor
Other	Emergency treatment, health consultations, health guidance, referrals to medical institutions, medical examinations (urinalysis, electrocardiography, blood pressure, hearing ability, document inspection, etc.)	Registered nurse

#### 2) Health Administration Office, Contact

Location: Faculty of Agriculture Meeting Hall Floor 1

Telephone: 0235-28-2817

Hours: 8:30-17:00 (except Saturdays, Sundays and national holidays)

#### 3) Regular Physical Examinations

Regular physical examinations regulated by the School Health and Safety Act are conducted every year in April. These are conducted with the goal of detecting ailments that may interfere with student life. Be sure to participate in these examinations.

Month	Participants	Contents
April	First-year students	Chest X-ray fluoroscopy, internal medicine exam, dental exam, eye exam, ear, nose, and throat exam, measurements, blood pressure exam, eyesight test, hearing test, urine test
	Second-year students	Measurements, hearing test, urine test

#### 4) Other

In addition to the above, the Health Administration Office conducts the following tasks.

-Sports physical examination

Participants: students in athletic clubs, students participating in foreign matches

Contents: Electrocardiography, urine test, blood pressure test, medical examination, etc.

### (2) Insurance for Students

The Health Administration Office accepts the following applications to join insurance and insurance claims.

- Enrollment of Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)
- Liability Insurance coupled with PAS
- Comprehensive Insurance for Students Lives coupled with PAS



### **3. Precautions**

#### **(1) Traffic Regulations**

The Tsuruoka Campus decides on essential items related to parking regulations and traffic safety with the goal of maintaining an environment necessary for education and research.

Commuting to the university by automobile is not allowed without a parking permit. Please be aware.

Further, speeds must be strictly reduced on campus (speed limit of 10 km/h). In addition to taking care to prevent accidents, please drive quietly so as not to disturb research and classes.

Motorbikes and bicycles must be parked in designated places.

#### **(2) Campus Harassment**

Campus harassment refers to sexual, academic and other kinds of harassment. It infringes on individual rights and is not tolerated in any circumstance.

The Campus prevents harassment as much as possible, to keep it from hampering the environment for the delivery of a safe and appropriate education. However, if a harassment issue arises, the infirmary ordinarily will respond. Please consult with a counselor there.

The response given will accord full consideration to the privacy of the person making the consultation, as well as protect the human rights of both interested parties.

#### **(3) Handling Chemicals**

Some of the chemicals used in experiments and training contain many components that are harmful to the human body. With even a slight amount of carelessness, serious harm can come not only to the student in question but also to society. To prevent chemical-related accidents, when conducting experiments or training that involve the use of chemicals, read "Yamagata University Handling Poisonous and Deleterious Substances Regulations" thoroughly ahead of time, and work to prevent accidents.

In addition, please refer to the "Faculty of Agriculture Health and Safety Education Textbook" available on the "Campus Life" page of the Faculty of Agriculture website.

#### **(4) Disciplinary Measures**

If a student is recognized as having behaved in an unsuitable way for a student of this university, such as malpractice in an experiment, disciplinary measures will be taken in accordance with the regulations at the end of this handbook.

## V. Related Regulations

### 1. Yamagata University Graduate School Regulations (Excerpt)

(April 1, 1964)

#### Section 1: General Rules

(Intent)

Article 1. These regulations are established as necessary items for conducting education at Yamagata University Graduate School (“the Graduate School”), based on the regulations of National University Corporation, Yamagata University, and Yamagata University’s Basic Organizational Regulations, Article 25 Item 3.

(Objective)

Article 1-2. The Graduate School has the following objectives: to instruct and research both academic theory and application; to master the limits of those endeavors; to cultivate scholarship and superior abilities for taking responsibility for work that requires high-level expertise; and to contribute to cultural development.

2. The objectives, programs, majors, and student capacities of each graduate school are listed below.

Graduate School	Objectives	Programs/Majors	Yearly intake capacity	Total capacity
Graduate School of Agricultural Sciences	To further academic research, educate outstanding researchers, and promote international exchange by educating skilled professionals, retraining working adults, and conducting education and research. With these objectives in mind, we aim to develop students with high-level intellectual abilities, specialized skills, and broad knowledge, capable of demonstrating high creativity.	Master’s program		
		Agricultural Sciences Major	38	76
		Total	38	76

#### Section 2: Standard Length of the Course of Study

(Standard Length of Course of Study)

Article 2. The standard lengths for master’s programs and professional degree courses are two years each.

2. The standard lengths for medical science graduate courses, nursing science and innovative medical science research, and PhD courses in science and technology and organic materials systems are five years each. The standard length of study for the first-term course in PhDs is two years.

The standard length for the second-term course in PhDs is three years.

3. The standard length of study for medical science doctoral courses is four years.

4. The period of enrollment should not exceed twice the number of years of the standard length of the course of study.

(Shortening enrollment)

Article 2-2 In the case where credits acquired before enrolling in accordance with Article 15 (limited to those acquired after the enrollment status is confirmed by Article 102 Item 1 of the School Education Law) are acquired at the Graduate School, and if part of the curriculum of the master’s program, the first-term course in PhDs, or the second-term course in PhDs (only applicable to Medicine Major at Graduate School of Medicine; hereafter the same) has been completed by accreditation, students are considered to have enrolled for the period of up to one year, given the relevant credits and the length of time taken to acquire those credits. However, in this case, students must enroll in the relevant program for at least a year, with respect to the master’s program, the first-term course in PhDs, or the second-term course in PhDs.

(Long-Term Program Students)

- Article 3. If a student wishes to take and systematically complete an educational program for a fixed period beyond the standard length of study, as listed in the previous article, owing to circumstances such as professional employment, the Graduate School Dean will give approval.
2. Necessary items related to taking educational courses over a long period will be determined separately.

Section 3: Enrollment, Continuing Education, Temporary Leave of Absence, Withdrawal, etc.  
(Enrollment)

Article 4. The President of the university will approve enrollment, continuing education, temporary leaves of absence, and withdrawals after hearing the opinions of the graduate course committee (“the committee”), as regulated by the National University Corporation, Yamagata University, and Yamagata University’s Basic Organizational Regulations Article 26.

(Enrollment Season)

Article 5. The enrollment season is in April of each year.

2. Students may be allowed to enroll in the middle of the academic year, in line with semester subdivisions.

(Enrollment Qualifications for Master’s Programs, First-Term Doctoral Programs, and Professional Degree Programs)

Article 6. Candidates fitting any of the following items are eligible to enroll in master’s or first-term doctoral programs.

(1) Graduation from a university established in Article 83 Item 1 of the School Education Law (Act No. 26 of 1947) (below, “a university”)

(2) Being awarded a bachelor’s degree according to the regulations of School Education Law Article 104 Item 4

(3) Completion of 16 years of school education in a foreign country

(4) Completion of a 16-year program considered appropriate as school education in a foreign country by taking correspondence courses in Japan run by a foreign school

(5) Completion of a foreign university program in Japan at an educational facility of the applicable foreign country (limited to those who have completed a 16-year program in formal education in the applicable foreign country), provided the educational facility is positioned within the applicable foreign country’s formal education system, and has been separately designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology

(6) Being awarded a degree equivalent to the bachelor level at a foreign school that is not a foreign university (limited to students who have received authorization for the comprehensive status of educational or research activities from the applicable foreign government or related institution, or those who have been specially designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology), after completing a study program of at least three years (including those who have completed a program specified in the previous item, taking class subjects through correspondence courses run by a school in the applicable foreign country, and provided the educational facility is positioned within the applicable foreign country’s formal education system)

(7) Completion of specialist training at a vocational school (limited to those whose course length was at least four years, otherwise meeting the standards determined by the Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology) after the date designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology, for those who have been specially designated by the minister

(8) Those designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology Notice No. 5 of 1953)

(9) Completion of at least three years at a university, or a 15-year program in formal education in a foreign country, and being recognized by the Graduate School as having earned outstanding grades in certain credits

(10) Completion of a 15-year program in formal education of an applicable foreign country via correspondence courses run by a foreign school and taken in Japan, and being recognized by the Graduate School as having earned outstanding grades in certain credits

(11) Completion of a foreign university program in Japan at an educational facility of the applicable foreign country (limited to those who have completed a 15-year program in formal

education in the applicable foreign country), provided the educational facility is positioned within the applicable foreign country's formal education system, and has been specially designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology, as well as being recognized by the Graduate School as having earned outstanding grades in certain credits

(12) Being over the age of 22 years, and recognized by the Graduate School's individual enrollment qualifications review as having the scholastic ability equal to or greater than that of a university degree holder

2. Those who may enroll in professional degree programs will have a license as decided by the Educational Personnel Certification Law (Act No. 147 of 1949) and fit any of the above items in the previous section.

(Enrollment Qualifications for Second-Term Doctoral Programs)

Article 7.-Omitted

(Enrollment Qualifications for Doctoral Programs in Medical Fields)

Article 8. Omitted

(Selection of New Students)

Article 9. New students are selected from among the applicants for admission.

2. The selection of new students will be determined separately.

(Continuation to Second-Term Doctoral Programs)

Article 9-2. Omitted

(Temporary Leave of Absence)

Article 10. The total period of a leave of absence may not exceed two years for master's, first-term doctoral, or professional degree programs; three years for second-term doctoral programs; and four years for doctoral programs in medical fields.

(Study Abroad)

Article 11. Students who wish to study abroad at foreign graduate schools with exchange agreements with this Graduate School, or at equivalent educational and research institutions, must submit the appropriate application.

2. The study abroad period will be included in the enrollment period.
3. Necessary points on sending exchange students in connection with exchange agreements with foreign universities stipulated in Item 1, or equivalent educational and research institutions, will be determined separately.

#### Section 4: Educational Methods

(Curriculum)

Article 11-2. The Graduate School (excluding professional degree programs. The same in the next item as well as Article 12 and Article 12-2.) should provide necessary course subjects to achieve educational objectives of the said graduate school and major course and to draft plans for supervision of a degree thesis and so on (here after "research supervision") and to develop a systematic curriculum.

2. In developing a curriculum, the Graduate School must pay appropriate attention so that students acquire highly specialized knowledge and skills regarding the major as well as a foundation in the fields associated with the said major.
3. In the professional degree program, necessary subjects according to the major should be offered to achieve its educational goals and a systematic curriculum should be developed.
4. In the professional degree program, necessary course subjects are developed in response to the professional environment related to the major and a curriculum, which is in tune with the development in the said profession, should be developed. In addition, responding to changes in the relevant situation, continuous review of the content of the course subject and the curriculum structure should be undertaken.

(Educational Methods)

Article 12. Education at the Graduate School (except professional degree programs) is conducted through classes in the course subjects and research supervision.

2. Education in professional degree programs is conducted through classes in the course subjects. In this case, the professional degree program curriculum will consider offering courses that deliver a practical education, which achieves its goals, such as case studies applicable to the field of

expertise, on-site surveys, or both, debates or question-and-answer sessions run in a multifaceted way, and other appropriate methods.

(Publication of assessment criteria)

Article 12-2. In the Graduate School, methods and content of classes and research supervision as well as the annual teaching and research supervision plans should be published in advance.

2. In the Graduate School, while assessing students' learning outcomes, evaluating the degree thesis, and confirming the completion, to secure objectivity and rigor, students should have access to the criteria in advance and they should be conducted in accordance with the said criteria.

(Taking Classes)

Article 13. The class subject matter, credits, and methods for taking classes for each graduate school will be determined by the graduate school in question.

(Doctoral Program Education Leading Program)

Article 13-2. Students may participate in the Streamlined 5-year Doctoral Program, as a special educational program that runs from the first to second terms of the doctoral program, which has the objective of training outstanding students to be PhD holders as potential leaders with a high level of fundamental knowledge.

2. The class subject matter, credits, and methods for taking classes for the Streamlined 5-year Doctoral Program will be determined by the Organization for Fundamental Education in Graduate Schools in question.

(Grade assessment)

Article 13-3. Students who have taken one course subject and passed the grade assessment, are provided with a set number of credits.

2. The grade assessment, as in the previous item, is conducted through exams, reports, thesis, and class participation.
- 3 Grade of each course subject is given out of 100 marks and classified into the following score, grade classification, and assessment criteria and S, A, B and C represent pass and F represents failure.

Score	Grade classification	Assessment criteria
90-100	S	To achieve the goals with excellent results
80-89	A	To achieve the goals with good results
70-79	B	To achieve the goals with moderate results
60-69	C	To achieve the goals with minimal results
0-59	F	Failure to achieve the goals

(Taking Classes at Other Graduate Schools)

Article 14. When the Graduate School Dean finds it educationally beneficial, a student may be allowed to use the credits earned from classes taken at another graduate school based on an agreement with that graduate school, as if they were classes taken at this Graduate School.

2. The previous item also applies to study abroad cases stipulated in Article 11.
3. The total number of credits that can be earned through the stipulation in the above Item 2 will not exceed 15 credits.
4. The stipulation in the previous item notwithstanding, for professional degree programs, these credits will not exceed one half of the number of credits decided as completion requirements stipulated in Article 22 Item 1.

(Recognition of Existing Credits Earned Before Enrollment)

Article 15. When the Graduate School Dean finds it educationally beneficial, a student may be allowed to use the credits earned from classes taken at this or other graduate schools before their enrollment, as if they were classes taken at this Graduate School (including credits earned as a student taking subjects).

2. The number of credits permitted in the stipulation of the previous item, as credits earned outside this Graduate School, will not exceed 15 credits, except in cases of transfers and readmissions.
3. The stipulation in the previous item notwithstanding, for professional degree programs, these credits will not exceed one half of the number of credits decided as completion requirements stipulated in Article 22 Item 1, including credits exempted by the stipulation in Article 22 Item 2, except in cases of transfers and readmissions.



Article 15-2 The number of credits that may be deemed to have been acquired at the Graduate School in accordance with the preceding two articles shall not exceed 20 credits in total.

(Research Guidance at Other Graduate Schools)

Article 16. When the Graduate School Dean finds it educationally beneficial, a student may be allowed to receive essential research guidance at other graduate schools or research institutions based on a previous consultation with the other graduate school or research institution in question. However, students in master's programs or first-term doctoral programs may receive the applicable research guidance for a period of no more than one year.

2. Students who wish to receive research guidance, as in the previous items, must obtain permission from the Graduate School Dean.

3. Research guidance stipulated in Item 1 may be recognized as the research guidance required for completing the program.

(Educational Method Exceptions)

Article 17. When it is deemed especially necessary for the student's education, it is possible to conduct the education through appropriate methods, such as classes or research guidance at night or other specified times or periods.

## Section 5: Teacher's License (Omitted)

## Section 6: Requirements for Program Completion and Conferment of Credits (Completion Requirements for Master's Programs and First-Term Doctoral Programs)

Article 19. The completion requirements for master's programs and first-term doctoral programs are as follows: studying in the applicable program for at least two years, earning at least 30 credits, receiving the necessary research guidance, and passing the master's thesis review and final examination. However, the period of study may be revised to at least one year in the applicable program for students who have produced outstanding research results.

2. For the previous item, the review of research results on designated topics may replace the master's thesis review if the Graduate School deems it appropriate for the goals of the program in question.

3. The completion requirements for first-term doctoral programs may replace the review of the master's thesis or designated topic research results and final examination run by the Graduate School as stipulated in the previous Item 2, with the following examinations and reviews run by the Graduate School, if it is deemed necessary for achieving the goals of the doctoral program in question.

(1) Having specialized knowledge and ability in the major field as well as having acquired the basic training in fields related to the major field in the first-term program in question, or an examination on the topics that the student should have cultivated

(2) A review of the elements acquired at the first-term program in question, having the abilities needed for independently executing research related to the doctoral dissertation

(Completion Requirements for Second-Term Doctoral Programs)

Article 20. The completion requirements for second-term doctoral programs are as follows: studying in the applicable program for at least three years, earning the credits designated by the Graduate School, receiving the necessary research guidance, and passing the doctoral dissertation review and final examination. However, the period of study may be revised to at least one year in the applicable program for students who have produced outstanding research results.

2. For students who have completed a master's program or first-term doctoral program in the period of study through the stipulations in the proviso of Article 16 Item 1 of the Graduate School Establishment Standards (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology Ordinance No. 28 of 1974), the stipulation of the previous item will apply, replacing the "one year" of the above item's proviso with "a reduced study period in a master's or first-term doctoral program from the standard period of study of three years for a second-term doctoral program."

(Completion Requirements for Doctoral Programs in Medical Fields)

Article 21. The completion requirements for doctoral programs in medical fields are as follows: studying in the applicable program for at least four years, earning at least 30 credits, receiving the necessary research guidance, and passing the doctoral dissertation review and final examination.

However, the period of study may be revised to at least three years for students who have produced outstanding research results.

(Completion Requirements for Professional Degree Programs)

Article 22. The completion requirements for professional degree programs include studying in the applicable program for at least two years and earning at least 45 credits in classes determined by the graduate school.

2. The previous item notwithstanding, if it is deemed educationally beneficial in the professional degree program, students who have previous work experience as teachers at elementary schools before enrolling in the program may be exempt from the completion requirement's number of credits stipulated in the previous item, up to no more than 10 credits.

(Degree conferred)

Article 23, Paragraph 19: The students who have fulfilled the requirements for completion of a course in accordance with the provisions of Article 19 through to the preceding Article shall be granted a degree as stipulated in the Degree Regulations of Yamagata University after hearing the opinions of the relevant Graduate School Committee.

2. Necessary items regarding degrees will be determined separately.

Section 7: Students Taking Courses, Research Students, Special Research Students, and Foreign Exchange Students

(Students Taking Courses)

Article 24. If someone who is not a student of the Graduate School wishes to take one or multiple course subjects offered by the Graduate School, they may be allowed to enroll as a course-taking student and be given credits after being selected, if there is no hindrance to the class or research.

2. Necessary items regarding course-taking students will be determined separately.

(Research Students)

Article 25. If someone wishes to specialize further in an area of expertise at the Graduate School, they may be allowed to enroll as a research student after being selected, if there is no hindrance to the class or research.

2. Necessary items regarding research students will be determined separately.

(Special Auditing Students)

Article 26. If a student from another graduate school, in agreement with this Graduate School, wishes to take a course subject designated by the Graduate School, the President will allow the student as a special auditing student after hearing the opinions of the committee.

2. Regulations for students in the Yamagata University ("the university") regulations will apply to special auditing students.
3. Necessary items related to receiving exchange students based on exchange agreements with foreign graduate schools stipulated in Article 1 will be determined separately.

(Special Research Students)

Article 27. If a student from another graduate school wishes to receive research guidance at this Graduate School, the Graduate School Dean will admit the student as a special research student, after consultation with the other graduate school.

2. Necessary items regarding special research students will be determined separately.

(Foreign Exchange Students)

Article 28. If someone wishes to enter Japan and enroll in the Graduate School with the goal of receiving an education at the university, they will be allowed to enroll as a foreign exchange student after being selected.

2. Necessary items regarding foreign exchange students will be determined separately.

Section 8: Fees for Examinations, Enrollment, Tuition, and Room and Board

(Cost of Examination and Other Fees)

Article 29. The cost of fees for examinations, enrollment, tuition, and room and board will depend on items decided by regulations concerning tuition and other costs at the National University Corporation, Yamagata University.

2. The stipulations of the previous item notwithstanding, depending on items agreed to, examination fees, enrollment fees, and tuition will not be collected from course-taking students and research students, and tuition will not be collected from special auditing and special research students.

Section 9: Education and Research at the United Graduate School of Agricultural Sciences –  
Iwate University

(The United Graduate School)

Article 30. Regarding education and research conducted by the United Graduate School of Agricultural Science established at Iwate University, this University will collaborate with Hirosaki University and Iwate University.

2. Joint professorial chairs in the United Graduate School of Agricultural Sciences, as stated in the previous item, will be supervised by professors posted at this university's Faculty of Agriculture as lead supervising faculties, based on Article 8 Item 1 of the Yamagata University Academic Research Institute Regulations, along with faculties from Hirosaki University's Graduate School of Agriculture and Life Science and the Graduate School of Sustainable Community Studies, and Iwate University's Graduate School of Arts and Sciences.

Section 10: Miscellaneous Rules  
(Application of Department Regulations)

Article 31. For matters not determined by these regulations, the Yamagata University Department Regulations will apply. In these cases, "department faculty meeting" will replace "graduate course committee," and "Dean" will replace "Dean of the graduate school."

Additional Clause

1. This regulation becomes effective on April 1, 2023.

Omitted



## 2. Yamagata University Degree Regulations (Excerpt)

(Fully Revised April 21, 1979)

### Section 1: General Rules

#### (Intent)

Article 1. These regulations are established as necessary items for Yamagata University (“this university”) to award degrees, based on Article 13 Item 1 of the Degree Regulations (Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology Ordinance No. 9, “the Ordinance”), and the stipulations of Article 39 Item 2 of the Yamagata University Department Regulations and Article 23 Item 2 of the Yamagata University Graduate School Regulations (“Graduate School Regulations”).

#### (Degree Types)

Article 2. This university awards bachelor’s, master’s, doctoral, and master of teaching (professional) degrees.

#### (Titles of Major Fields)

Article 3. The titles of major fields added to each degree are listed in a separate table.

#### (Titles of Degrees)

Article 4. When students awarded a degree from this university use their degree titles, they will add the phrase “Yamagata University.”

### Section 2: Omitted

### Section 3: Awarding Master’s Degrees

#### (Requirements for Awarding Master’s Degrees)

Article 7. Master’s degrees are awarded to those who have completed a master’s program or first-term doctoral program (“master’s program”) at a graduate school of this university.

#### (Submission of Master’s Theses)

Article 8. Master’s theses will be submitted to the Dean of the concerned graduate school.

2. The master’s thesis (including products from research on specific themes prescribed in Article 19-2 of Graduate School Regulations; the same applies hereinafter) submitted in the previous item will be a complete work. However, other theses may be attached for reference.

3. When reviews are necessary, the submitter of the master’s thesis may be able to submit materials, such as a translated manuscript or model.

#### (Return of Theses)

Article 9. Master’s theses accepted under the stipulation of the previous article will not be returned under any circumstances.

#### Article 10. Deleted

#### (Review Committee)

Article 11. When the Graduate School Dean has received a thesis according to the stipulations of Article 8, or when examination and screening prescribed in Article 19-3 of Graduate School Regulations (hereinafter called Special Screening) are conducted, three or more professors in fields related to the content of master thesis or Specific Screening must be selected. They must conduct a review of the thesis and final examination or Special Screening. Professors other than those positioned in the graduate school in question may be selected by the lead supervising professors as review committee members, according to necessity, based on Article 8 Item 1 of the Yamagata Academic Research Institute Regulations.

2. When the Review of Master’s Thesis and Final Examination, or Special Screening, is necessary, the Graduate School Dean may, as the lead supervising professor based on Article 8 Item 1 of the Yamagata Academic Research Institute Regulations, invite professors from other graduate schools at this university or faculty from other universities or research institutions, as review committee members.

#### (Final Examinations)

Article 12. After the master’s thesis review is complete, the final examination assigned to the submitter of the master’s thesis will be conducted orally or in writing, on matters relevant to and focused on the master’s thesis.

#### (Special Screening)

Article 12-2. Special Screening consists of written examination on advanced knowledge and skills in her/his major and basic knowledge in related fields to be learnt and acquired during the first 2 years of doctoral program, and screening based on submission and defense of research report for judging her/his capacity to conduct independent study for a doctoral degree.

(Review Committee Reports)

Article 13. The review committee members must immediately submit a report to the Graduate School Dean that documents the results, after the Review of Master Thesis and Final Examination or Special Screening is complete.

(Graduate Committee Hearings)

Article 14. The Graduate School Dean will hold hearings from the graduate committee members about whether a master's degree should be awarded, based on the stipulations of Article 19 of the Graduate School Regulations.

(Report to the President)

Article 15: The Dean of the Graduate School shall report to the President on the results of the hearing of opinions set forth in the preceding Article.

2 If there is any doubt about the report of the preceding paragraph, the President may request that the Dean of the Graduate School reasonably re-examine the report. In this case, the Graduate School Committee shall conduct the re-examination, and the Dean of the Graduate School shall report the results to the President without delay.

(Degree conferred)

Article 16: Based on the report of the preceding Article, the President shall decide whether the degree should be conferred and shall confer a master's degree on those who should receive the degree by issuing the prescribed degree certificate.

Section 4: Awarding Doctoral Degrees (Omitted)

Section 5: Awarding Degrees of Master of Education (Omitted)

Section 6: Miscellaneous Rules

(Revoking Degree Awards)

Article 46. If a person who has been awarded a degree by this university has been confirmed as having committed acts that disgrace the university or has been confirmed as receiving his/her degree through fraudulent means, the President will revoke his/her degree award, demand the return of the diploma, and officially announce these proceedings, after a hearing session with the applicable faculty or graduate committee.

(Diploma Format)

Article 47. The format of the diploma is as shown in Appendix Form 2.

(Other)

Article 48. Necessary items concerning the awarding of degrees other than those determined by these regulations will be determined by the applicable Dean or Graduate School Dean with the approval of the President.

Additional Clause

This regulation becomes effective on April 1, 2023.

Attached table

Master's degree

Graduate School	Major	Program	Degree type and major title
Graduate School of Agricultural Sciences	Agricultural Sciences	Master's program	Master (Agriculture)

### 3. Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences: Course Regulations

(Intent)

Article 1. These regulations are established as necessary items regarding courses, class subjects, credits, and grading at Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences, based on the stipulations of Article 13 of the Yamagata University Graduate School Regulations.

(Courses and Class Subjects)

Article 2. The courses, class subjects, and credits for each major are listed in a separate table.

(Research Guidance Advisors)

Article 3. One lead faculty advisor and two assistant faculty advisors will be assigned to each student, as research guidance advisors assisting on research and theses.

2. One of the assistant faculty advisors should be drawn from a different research area than that of the lead faculty advisor.

(Methods for Taking Classes)

Article 4. Students must follow the instructions of their lead faculty advisor and earn at least 30 credits in the class subjects for their major program listed in a separate table through the class-taking methods mentioned in that table.

(Exceptions in education methods)

Article 5. In cases where the Graduate School Committee approves it as educationally beneficial, classes and research guidance in the Graduate School can be delivered through appropriate means, such as nighttime teaching, or delivered during the set time slots or periods.

(Research plan)

Article 6: A student shall submit a research plan in a separate form to the Dean of the Graduate School through their primary advisor within the prescribed period.

(Approval of Credits Earned)

Article 7. The faculty responsible for each course will approve credits earned at the end of each semester, through written examinations, oral examinations, or research reports.

2. Grades for completed class subjects are expressed as S, A, B, C, F, or N. S, A, B, C, wherein N represent passing grades. The grading standards are as follows.

Scores	Grade classification	Assessment criteria
90–100	S	Achieved the goals with excellent results
80–89	A	Achieved the goals with good results
79–79	B	Achieved the goals with moderate results
60–69	C	Achieved the goals with minimal results
0–59	F	Failed to achieve the goals
Approved Courses	N	

(Submission of Master's Theses)

Article 8. Master's theses must win the approval of the lead faculty advisor within the designated period and be submitted to the Graduate School Dean.

2. The writing and submission of master's theses will be determined separately.

3. The review standards for master's theses will be determined separately.

(Master's Thesis Review)

Article 9. After theses are submitted, the Graduate School Dean will immediately entrust these to a thesis review committee selected by each major's faculty.

2. The thesis review committee members will report the results of the thesis review to the Graduate School Dean.

(Final Examinations)

Article 10. Final examinations will be conducted on each major.

2. The Major Dean will create a committee for conducting matters related to holding and reviewing final examinations ("review committee").

3. The thesis examiners shall report the results of the final examination to the Dean of the Graduate School.
4. Final examination criteria will be determined separately.

(Approval of Curriculum Completion)

Article 11. The Graduate School Dean will hold hearings with the graduate committee on whether master's degrees will be awarded, based on reports of the results of master's thesis review and the final examination.

2. The Graduate School Dean will submit a report to the President on students whose completion should be approved, based on the stipulations of Article 15 of the Yamagata University Degree Regulations.

(Taking Course Subjects in Departments)

Article 13. With permission from their lead faculty advisor and the faculty member leading the course, students may take course subjects in the Department of Agricultural Science. However, the credits earned in these cases will not apply as curriculum completion credits.

2. When completing course subjects in the previous item, the student will complete the "Course-Taking Student" procedure by the designated date.

(Miscellaneous Rules)

Article 14. Items aside from those determined in these regulations, and necessary items for enforcing these regulations, will be determined separately by the Graduate School Dean after a discussion with the graduate committee.

Additional Clause

1. These regulations will be enforced from April 1, 2014.
2. The revised Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences Course Regulations will apply to students whose enrollment begins in 2014; students enrolled in 2013 and earlier will abide by the previous regulations.

Additional Clause

These regulations will be enforced from April 1, 2015.

Additional Clause

1. These regulations will be enforced from June 25, 2015.
2. The revised Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences Course Regulations will apply to students whose enrollment begins in 2014; students enrolled starting in 2013 and earlier will abide by the previous regulations.

Additional Clause

1. These regulations will be enforced from April 1, 2019.
2. The revised Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences Course Regulations will apply to students whose enrollment begins in 2019; students enrolled starting in 2018 and earlier will abide by the previous regulations.

Additional Clause

1. These regulations will be enforced from April 1, 2021.
2. The revised Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences Course Regulations will apply to students whose enrollment begins in 2021; students enrolled starting in 2020 and earlier will abide by the previous regulations.

Additional Clause

These regulations will be enforced from July 6, 2021 and apply from April 1, 2021.

2. The revised Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences Course Regulations will apply to students whose enrollment begins in 2021; students enrolled starting in 2020 and earlier will abide by the previous regulations.

Additional Clause

1. These regulations will be enforced from December 17, 2021.
2. The revised Yamagata University Graduate School of Agricultural Sciences Course Regulations will apply to students whose enrollment begins in 2021.

#### 4. Yamagata University Student: Disciplinary Regulations

(March 19, 2013)

(Intent)

Article 1. These regulations are established as necessary items for planning the reasonable and fair use of disciplinary measures for students, as stipulated in Article 65 of the Yamagata University Department Regulations and Article 31 of the Yamagata University Graduate School Regulations.

(Conduct Subject to Disciplinary Measures)

Article 2. The President will conduct disciplinary measures for students who have engaged in any of the following acts (“the student in question”):

- (1) Criminal acts or other offenses
- (2) Acts infringing on human rights, such as harassment
- (3) Cheating on examinations or acts that violate academic ethics of writing a thesis
- (4) Acts that violate information ethics
- (5) Acts in violation of Department Regulations or other regulations of this University
- (6) Acts that considerably damage the honor or reputation of this University
- (7) Other acts that violate one’s duties as a student

(Details of Disciplinary Measures)

Article 3. The details of disciplinary measures are as follows:

- (1) Warning: The student is given a warning about the offense committed and asked to reflect on the fact. He/she is given a warning, verbally or in writing, not to commit that type of act in the future.
  - (2) Suspension: The student is prohibited from taking courses in his/her educational curriculum and from participating in extracurricular activities for a specified period. However, he/she will not be prohibited from voluntary service, such as volunteer activities.
  - (3) Expulsion: Loss of status as a student. In these cases, the student will not be allowed to be readmitted to the University.
2. The suspension period may be indefinite or definite. Indefinite suspensions are suspensions ordered with no specific time period. Definite suspensions are ordered with a specific period of no more than three months.
3. The suspension period will not be included in the period of enrollment, or in the period of study. However, if the suspension is less than three months, it may be included in the period of study.

(Other Educational Measures)

Article 4. The Dean or Graduate School Dean (“the Dean”) may give verbal or written reprimands as educational measures, aside from the disciplinary measures stipulated in the previous article.

2. The Dean must use Separate Form 1 to immediately submit a report to the President, when giving reprimands as determined in the previous item.

(Assessment of Disciplinary Measures)

Article 5. Disciplinary measure assessments will be based on the disciplinary measure standard cases (“standard cases”) listed in the attached table. Based on the following criteria, the perpetrator’s circumstances and the wrongfulness and severity of the act will be judged comprehensively:

- (1) The motive, state, and outcomes of the offense
  - (2) The distinction between and degree of intent and error
  - (3) Record of past offenses
  - (4) Usual lifestyle and response after the offense
2. In assessing disciplinary measures, considering the mitigating circumstances of each case, measures can be increased or decreased.

(Reporting of the case)

Article 6. When an accident/incident involving students occurs, the Dean of the concerned Faculty has to promptly report its details to the President.

(Confinement at home/staying-at-home)

Article 7. The Dean can order confinement at home of the student in question before the determination of disciplinary measures, when it is evident that the case in question merits suspension as stipulated in Article 3 Item 1 Clause 2, or expulsion as stipulated in Article 3 Item 1 Clause 3.

2. The Dean can order the student in question to temporarily stay at home to protect the victim.

- (1) The stay-at-home order can only be issued if there is an application from the victim and when



the student in question has consented to the length and reasons for the stay-at-home order.

- (2) The length of staying-at-home is within a week and sufficient consideration should be paid to the right to education, and a prompt fact-finding investigation should be conducted.

3. The length of confinement at home and staying-at-home can be included in the length of suspension. (Fact-finding investigation)

Article 8. The Dean must carry out a careful and swift fact-finding investigation into the said case when he/she deems the incident/accident by a student as one requiring a disciplinary action against the student or when he/she is instructed by the President.

2. The Dean must set up an investigation committee to perform a fact-finding investigation as stipulated in the previous Item. The committee can be substituted by an existing committee.
3. The investigation committee stipulated in the previous Item must, in principle, notify the student in question that an investigation is to take place and provide him/her with the opportunity to defend himself/herself during the investigation.
4. The investigation committee interviews the student in question and other parties involved in the incident/accident, hears their explanation and, when it is deemed necessary, requests the submission of materials.
5. If necessary, the investigation committee can request attendance of people other than committee members for their views.
6. When the investigation is completed, the investigation committee must produce a report detailing what it has investigated and submit it to the Dean.
7. Upon receiving the report as described in the previous item, the Dean is to consult with the professorial meeting or Graduate School committee (hereafter, the professorial meeting) to judge whether disciplinary action should be taken.
8. The Dean must produce a report using Separate Form 2 and delineate the result of the judgment, as stipulated in the previous Item, to the President. The report can contain the details of the action taken.

(Determination of disciplinary measures)

Article 9. The President, based on the report in accordance with the previous Article Item 8, determines whether disciplinary measures are necessary and what action to be taken.

2. When he/she has doubt about the content of the report, the President can request explanation from the Dean and instruct further investigation.

(Notification of disciplinary measures)

Article 10. Disciplinary measures are implemented by the President who serves the notice of disciplinary measures (Separate Form 3) to the student subjected to such measures.

2. When disciplinary measures are taken, the President notifies it to the guarantors of the student subjected to disciplinary measures.
3. When the whereabouts of the student subjected to disciplinary measures are unknown or when said student refuses to receive the notice of disciplinary measures, the content is to be published in accordance with the method stipulated by the Civil Code (The 1896 Law No. 89) Article 98 Item 2. In this case, when two weeks have passed since the date of publication, the notice of disciplinary measures is deemed to be served.

(Disciplinary measures' validity)

Article 11. The disciplinary measures come into effect when the notice of disciplinary measures is served.

(The period of disciplinary measures)

Article 12. The period of disciplinary measures starts the day after the day when disciplinary measures come into effect and is calculated by calendar days.

(Request for a review)

Article 13. The student subjected to disciplinary measures can request the President for a review using the request for a review form (Separate Form 4) within ten days of the day when the notice of disciplinary measures was served, if he/she has valid reasons, such as factual error, the discovery of new facts, and so on.

2. When he/she deems a review is warranted, the President instructs the relevant Dean to review the case.

3. When he/she deems a review is not warranted, the President swiftly notifies his/her decision to the student in question in writing.
4. The President swiftly notifies the result of the review to the student in question in writing.
5. If, consequential to the review, a different decision from the original is made in accordance with Article 9 Item 1, the President again follows the procedures stipulated in Article 10.
6. A request for a review would not disrupt the validity of disciplinary measures. However, if the request for a review has resulted in change in the details of disciplinary measures, necessary measures, such as cancelling the served disciplinary measures and so on, need to be taken.

(The shortening or lifting of suspension)

Article 14. Taking into consideration the degree of remorse of the student in question and so on, and upon consulting the professorial meeting, the Dean can ask the President to lift the indefinite suspension or shorten the period of definite suspension.

2. Upon receiving an application from the Dean, the President can decide about either lifting said suspension or shortening the period of suspension. However, the indefinite suspension cannot be lifted within three months of the date of the start of said suspension.

(Record of disciplinary measures)

Article 15. When disciplinary measures are taken, their details are recorded in the reward and punishment section of the book of cumulative records. However, the details will not be included in the certificates issued by the University.

(Change in academic registration)

Article 16. Regarding a disciplinary action, if the student on whom a fact-finding investigation is taking place applies for withdrawal or leave of absence before the decision on disciplinary measures is made, the application is not accepted.

2. If a student on leave of absence receives suspension during the suspension period, the leave of absence of the student in question is not recognized.

(Measures taken in academic affairs)

Article 17. When a student receives suspension because of cheating in the mid-term exams, end-of-semester exams, or accreditation exams, he/she fails in the subject in which cheating took place (and is given 0 marks), and all other subjects taken by the student in said semester will be cancelled. However, if the effect of cancellation of registration with subjects would go beyond the said semester, cancellation will not occur.

(Taking courses)

Article 18. The student whose suspension is completed or is about to be completed can engage with procedures to take courses after the period of suspension, during the period set by the relevant Faculty.

(Instruction during suspension)

Article 19. The Dean must regularly meet and instruct students in suspension.

(Administration)

Article 20. Administration of disciplinary action against students is conducted by the Enrollment Management Office with co-operation of other departments and offices.

(Miscellaneous)

Article 21. Items other than those determined in the regulation, which are necessary for disciplinary action against students, can be determined separately.

## **5. Detailed Regulations on the Implementation of Yamagata University Student Disciplinary Action**

(February 19, 2019)

(Intent)

Article 1. These regulations are established to ascertain the necessary items regarding the standard cases to determine the level of disciplinary action (hereafter, “the standard cases”), the maliciousness and seriousness, as well as the increase/decrease in the determination based on Article 21 of Yamagata University’s Student Disciplinary Regulations.

(The standard cases to determine the level of disciplinary action)

Article 2. The standard cases are as shown in the attached table. However, for an offense which is not included in the standard cases, judgment for taking appropriate disciplinary action will be made with reference to the standard cases.

(Judgment of maliciousness and seriousness)

Article 3. Maliciousness and seriousness will be judged according to the following criteria:

- (1) Maliciousness is judged with reference to the subjective attitudes of the student in question, the nature of the offense in question, the motive that leads to the offense in question, and the past records of disciplinary action.
- (2) Seriousness is judged with reference to the degree of damage, including the psychological damage suffered by the victim of the offense in question and the influence exerted by the offense in question on society.

(Increasing/decreasing the determination)

Article 4. The level of disciplinary action can be increased or decreased according to the following criteria:

- (1) As disciplinary measures are educational measures, an increase or decrease in the determination can be applied based on an overall judgment taking into account the motive, attitudes after the offense, and other individual circumstances.
- (2) Depending on the motive and attitudes after the offense, the determination can be increased or decreased without referring to the determination in the standard cases.
- (3) If the offense concerns the educational ideals and objectives of the Faculty, the determination can be increased.
- (4) If the offense originates from an error or misunderstanding, and if full rehabilitation can be expected through educational instruction, the determination can be reduced.

(Miscellaneous)

Article 5. The revision of these detailed regulations is conducted by the President in consultation with the Vice-President who is in charge of student support.



Attached table (Standard cases)

Category	Details of offense	Standard disciplinary measures
Criminal acts	Brutal criminal acts, such as homicide, burglary, sexual assault, or attempts at such acts	Expulsion
	Assault	Expulsion or suspension
	Drug-related criminal acts	Expulsion or suspension
	Criminal acts, such as theft, fraud, or violent behavior, that does not lead to injury of others	Expulsion, suspension, or warning
	Molestation (including non-consensual viewing, non-consensual photography, and other nuisance acts)	Expulsion, suspension, or warning
	Stalking	Expulsion, suspension, or warning
	Malicious misuse of computers or networks	Expulsion or suspension
	Misuse of computers or networks	Suspension or warning
Traffic accidents	Causing a traffic accident that resulted in personal injury, such as death or severe after-effects, for which there was a malicious cause, such as driving without a license, driving while intoxicated, or reckless driving (including aiding and abetting)	Expulsion
	Causing a traffic accident that resulted in personal injury, for which there was a malicious cause, such as driving without a license, driving while intoxicated, or reckless driving (including aiding and abetting)	Expulsion or suspension
	Malicious traffic law violations, such as driving without a license, driving while intoxicated, and reckless driving (including aiding and abetting)	Suspension or warning
	Causing a traffic accident that led to personal injury, such as death or severe after-effects, for which the cause was an error, such as not watching the road	Suspension
	Causing a traffic accident that resulted in personal injury, for which the cause was an error, such as not watching the road	Suspension or warning
Examinations	Malicious cheating, such as students substituting for one another on an examination held by this university	Expulsion or suspension
	Cheating on examinations held by this university	Suspension
	Not following the warnings or instructions of a supervisor at an examination held by this university	Warning
	Wrongdoing determined by Article 5 Item 1 of regulations related to the code of conduct for research activities at Yamagata University	Expulsion, suspension, or warning

Category	Details of offense	Standard disciplinary measures
Offenses	Violent acts that considerably hinder the education, research, or management and administration of this university	Expulsion, suspension, or warning
	Trespassing into buildings managed by this university, or their misuse or occupation	Expulsion or suspension
	Breaking, spoiling, or altering buildings or equipment managed by this university	Suspension
	Forcible obstruction of business or fraudulent obstruction of business, such as spreading rumors against this university	Expulsion, suspension, or warning
	Violent acts, threats, confinement, or restraint of members of this university	Expulsion, suspension, or warning
	Acts amounting to campus harassment	Expulsion, suspension, or warning
	Forcing the ingestion of alcohol, leading to death or serious circumstances	Expulsion or suspension
	Forcing the ingestion of alcohol, leading to injury, such as acute alcohol intoxication	Suspension or warning
	Forcing the ingestion of alcohol on a known minor	Suspension or warning
	Causing major problems in education/research or management/running of this university by breaching the information security measures implemented by this university	Suspension or warning

## (参考 References)

### 鶴岡キャンパス施設案内図

Tsuruoka Campus Facility Guide Map

### 鶴岡キャンパス構内図

Tsuruoka Campus Map

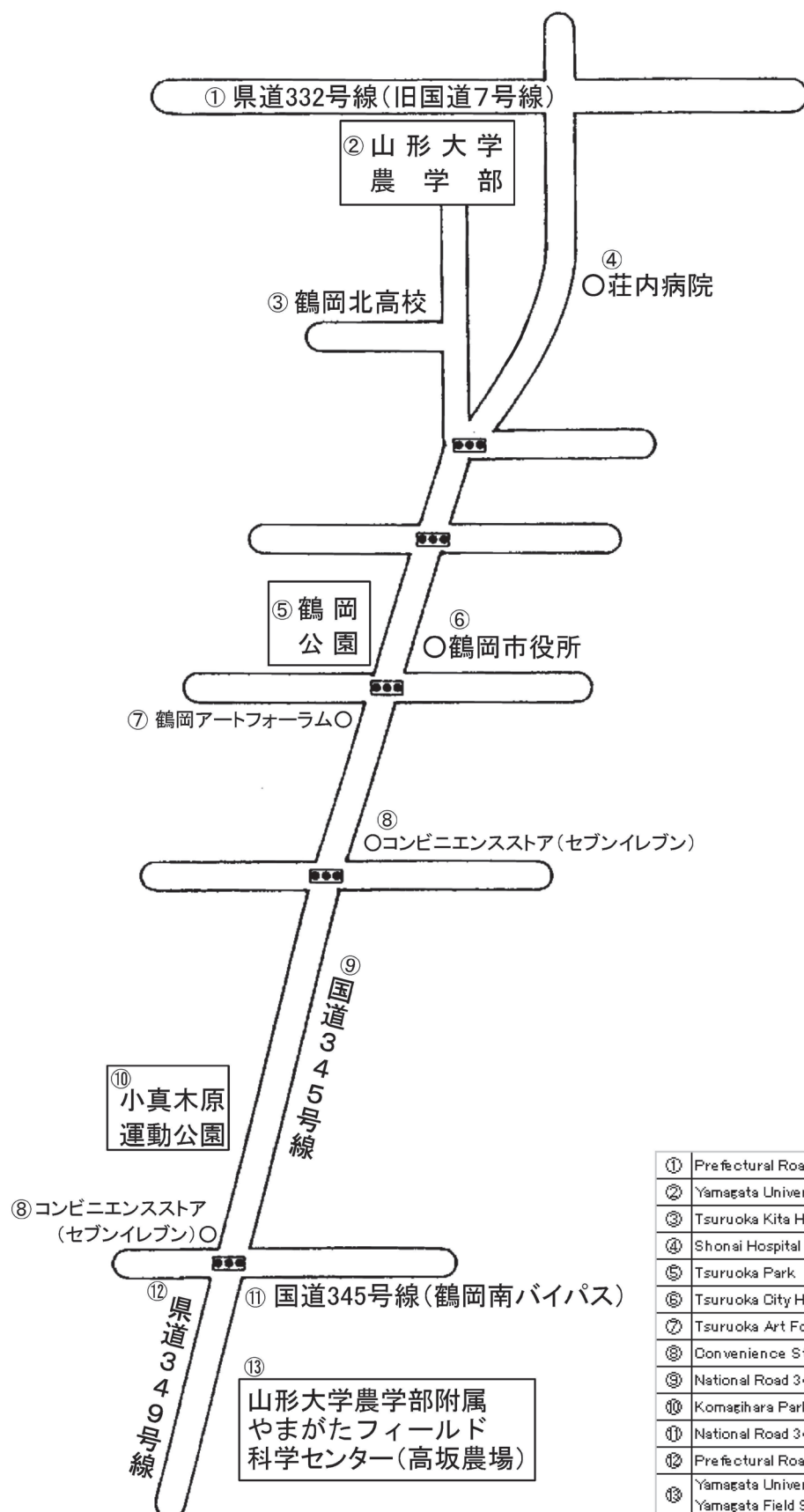
# Tsuruoka Campus Facility Guide Map

Yamagata University, Tsuruoka Campus Diagram  
and Campus Information



**附属やまがたフィールド科学センター（高坂農場）**

Affiliated Yamagata Field Science Center (Takasaka Farm)



①	Prefectural Road 332 (formerly National Road 7)
②	Yamagata University Faculty of Agriculture
③	Tsuruoka Kita High School
④	Shonai Hospital
⑤	Tsuruoka Park
⑥	Tsuruoka City Hall
⑦	Tsuruoka Art Forum
⑧	Convenience Store (7-11)
⑨	National Road 345
⑩	Komagihara Park
⑪	National Road 345 (Tsuruoka Minami Bypass)
⑫	Prefectural Road 349
⑬	Yamagata University Faculty of Agricultural Sciences Affiliated Yamagata Field Science Center (Takasaka Farm)

実験実習室 I  
Laboratory I

食品加工室 Processing Room	WC		女WC	洗濯 Laundry	男シャワー Shower Room (Men)	女シャワー Shower Room (Women)	化学実験室 佐々木 Laboratory	バイオ実験室 池田 Laboratory	男WC (Men)		技術職員室 Technical Staff Room
	浴室 Bath	脱衣 Dressing Room	洗濯 Washing Room	ロッカー室 Locker Room							

実験実習室Ⅱ Laboratory II	技術職員室 Technical Staff Room	場長室 FSC Dean Office	事務室 Administrative Office	食品加工物保管室 Storage Room	玄関 Entrance

佐々木 研究室 SASAKI Yuka	池田 研究室 IKEDA Kazuo	浦川 研究室 URAKAWA Shuji	中坪 研究室 NAKATSUBO Ayumi	休憩室 Rest Room
------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	---------------------------------	------------------

# 鶴岡キャンパス構内図 Tsuruoka Campus Map

## 講義室 Lecture Room

部屋名称 Room	棟 Building	階 Floor
101講義室 Lecture room 101	3	1
102講義室 Lecture room 102	3	1
103講義室 Lecture room 102	3	1
201講義室 Lecture room 201	3	2
202講義室 Lecture room 202	3	2
203情報処理教室 Computer room 203	3	2
301大講義室 Lecture room 301	3	3
302講義室 Lecture room 302	3	3
401講義室 Lecture room 401	3	4
402講義室 Lecture room 402	3	4

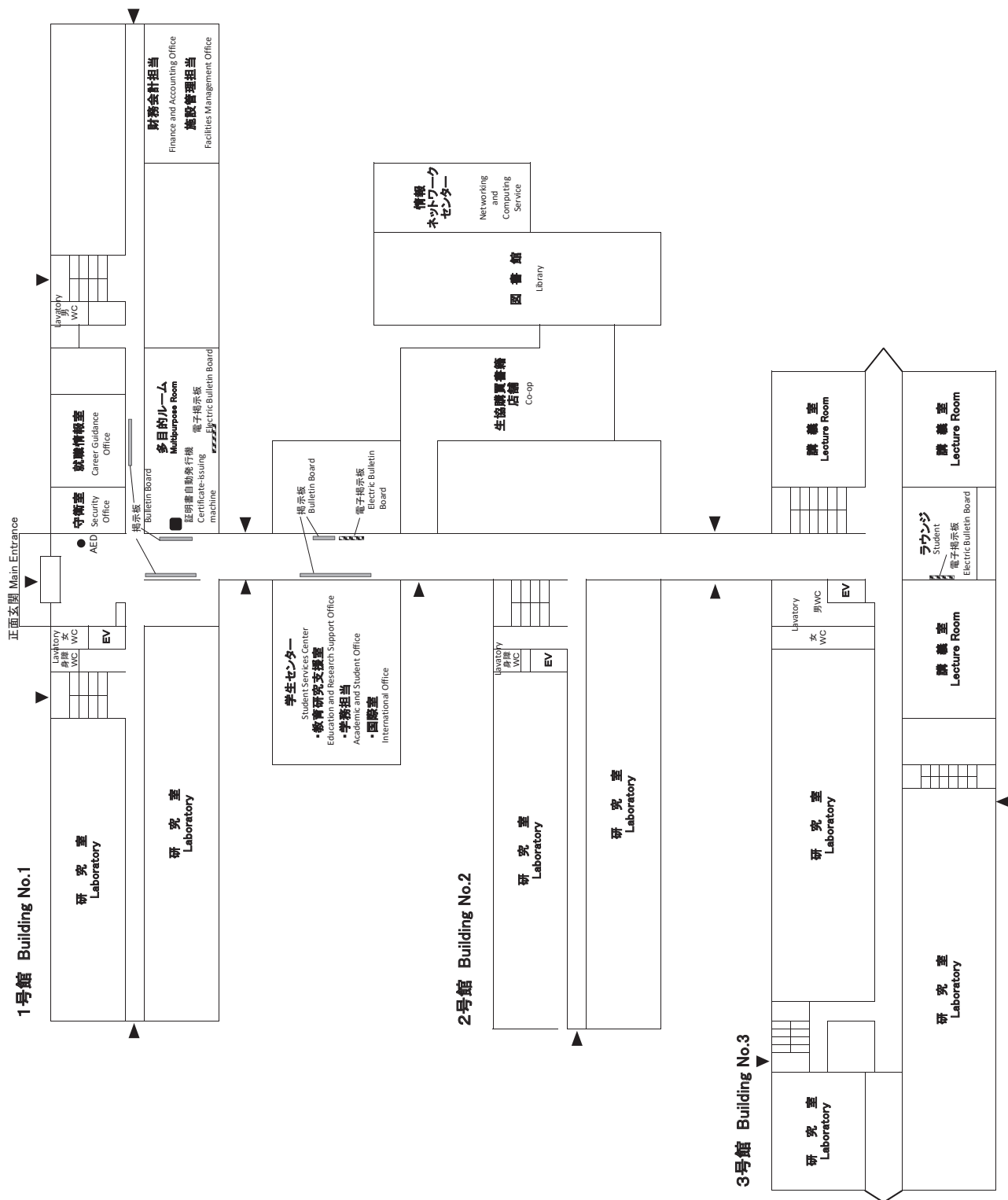
## その他 Other Room

部屋名称 Room	棟 Building	階 Floor	部屋番号 Room No.
リフレッシュルーム Refresh Room	1・2	1～5	
大学院第1セミナー室 Seminor Room	1	2	1209
リフレッシュコーナー Refresh Room	3	1～6	
守衛室 Security Office	1	1	1105
学務担当 Academic and Student	学生センター Student Service Center		
就職情報室 Career Guidance Office	1	1	1106
財務会計担当 Finance and Accounting Office	1	1	1101
施設管理担当 Facilities Management Office	1	1	1101
学部長室 Dean Office	1	2	1251
事務長室 Director Office	1	2	1252
総務担当 General Affairs Office	1	2	1253
企画広報室 Planning and Public Relations Office	1	2	1202

## 教員研究室 Teacher's Room

	部屋名称 Room	棟 Building	階 Floor	部屋番号 Room No.
あ	相蘇研究室 AISO Haruna	2	4	2452
	芦谷研究室 ASHITANI Tatsuya	2	4	2453
	網干研究室 ABOSHI Takako	3	2	3253
	家串研究室 IEKUSHI Tetsuo	2	1	2153
	池田研究室 IKEDA Kazuo	やまがたフィールド科学センター(高坂農場) Yamagata Field Science Center (Takasaka Farm)		
か	石川研究室 ISHIKAWA Masaya	2	2	2252
	浦川研究室 Urakawa Shuji	やまがたフィールド科学センター(高坂農場) Yamagata Field Science Center (Takasaka Farm)		
	江頭研究室 EGASHIRA Hiroaki	3	4	3456
	江成研究室 ENARI Hiroto	2	4	2456
	小笠原研究室 OGASAWARA Nobuyoshi	1	4	1452
	小川研究室 OGAWA Sanshiro	2	5	2557
	小沢研究室 OZAWA Wataru	2	1	2104
	加来研究室 KAKU Nobuo	3	4	3455
	角田(憲)研究室 KAKUDA Ken-ichi	1	4	1412
	梶原研究室 KAJIHARA Akihiko	1	5	1562
さ	片平研究室 KATAHIRA Mitsuhiko	1	5	1566
	叶研究室 KANOH Naomi	3	1	3151
	菊池研究室 KIKUCHI Shun-ichi	2	5	2552
	木村研究室 KIMURA Naoko	3	1	3154
	兼原研究室 KUWABARA Yoshiki	2	2	2253
	小関研究室 KOSEKI Takuya	3	2	3254
	小林(翔)研究室 KOBAYASHI Sho	3	1	3152
	小林(隆)研究室 KOBAYASHI Takashi	1	4	1461
	小峰研究室 KOMINE Hirotaka	2	4	2457
	五領田研究室 GORUYODA Sayuri	2	1	2156
た	斎藤研究室 SAITO Masayuki	2	3	2352
	佐々木研究室 Sasaki Yuka	やまがたフィールド科学センター(高坂農場) Yamagata Field Science Center (Takasaka Farm)		
	笹沼研究室 SASANUMA Tsuneo	3	4	3452
	佐藤研究室 SATO Satoru	1	5	1554
	塩野研究室 SHIONO Yoshihito	3	2	3256
	渋谷研究室 SHIBUYA	1	3	1353

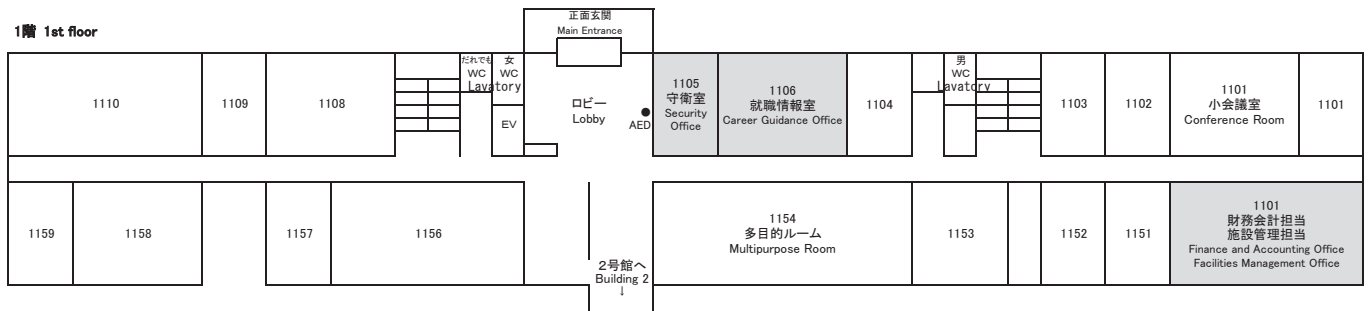
	部屋名称 Room	棟 Building	階 Floor	部屋番号 Room No.
た	平研究室 TAIRA Satoshi	1	3	1351
	俵谷研究室 TAWARAYA Keitaro	3	3	3351
	陳研究室 CHEN Aofei	2	1	2157
	程研究室 CHENG Weiguo	3	3	3352
	豊増研究室 TOYOMASU Tomonobu	3	3	3356
な	永井研究室 NAGAI Takeshi	3	1	3153
	中坪研究室 NAKATSUBO Ayumi	1	5	1567
	茄子川研究室 NASUKAWA Hisashi	1	2	1213
	鍋島研究室 NABESHIMA Tomoyuki	1	4	1453
	西山研究室 NISHIYAMA Masateru	1	5	1561
は	長谷研究室 HASE Shu	1	4	1460
	服部研究室 HATTORI Satoshi	3	2	3251
	花山研究室 HANAYAMA Susumu	1	5	1556
	林研究室 HAYASHI Masahide	2	5	2559
	林田研究室 HAYASHIDA Mitsuhiro	2	4	2402
ま	藤科研究室 FUJISHINA Tomoumi	1	3	1359
	保木本研究室 HOKIMOTO Toshiyuki	1	3	1362
	星野研究室 HOSHINO Tomoki	3	4	3403
	堀口研究室 HORIGUCHI Ken-ichi	1	3	1356
	松山研究室 MATSUYAMA Hiroki	1	3	1357
や	三橋研究室 MITSUHASHI Wataru	3	3	3355
	宮城研究室 MIYAGI Atsuko	3	4	3453
	村山(哲)研究室 MURAYAMA Tetsuya	3	2	3255
	村山(秀)研究室 MURAYAMA Hideki	3	3	3353
	柳原研究室 YANAGIHARA Atsushi	2	5	2553
ら	吉村研究室 YOSHIMURA Kenichi	2	3	2357
	ロペス研究室 LOPEZ CACERES MAXIMO LARRY	2	3	2306
	渡邉(一)研究室 WATANABE Kazuya	2	2	2256
	渡部(徹)研究室 WATANABE Toru	1	5	1564
	渡辺(昌)研究室 WATANABE Masanori	3	4	1405
わ	渡辺(理)研究室 WATANABE Rie	1	3	1361



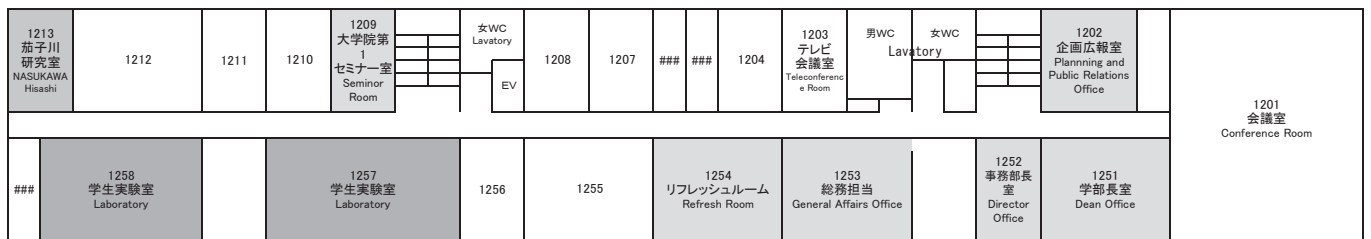


# 1号館 Building 1

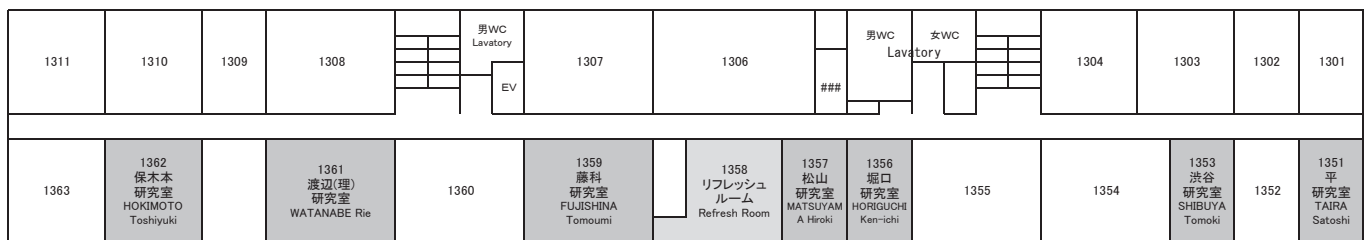
## 1階 1st floor



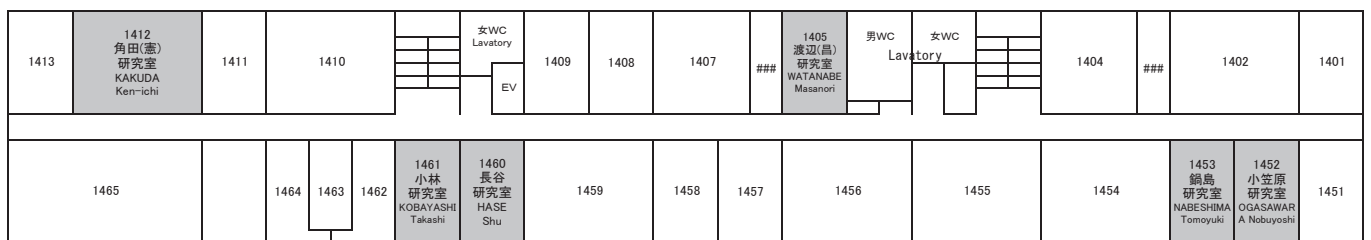
## 2階 2nd floor



## 3階 3rd floor



## 4階 4th floor



## 5階 5th floor



↑  
1号館へ  
Building 1

Building 3  
3号館へ  
↓

図書館へ  
Library

Building 3  
3号館へ  
↓

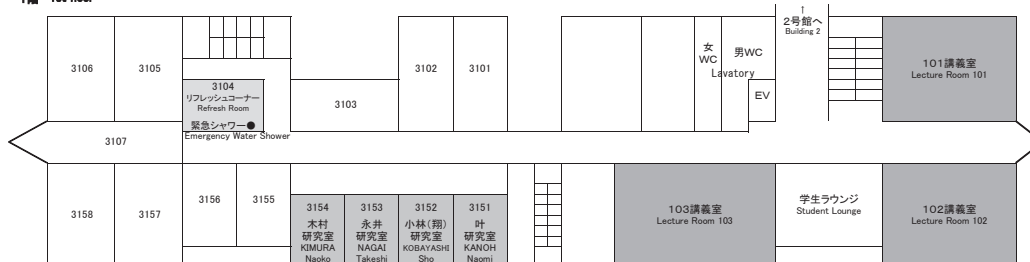
## 01

353[illegible]

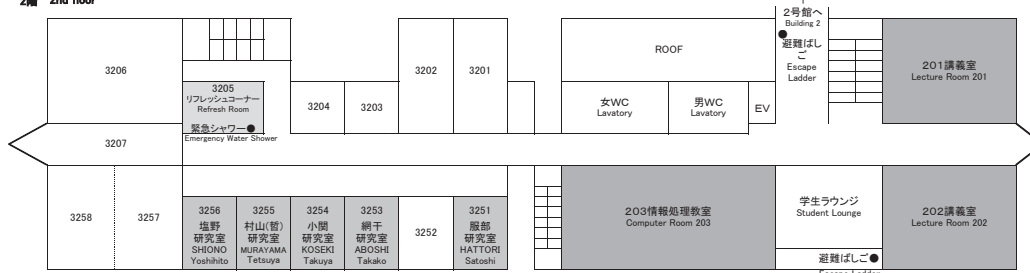

[illegible]2502

### 3号館 Building 3

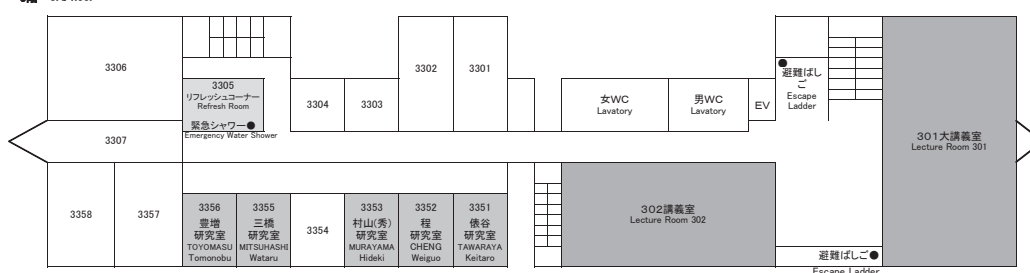
#### 1階 1st floor



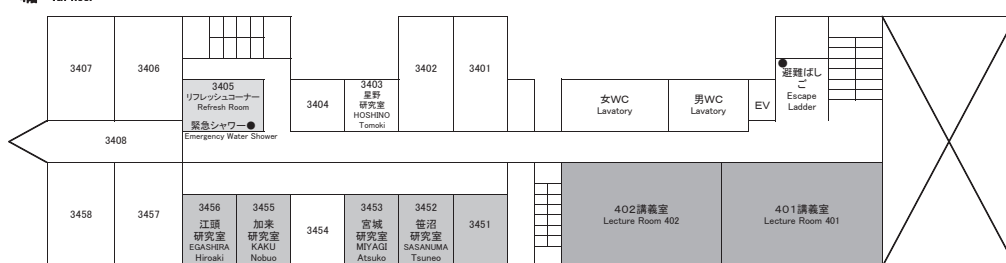
#### 2階 2nd floor



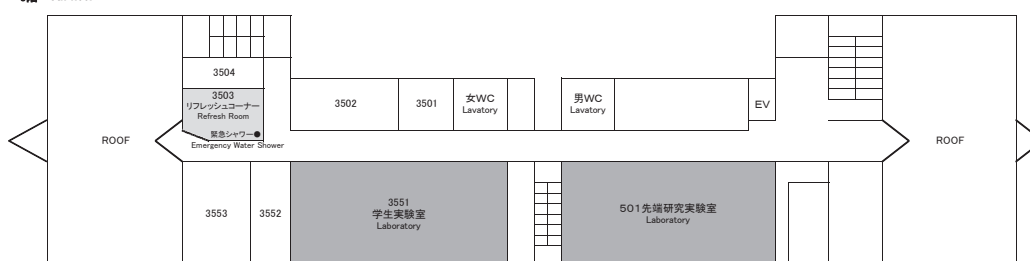
#### 3階 3rd floor



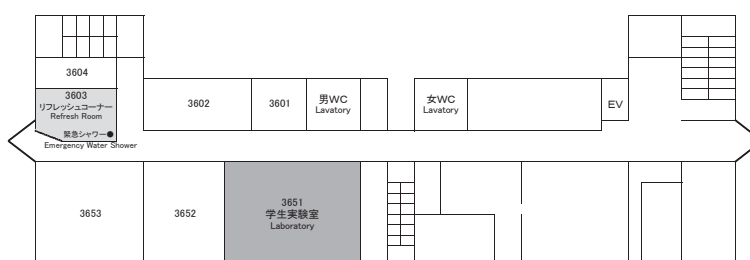
#### 4階 4th floor



#### 5階 5th floor



#### 6階 6th floor









この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。